

令和5年度 富士見市生涯学習推進アクションプラン

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価	
事業名	防災対策事業（地域防災計画等の周知・啓発）	富士見市地域防災計画やそれに基づいたガイドブック、マニュアル等を周知啓発し、防災知識の向上を図る。 数値目標：周知・啓発の実施 20回/年	「富士見市地域防災計画」や「富士見市防災ガイドブック」等を周知・啓発し、防災意識の高揚を図る。 継続年数：10年以上 事業予算額：－（ガイドブック等の作成・増刷の年ではないため）	実施期間：R5.4～R6.3 対象：市内在住、在勤者 内容：出前講座×10件、富士見防災リーダー養成講座（第9期）	出前講座や富士見防災リーダー養成講座等の講習会において、富士見市防災ガイドブックの配布を積極的に行い、防災に関する周知・啓発を行った。	個別事項評価	令和5年度の評価
担当課	危機管理課					取組成果	B
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている	
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法	
基本目標②	地域の人材を活かした学習機会の提供					2 手法は概ね適切である	
基本目標③	学習成果の活用機会の創出					継続性・発展性	
本事業と関連のある他計画						3 次年度も継続	
富士見市地域防災計画							
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価	
事業名	防災対策事業（防災訓練）	地域・学校・行政が連携した小学校区合同防災訓練を実施し、防災意識の高揚及び地域防災力の向上を図る。 数値目標：1校実施/年	避難所の運営に携わる機関である、地域・学校・行政がそれぞれ連携協力し、災害時に備えるため、地域の小学校を会場とした宿泊型の防災訓練等を実施する。 対象：市、会場小学校区の町会、学校、消防など 日時：毎年10月ごろに実施 会場：小学校体育館 講師：市職員、消防職員など 参加費：なし 募集人数：100名程度 継続年数：10年以上 事業予算額：91,000円（R5年度印刷製本費予算）	・富士見市総合防災訓練 日時：令和5年10月18日（日） 会場：東消防署 協力団体：39団体 参加費：なし 参加者数：約1,700人 ・みずほ小学校区合同防災訓練 日時：令和6年2月18日（日） 会場：みずほ小学校体育館 講師：市職員、埼玉県生活衛生課、ゴトー工業株式会社 参加費：なし 事業決算額：89,100円	協力団体による災害の模擬体験やワークショップ等により、来場者に対し風水害を含めた防災の知識を普及するとともに、防災意識の向上を図ることができた。 ペット同行避難含めた避難所開設の要領について、地域対策本部職員及び町会の参加者に共有することができた。	個別事項評価	令和5年度の評価
担当課	危機管理課					取組成果	B
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている	
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法	
基本目標②	地域の人材を活かした学習機会の提供					2 手法は概ね適切である	
基本目標③	学習成果の活用機会の創出					継続性・発展性	
本事業と関連のある他計画						3 次年度も継続	
富士見市地域防災計画							
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価	
事業名	防災対策事業（防災リーダー養成講座）	各自主防災組織に防災の知識を習得した富士見防災リーダーを養成し、各地域での防災活動を先導していただく。 数値目標：防災リーダー認証者数 20人/年	市民の方に防災の知識を身に付けていただくための富士見防災リーダー養成講座を開催し、自主防災組織の活動の中核を担う人材を養成する。 対象：各自主防災組織から推薦を受けた方 日時：令和5年7月の土日のうち2日間を予定（詳細未定） 会場：針ヶ谷コミュニティセンター（予定） 講師：危機管理課職員、自主防災組織会長（未定）、彩の国動物愛護推進員ちーむふじみ 児島由枝氏、埼玉県自主防災組織リーダー指導員 菊田高雄氏、一般財団法人 消防科学総合センター 理事 池上三喜子氏 参加費：なし 募集人数：30名程度 継続年数：5～9年 事業予算額：314,000円（R5年度予算）	日時：令和5年7月1日（土）、2日（日） 午前10時～午後4時まで 会場：針ヶ谷コミュニティセンター 講師：危機管理課職員、外部講師 4名 参加人数：18名	今まで参加のなかった自主防災組織からの参加があった。 社会情勢にあった講義内容を検討する等、更なる参加を促す工夫をしていきたい。	個別事項評価	令和5年度の評価
担当課	危機管理課					取組成果	B
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている	
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法	
基本目標②	地域の人材を活かした学習機会の提供					2 手法は概ね適切である	
基本目標③	学習成果の活用機会の創出					継続性・発展性	
本事業と関連のある他計画						3 次年度も継続	
富士見市地域防災計画							

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価	
事業名	コスモス街道づくり	コスモス街道の魅力を通じ、市のPRや地域の活性化を図る。 数値目標： 令和5年10月のサイクリングコースの観光入込客数10,000人 (参考：令和4年10月観光入込客数：9,000人)	健康増進センター付近から新河岸川河川水防センター付近までの川沿いのサイクリングコース脇に、市民団体（水谷小学校区まちづくり協議会）と協働し、コスモスの育成活動を行う。 対象：水谷小学校区まちづくり協議会、近隣中学生ボランティア 日時：5月～11月 会場：富士見サイクリングコース沿い（富士見江川・新河岸川合流地点から木染橋まで） 講師：- 参加費：なし 参加人数：70人程度 継続年数：5～9年 事業予算額：0円	・実施期間：5月～11月 ・内容：市民団体と協働にて、コスモスの種まきや草刈りを実施。10月1日には「コスコスまつり」を開催した。 ・参加人数：種まき・草刈り220人、コスモス祭り（来訪者）約65人 ・事業決算額：0円 ・令和5年10月のサイクリングコースの観光入込客数8,000人	種をまく際は、ムラがないように満遍なく蒔くことで広い範囲でコスモスが咲き、より多くの人の来場が見込める。 ボランティア参加者の高齢化から、令和6年度からは再度本郷中学校の生徒に協力依頼をする。	個別事項評価	令和5年度の評価
担当課	シティプロモーション課						
基本目標	施策の柱						
基本目標①	市民との協働による事業の充実						
基本目標②	新たな人材の発掘						
基本目標③	市民間交流の促進						
本事業と関連のある他計画							
富士見市シティプロモーション戦略							
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価	
事業名	富士見市地域活性化研究会	富士見市の観光、産業、文化等の地域資源を活用した、地域の活性化及び魅力の向上を目指す。 数値目標： 令和5年度観光情報アプリ「ココシル☆ふじみ」の月間平均ユーザー数3,500 (参考：令和4年度約3,300)	様々な市民が集まり、観光事業の振興や富士見市マスコットキャラクターふわっぴーの活用などを通してまちの活性化を図る。 対象：富士見市地域活性化研究会、市民 日時：通年 会場：市内各所 講師：- 参加費：年会費500円 会員数：16人（令和5年度） 継続年数：5～9年 事業予算額：0円	・実施期間：通年 ・内容：全体会及び正副会長会議を2回実施 ・会場：鶴瀬コミュニティセンターほか ・参加費：年会費500円 ・参加人数：16人（富士見市地域活性化研究会会員） ・事業決算額：0円 ・令和5年度観光情報アプリ「ココシル☆ふじみ」の月間平均ユーザー数約3,600	ココシル☆ふじみ情報更新、利用者拡大事業、お散歩マップ第1弾～第3弾の活用、ふわっぴーグッズの検討・作製及び地域活性化に資する新たな取組の検討を行ってきた。 次年度以降はココシル☆ふじみのリニューアル等の実施を予定するなど更に市の活性化に寄与できる取組を実施予定である。 一方で会員の高齢化もあり、活動も一定停滞していることが課題である。	個別事項評価	令和5年度の評価
担当課	シティプロモーション課						
基本目標	施策の柱						
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実						
基本目標②	新たな人材の発掘						
基本目標③	市民間交流の促進						
本事業と関連のある他計画							
富士見市シティプロモーション戦略							
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価	
事業名	防犯対策事業（自主防犯活動リーダー講習会）	市民ひとりひとりの防犯意識を高揚させることにより犯罪機会を減少させ、市内犯罪率の減少を目指す。 数値目標：講習参加者数100人以上	地域の自主防犯組織や学校関係者、市民を対象に最新の防犯に関する知識を取得するための講習会を開催し、防犯活動への意識の高揚を図る。 対象：地域の自主防犯組織、学校関係者、市民 日時：未定 会場：キラリふじみマルチホール 講師：・東入間警察署 ・宮田 美恵子氏 日本こどもの安全教育総合研究所理事長 参加費：無料 募集人数：- 継続年数：10年以上 事業予算額：106,000円	参加者（人数）：地域の自主防犯組織、学校関係者、市民（102人） 日時：令和5年8月2日（水） 会場：キラリふじみマルチホール 講師：東入間警察署/日本こどもの安全教育総合研究所理事長 宮田美恵子氏 参加費：無料 継続年数：10年以上 事業決算額：95,900円	防犯活動については地域で一丸となって取り組むことが重要であり、町会が組織する自主防犯組織や学校関係者、市民が参加し、地域の犯罪傾向について情報共有を行い、最新の防犯に関する知識、日頃の活動について防犯アドバイザーを交えたシンポジウムを行うことで、地域一体となった防犯活動への意識の高揚を図ることができた。	個別事項評価	令和5年度の評価
担当課	協働推進課						
基本目標	施策の柱						
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実						
基本目標②	地域の人材を活かした学習機会の提供						
基本目標③	学習成果の活用機会の創出						
本事業と関連のある他計画							
富士見市安全安心なまちづくり防犯推進計画							

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価					
事業名	防犯対策事業（地域・青色防犯パトロール活動支援）	地域による自主的な防犯活動を活性化することにより犯罪機会を減少させ、市内犯罪率の減少を目指す。 数値目標：	自主防犯組織に対して防犯パトロール用品の配布や保険加入などの支援を行い、団体が活動しやすい環境づくりを推進する。また、青色防犯パトロールカーによるパトロール実施を促進するため、定期的な青色防犯パトロール講習会の開催や、パトロールカーの運行管理を行い、多彩な自主防犯活動の実施を支援する。 対象：地域の自主防犯組織 日時：随時 会場：中央図書館視聴覚室(青色防犯パトロール講習会) 講師：東入間警察署(青色防犯パトロール講習会) 参加費：無料 募集人数：- 継続年数：10年以上 事業予算額：3,433,000円	①防犯パトロール用品の配布 配布数：ベスト・ウインドブレーカー 帽子・誘導灯・腕章 合計488個 ②青色防犯パトロール講習会 テーマ：近年の犯罪情勢と青色防犯パトロールの実施要領について 講師：東入間警察署 生活安全課 生活安全係長 日 時：令和5年9月4日（月） 参加者（人数）：富士見市青色防犯パトロール隊員（109人） 会 場：富士見市役所会議室 内 容：青色防犯パトロールの方法や警察による最新の犯罪情勢の講義を実施し防犯知識の取得を図った。 事業決算額：563,706円	自主防犯組織に対して防犯パトロール用品の配布を行い、団体が活動しやすい環境づくりを推進することができた。また、青色防犯パトロール講習会の開催を行うことで、効果的かつ安全な防犯パトロールについての意識醸成やモチベーションの維持を行うことができた。自主防犯活動団体の高齢化に伴う防犯パトロール隊員の成り手不足が課題となっている。	個別事項評価	令和5年度の評価				
担当課	協働推進課					取組成果	3 十分な成果を挙げている				
基本目標	施策の柱					実施手法	2 手法は概ね適切である				
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					継続性・発展性	3 次年度も継続				
基本目標②	地域の人材を活かした学習機会の提供										
基本目標③	学習成果の活用機会の創出										
本事業と関連のある他計画											A
富士見市安全安心なまちづくり防犯推進計画											
計画の位置付け						事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価	
事業名	地域まちづくり協議会	地域まちづくり協議会の計画する、地域の主体性及び創意工夫により地域の特性を活かした個性的かつ魅力的なまちづくりの推進を支援する。協議会の未設置地域には設立に向けた支援を行う。 数値目標：	対象：地域まちづくり協議会 補助額：年50万円以内 継続年数：9年 事業予算額：3,000,000円	地域まちづくり協議会に対する補助金交付実績 ・南畑地域まちづくり協議会 500,000円 ・水谷東安心まちづくり協議会 500,000円 ・みずほ台駅西口地域まちづくり協議会 500,000円 ・水谷小学校区まちづくり協議会359,430円 ・つるせ台まちづくり協議会 500,000円 ・勝瀬小学校区まちづくり協議会221,359円	各地域まちづくり協議会が策定した地域活動計画に位置付けられた防犯事業、高齢者見守り事業、子どもたちの健全育成事業など、各種事業へ助成を行い、地域課題の解決の一助となった。	個別事項評価	令和5年度の評価				
担当課	協働推進課					取組成果	3 十分な成果を挙げている				
基本目標	施策の柱					実施手法	3 実施手法は適切で見直しの必要はない				
基本目標③	生涯学習を通じたまちづくりの推進					継続性・発展性	3 次年度も継続				
本事業と関連のある他計画											A
富士見市第6次基本構想・第1期基本計画											
計画の位置付け						事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価	
事業名	市民参加・協働推進事業					市民の豊かな創造性や社会経験がまちづくりに活かされるよう、多様な市民参加と協働を基調としたまちづくりを推進する。 数値目標： 市民団体との協働事業の実施数 120件	・市政への市民参加や協働によるまちづくりの推進について、調査・検討（市民参加及び協働推進委員会・市民参加及び協働推進庁内委員会） ・市民参加及び協働推進に関する全庁的な取組状況調査の実施 ・市内NPO法人の情報提供 ・富士見市コミュニティ協議会への補助金交付 ・協働事業提案制度での事業募集 ・ミニ鉄道運転会の実施 ・市民活動保険による補償 ・AEDの貸出 継続年数：10年以上 事業予算額：2,490,000円	・市政への市民参加や協働によるまちづくりの推進について、調査・検討（市民参加及び協働推進委員会：年4回開催・市民参加及び協働推進庁内委員会：年5回開催） ・市民参加及び協働推進に関する全庁的な取組状況調査の実施（協働事業実施数：114件） ・市内NPO法人の情報提供：「市内NPO交流会」の開催（日時/場所参加者数：令和6年2月21日/市民福祉活動センター/参加者数31人（18法人）） ・富士見市コミュニティ協議会への補助金交付（交付実績：64,000円） ・協働事業提案制度での事業募集：採択数3件 ※複数年補助2件含む ・ミニ鉄道運転会の実施：11回開催・延べ乗客数6,360人 ・市民活動保険による補償：保険請求数3件 ・AEDの貸出：16件	市内で地域・ボランティア活動を行う市民活動団体やNPO団体、町会へ、環境面での整備、補助金の交付を行うことで、各主体の活動の推進や継続について支援を行うことができ、多様な市民参加と協働を基調としたまちづくりの推進を図ることができた。	個別事項評価	令和5年度の評価
担当課	協働推進課	取組成果	2 一定の成果を挙げている								
基本目標	施策の柱	実施手法	2 手法は概ね適切である								
基本目標①	市民との協働による事業の充実	継続性・発展性	3 次年度も継続								
基本目標③	市民間交流の促進										
本事業と関連のある他計画											B
富士見市第6次基本構想・第1期基本計画											

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価					
事業名	ふるさと祭り推進事業	市内の各種団体で組織された実行委員会が「富士見ふるさと祭り」を開催し、市民参加型の企画を取り入れながら、市内の農業、商工業などの地場産業の振興や活性化、市民の環境問題に関する意識の向上と郷土意識の醸成を図る。 数値目標：来場者数40,000人	対象：一般市民 日時：令和5年10月28日（土） 会場：富士見市役所周辺 講師：一般市民 参加費：無料 募集人数：なし 継続年数：10年以上 事業予算額：約13,000,000円	日時：令和5年10月28日（土） 会場：富士見市役所周辺 参加費：無料 来場者数：約43,000人 補助金交付実績：5,000,000円	市内各種団体で協力し、実施することで連帯感が生まれ、市民コミュニティの推進が図られ、来場者には郷土に対する愛着心を育むことができた。また、各種イベントの実施により、地場産業の振興や活性化、市民の環境問題に関する意識の向上にも繋がった。課題については、祭り会場周辺の状況変化やイベント数の増加により、事務局の負担が大きくなっている。また、物価高騰や人件費の上昇に伴う事業費が増加している。	個別事項評価	令和5年度の評価				
担当課	協働推進課					取組成果	A				
基本目標	施策の柱					3 十分な成果を挙げている					
基本目標③	学習成果の発表機会の充実					実施手法		2 手法は概ね適切である			
										継続性・発展性	3 次年度も継続
本事業と関連のある他計画											
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価					
事業名	出前講座	まちづくりの主体である市民が持つ市政に関する情報を知る権利を保障するため、まちづくりに関する情報及び学習の機会の提供に努める。 数値目標：実施件数40件	市内在住在勤在学の個人やグループに対し、市職員を講師として派遣し、市政の説明やテーマに関する講座を開催。 講座メニュー数：91講座（リクエスト講座含む） 継続年数：10年以上 事業予算額：0円	実施回数：28回 利用者数：1,023人 事業決算額：0円	自治基本条例に基づき、市民の市政に関する情報、まちづくりに関する情報及び学習の機会の提供に繋がった。特定の講座に依頼が集中する傾向にあり、担当課と担当者への事務負担が課題となっている。	個別事項評価	令和5年度の評価				
担当課	協働推進課					取組成果	B				
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている					
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法		2 手法は概ね適切である			
基本目標③	生涯学習を通じたまちづくりの推進									継続性・発展性	3 次年度も継続
本事業と関連のある他計画											
富士見市第6次基本構想・第1期基本計画											
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価					
事業名	国際交流フォーラム	多文化共生の地域づくりを目的として、外国籍市民との交流企画、国際交流関係展示、体験と交流のコーナーなどを通じ、様々な国や地域の文化と触れ合う機会を作り、国際交流関係者、外国籍市民との相互交流を図る。 数値目標：国際交流を楽しいと感じた参加者の割合75%	対象：子ども、一般 日時：10月1日（日） 会場：キラリ☆ふじみ 参加費：無料 継続年数：20年以上 事業予算額：80,000円（謝礼生涯学習課分）、100,000円（謝礼文化・スポーツ振興課分）	実施日：10月1日（日） ・外国籍市民の方のトーク、やさしい日本語講座、ネパールのダンス、太鼓演奏、民族衣装や着物の試着、フラワーアレンジメント体験、世界のお茶体験、太鼓体験、国際交流団体の活動展示、セルビアフェスタ等 会場：キラリ☆ふじみマルチホール他 参加人数：355人 外国籍の人への理解が深まったと感じた割合（アンケート実施）：96% ・国際交流を楽しいと感じた参加者の割合（アンケート実施）：99% ・暮らしやすいと感じる外国籍市民の割合（アンケート実施）：100% 決算額：53,000円（謝礼生涯学習課分）、75,000円（謝礼文化・スポーツ振興課）、他（消耗品費文化・スポーツ振興課、富士見市国際友好協会会計）	令和5年度は、民族衣装の試着や世界のお茶体験などの体験ブースも開設するなどコロナ前と同様の開催方法で実施することが出来た。体験ブース以外にも、令和4年度も実施したやさしい日本語普及のための講演会や外国籍市民のスピーチ、音楽などを通じて、多文化共生への理解を深めた。国・県も多文化共生施策として普及促進に力を入れている「やさしい日本語」については、講演会を行い、外国籍の方に対してやさしい日本語で話すことが相互理解に繋がることについて、市民の理解が深まった。アンケートにて、「やさしい日本語」を使っていきたいと回答した人が100%、「やさしい日本語」講座があったら受けてみたいと回答した人が100%だった。外国籍の方へのアンケートでは、「やさしい日本語」での表記・対応が増えほしいと思うと回答した人は82%だった。その他のアンケート項目でも、全体を通し満足いただける結果となったと思う（左記参照）。想定以上の来場者にお越しいただいたので、会場の配置や内容等を見直し、次年度もより良い事業ができるよう調整を予定している。	個別事項評価	令和5年度の評価				
担当課	文化・スポーツ振興課、生涯学習課					取組成果	A				
基本目標	施策の柱					3 十分な成果を挙げている					
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法		2 手法は概ね適切である			
										継続性・発展性	3 次年度も継続
本事業と関連のある他計画											
富士見市第6次基本構想・第1期基本計画											

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価					
事業名	富士見市民文化祭	市民の文化創造活動を推進し、相互の文化交流を図るため、市内で活動する文化団体が組織された実行委員会が主催する全市的な文化祭を実施する。 数値目標：来場者3,000人以上	市民文化会館キラリふじみを会場に、市内の文化4団体を中心に芸能・音楽発表、各種作品展示及び将棋大会を約2週間にわたって行う。 対象：市民 日時：11/3～11/19 会場：キラリふじみ 講師： 参加費：一部あり 募集人数： 継続年数：10年以上 事業予算額：800,000円	実施日：11月3日～11月19日 ・第60回記念式典 ・民謡大会 ・将棋大会 ・芸能発表 ・展示発表 ・市民音楽祭 ・市民美術展 会場：キラリふじみ 参加人数：出展・出演者865名 来場者6,083名 事業決算額：1,318,015円	令和5年度は第60回を迎えた記念の年であったため、記念式典を行い、公募による市民合唱団との「第九」やつるせ台小学校合唱部によるステージを開催した。今まで市民文化祭に参加したことのない方が多く参加することができた。本事業は市民に鑑賞機会・発表機会や交流機会を提供する取組として、引き続き継続する。	個別事項評価	令和5年度の評価				
担当課	文化・スポーツ振興課					取組成果	3 十分な成果を挙げている	A			
基本目標	施策の柱					実施手法			2 手法は概ね適切である		
基本目標③	学習成果の発表機会の充実					継続性・発展性				3 次年度も継続	
基本目標③	市民間交流の促進										
本事業と関連のある他計画											
富士見市文化芸術振興基本計画											
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価					
事業名	消費生活講座	市民の消費に関する相談や苦情に対する調査、助言、解決に向けたあっせん等を行い、消費者の正当な利益の擁護・増進を図る。また消費者被害の防止に向けた啓発活動を行う。 数値目標：消費生活講座実施回数4回	対象：子ども・市民・高齢者 日時：随時開催（申込制） 講師：富士見市消費生活相談員 参加費：無料 継続年数：10年以上 事業予算額 ○講師謝礼(講師派遣の場合) 14,000円 ○事業協力者謝礼 (南畑お月見一座) 100,000円	【若年者向け消費生活講座】 日時：7月8日（土） 会場：鶴瀬西交流センター 講師：消費生活相談員 参加人数：29人 事業決算額：0円 【消費生活講座】 日時：6月15日(木) 会場：鶴瀬コミュニティセンター 講師：消費生活相談員 参加人数：81人 事業決算額：0円	一般の消費生活相談のほか、若年者向け消費生活講座を実施。事例をもとに、わかりやすく学べるようにした。 今後も被害を未然に防ぐため、新たな事例や起こりうる事例などの情報を伝えていく。	個別事項評価	令和5年度の評価				
担当課	人権・市民相談課					取組成果	2 一定の成果を挙げている	B			
基本目標	施策の柱					実施手法			2 手法は概ね適切である		
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					継続性・発展性				3 次年度も継続	
基本目標②	地域の人材を活かした学習機会の提供										
基本目標③	学習成果の活用機会の創出										
本事業と関連のある他計画											
富士見市第6次基本構想・第1期基本計画											
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価					
事業名	男女共同参画事業	性別にかかわらず、誰もがその個性と能力を發揮し、互いに対等なパートナーとしてあらゆる分野に参画し、ともに責任を担う男女共同参画社会の実現のための講演会・セミナー等を実施する。 数値目標：	対象：市民 日時：8～2月(3回開催予定) 会場：市内公共施設 参加費：無料 継続年数：10年以上 事業予算額：260,000円	男女共同参画講演会 日時：令和5年9月3日(日) 会場：鶴瀬コミュニティセンター 講師：神田香織氏（講師） 参加人数：153人 事業決算費：185,000円 男女共同参画セミナー① 日時：令和5年11月5日（日） 会場：ふじみ野交流センター 講師：山根純佳氏（実践女子大学教授） 参加人数：35人 事業決算費：30,000円 男女共同参画セミナー② 日時：令和6年3月2日（土） 会場：鶴瀬西交流センター 講師：田中東子氏（東京大学大学院情報学環教授）	講演会を1回、セミナーを2回実施し、多くの参加者を得た。例年、参加者は女性が多いが、性差別をテーマに身近な題材を用い、男性の参加も多かった。今後も効果的な意識啓発に向けて内容を精査する。	個別事項評価	令和5年度の評価				
担当課	人権・市民相談課					取組成果	2 一定の成果を挙げている	B			
基本目標	施策の柱					実施手法			2 手法は概ね適切である		
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					継続性・発展性				3 次年度も継続	
本事業と関連のある他計画											
富士見市第6次基本構想・第1期基本計画											
富士見市男女共同参画プラン（第4次）											

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	成人対象事業（生活文化講座）	生涯学習への参加につながる各種講座を開催する。	生活文化講座 趣味・教養等の講座を開催 対象：一般 時期：11月 会場：ふじみ野交流センター 参加費：材料等実費負担 募集人数：各講座10～50名程度 継続年数：10年以上 事業予算額：10,000円 講師：市民講師を含め幅広い人材を起用	「講演会」 日時：5月21日、2月3日 会場：ふじみ野交流センター 講師：神田織音、神田伊織 「節分リース」 日時：1月25日 会場：ふじみ野交流センター 講師：フラワー装飾一級技能士 参加人数：151人 事業決算額：80,000円	長年続けている講演会だが、土・日に開催してからより多くの来場があり、講演に親しむ機会が拡充した。人気上がるにつれ定員を超える申し込みがあるため、受け入れ体制も拡充していきたい。	個別事項評価	令和5年度の評価	
担当課	ふじみ野交流センター					取組成果	B	
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている		
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法		2 手法は概ね適切である
基本目標②	地域資源を活かした生涯学習の提供					継続性・発展性		3 次年度も継続
基本目標③	市民間交流の促進							
基本目標③	生涯学習を通じたまちづくりの推進							
本事業と関連のある他計画								
-								
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	地域交流事業（ふじみ野じゅく）	定期的な学習・交流の場を通して地域住民の生涯学習と相互交流を促進する。	「ふじみ野じゅく」の開催 内容：介護、健康、社会問題、文学等の講座を開催 対象：一般 時期：4月～3月、月1回第3金曜日午前中 会場：ふじみ野交流センター 参加費：無料（一部材料費等あり） 募集人数：各回40名程度 継続年数：10年以上 事業予算額56,000円	日時：4月～3月、月1回第3金曜日 午前10時～12時 会場：ふじみ野交流センター 講師：富士見市職員ほか 参加人数：延べ250人 事業決算額：70,000円	毎回多数の参加があり、学習意欲の高さがうかがえた。 新たな運営委員が加わり、運営会議で活発な意見が出され、参加者アンケートなども参考に年間計画を企てることができた。	個別事項評価	令和5年度の評価	
担当課	ふじみ野交流センター					取組成果	B	
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている		
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法		2 手法は概ね適切である
基本目標②	地域資源を活かした生涯学習の提供					継続性・発展性		3 次年度も継続
基本目標③	市民間交流の促進							
基本目標③	生涯学習を通じたまちづくりの推進							
本事業と関連のある他計画								
-								
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	地域交流事業（地域の伝統行事体験）	勝瀬地域に伝わる伝統行事を学び、体験することで地域に対する理解・親しみを深める。	勝瀬の七夕まつり他、地域の伝統行事の体験。 対象：一般 時期：勝瀬の七夕まつり8月、十五夜・十三夜飾り10月、門松1月、小正月2月、の各月1週間程度の展示とお正月飾りづくりを12月に行う。 会場：ふじみ野交流センター 参加費：無料（お正月飾りは材料費等あり） 募集人数：- 継続年数：10年以上 事業予算額：70,000円 協力者：勝瀬昔承会	七夕飾り8月1日～7日、十五夜9月26日～29日、十三夜10月24日～27日、門松飾り設置12月27日～1月7日、小正月まゆ玉展示2月9日～15日 会場：ふじみ野交流センター 事業協力者：勝瀬昔承会 お正月飾り製作 ①リースアレンジ 日時：12月20日 午前10時～12時 講師：加納かおる氏 ②わらのお正月飾り 日時：12月27日 午後1時30分～3時 講師：勝瀬昔承会 参加人数：延べ21人 事業決算額：52,192円	家庭で行うことが少なくなった行事の体験や地域の伝統文化にふれる良い機会となった。 地域の方の協力なくしては成り立たない。	個別事項評価	令和5年度の評価	
担当課	ふじみ野交流センター					取組成果	B	
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている		
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法		2 手法は概ね適切である
基本目標②	地域資源を活かした生涯学習の提供					継続性・発展性		3 次年度も継続
基本目標③	市民間交流の促進							
基本目標③	生涯学習を通じたまちづくりの推進							
本事業と関連のある他計画								
富士見市文化芸術振興計画								
富士見市男女共同参画プラン（第4次）								

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価					
事業名	市民協働イベント開催事業（勝瀬de緑日）	地域住民の世代を超えた交流の場として地域団体主催による「まつり」を開催する。 数値目標：参加者数1,000人	勝瀬de緑日 対象：子ども、一般 時期：9月9日 会場：ふじみ野交流センター 募集人数：－ 継続年数：10年以上 事業予算額：75,000円 主催団体：勝瀬de緑日実行委員会	日時：9月9日 午前11時～午後3時 会場：ふじみ野交流センター 参加人数：約1,000人 内容：子ども、親子連れを対象にした遊びの体験と交流、模擬店、舞台発表、地域中学校部活動参加 事業決算額：46,000円 主催：第25回勝瀬de緑日実行委員会	コロナ禍にあった大きな制約事項もなくなり、食品の模擬店も含め以前のような取り組み内容で開催することができた。 会場の狭さゆえに館内に人があふれたが、世代を超えた地域住民のイベント交流が図れた。	個別事項評価	令和5年度の評価				
担当課	ふじみ野交流センター					取組成果	B				
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている					
基本目標①	市民との協働による事業の充実					実施手法		2 手法は概ね適切である			
						継続性・発展性		3 次年度も継続			
本事業と関連のある他計画											
富士見市男女共同参画プラン（第4次）											
計画の位置付け						事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価	
事業名	市民協働イベント開催事業（ふじみ野文化祭）					利用者及び地域住民の生涯学習活動における日頃の成果を発表する機会の提供、相互交流を目的として開催する。 数値目標：参加者数1,100人	ふじみ野文化祭 対象：一般 時期：3月2日、3日 会場：ふじみ野交流センター 参加費：－ 募集人数：－ 継続年数：10年以上 事業予算額：－ 主催団体：ふじみ野文化祭実行委員会	日時：3月2日、3日 午前10時～午後4時 会場：ふじみ野交流センター 参加人数：1,200人 事業決算額：30,000円 主催：第22回ふじみ野文化祭実行委員会	4年ぶりの、作品展示、舞台発表、模擬店の同時開催により、コロナ前の賑わいが戻ってきた。また、中学生や高校生の参加により、来場者の層に広がりが見られた。 富士見ビデオクラブの協力で、2日間の取り組みを映像記録として保存することができた。	個別事項評価	令和5年度の評価
担当課	ふじみ野交流センター	取組成果	B								
基本目標	施策の柱	2 一定の成果を挙げている									
基本目標③	学習成果の発表機会の充実	実施手法		2 手法は概ね適切である							
基本目標①	市民との協働による事業の充実	継続性・発展性		3 次年度も継続							
本事業と関連のある他計画											
富士見市文化芸術振興計画											
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）					担当課評価	
事業名	成人対象事業シリーズいい友	音楽やダンス、食など世代を超えて愛されるエンターテインメントを通して、地域の世代間交流や文化振興を図ってゆく。 数値目標：参加者の満足度70%（アンケートによる）	①音楽でいい友 様々なジャンルのコンサート 対象：一般 時期：6月、7月、10月、11月 参加費：無料 募集人数：各70名 ②食べていい友 様々な食材、料理を学ぶ。 実施時期：10月、11月、12月、1月 参加費：材料費 募集人数：10名 演奏者や講師はプロ、アマを問わず市民を起用する。 継続年数：4年 事業予算額：130,000円	①音楽でいい友（コンサート） 6月18日：日本の歌・カンツォーネ、9月17日：サクソフォン四重奏、10月29日：ジャズ、11月12日：クラシック 参加人数：延べ228人 ②食べていい友（食文化講座） 7月22日：ペルー料理、10月21日：太巻き祭り寿司、12月1日：そば打ち、12月16日：イタリア料理 参加人数：延べ46人 会場：ふじみ野交流センター 事業決算額：115,000円	どの事業も募集を上回る応募があり好評を得た。 今後も万人受けするものだけでなく、様々なジャンルの音楽や食を届けたい。					個別事項評価	令和5年度の評価
担当課	ふじみ野交流センター					取組成果	B				
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている					
基本目標①	市民との協働による事業の充実					実施手法		2 手法は概ね適切である			
基本目標②	地域の人材を活かした学習機会の提供					継続性・発展性		3 次年度も継続			
基本目標③	市民間交流の促進										
本事業と関連のある他計画											
富士見市文化芸術振興計画											
富士見市男女共同参画プラン（第4次）											

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価	
事業名	親子おもちつき交流会	地域づくりに若年の保護者に参加してもらうために、親子参加型の講座を実施し、保護者の出番づくりと仲間づくりのきっかけとする。 数値目標：参加者の満足度80%（アンケートによる）	保護者と子どもが共同作業をすることにより親子のコミュニケーションが図られるほか、保護者同士の仲間作りの場として実施。 対象：鶴瀬西地域の親子 日時：通常12月下旬 会場：西交流センター駐車場、調理室、会議室 講師： 参加費：時価 募集人数： 継続年数： 10年以上 事業予算額： 10,000 円	協力団体が高齢化のため協力得られず中止。	次年度以降、他の事業を検討。	個別事項評価	令和5年度の評価
担当課	鶴瀬西交流センター					取組成果	未実施
基本目標	施策の柱					実施手法	
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					継続性・発展性	
基本目標③	市民間交流の促進						
本事業と関連のある他計画							
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価	
事業名	回想法講座	地域課題学習として、認知症予防、介護予防等に効果があると注目されている「回想法」の実践の場として「回想法継続会」が主体となり「唄とおはなしのサロン」を実施。 地域の高齢化が進む中、「回想法継続会」のメンバーのスキルアップと新たなメンバーの発掘することを目的に講座を開催する。 数値目標：講座受講者30人	地域課題学習として認知症予防、介護予防等に効果がと注目されている「回想法」の実践講座を実施。 対象：富士見市内で「回想法」に興味がある方。 日時：3月頃 会場：鶴瀬西交流センター講座室予定 講師：未定 参加費：無料 募集人数：未定 継続年数： 10 年 事業予算額： 50.000 円	地域課題学習として「回想法」の実践講座を実施。 対象：富士見市内で「回想法」に興味がある方。 日時：7月13日、20日 会場：鶴瀬西交流センター講座室 講師：埼玉医科大学病院 萩原裕子氏 参加費：無料 継続年数： 10 年 事業予算額： 50.000 円	回想法継続会のメンバーや介護等に携わる方々のスキルアップに役立った。	個別事項評価	令和5年度の評価
担当課	鶴瀬西交流センター					取組成果	2 一定の成果を挙げている 3 実施手法は適切で見直しの必要はない 3 次年度も継続
基本目標	施策の柱					実施手法	
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					継続性・発展性	
本事業と関連のある他計画							
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価	
事業名	高齢者ひろば	サークル活動より緩やかな高齢者のためのひろばを設定し好きなスケッチを通して居場所づくりと高齢者同士の交流を深める機会とする。 数値目標：毎月の参加者20人	高齢者の生きがいづくり、地域の居場所づくりとして交流を深める機会としている。毎月1回実施。 対象：西地域の高齢者 日時：毎月第3火曜日の午後 会場：市民活動室 講師：なし 参加費：無料 募集人数：制限なし 継続年数： 10年以上 事業予算額： 0 円	高齢者の生きがいづくり、地域の居場所づくりとして交流を深める機会として毎月1回実施しているが、参加者が少ない。 対象：西地域の高齢者 日時：毎月第3火曜日の午後 会場：市民活動室 講師：なし 参加費：無料 募集人数：制限なし 継続年数： 10年以上 事業予算額： 0 円	現在、高齢者ひろばのテーマを「スケッチ」としているが、スケッチだけだと限定されるため次年度から他の種目を要検討する。	個別事項評価	令和5年度の評価
担当課	鶴瀬西交流センター					取組成果	2 一定の成果を挙げている 2 手法は概ね適切である 3 次年度も継続
基本目標	施策の柱					実施手法	
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					継続性・発展性	
本事業と関連のある他計画							

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価			
事業名	子ども広場	子ども自らが地域の中で自分の居場所を見つけるための応援体制とサークルや地域の大人たちの協力体制を作り出していくことを目的に実施している。 長期休業の夏休み・冬休みの時期に「子どもひろば」を開催し、豊かな体験活動を提供する。 数値目標：参加者の満足度80%（アンケートによる）	夏休み子ども広場：いけ花体験教室、陶芸体験教室、篆刻体験教室。冬休み子ども教室：新春子ども書初め教室。 対象：鶴瀬西地域の小学生等 日時：通常夏休み・冬休み期間 会場：鶴瀬西交流センター美術工芸室等 講師：鶴瀬西交流センター利用サークル及び団体 参加費：実費 募集人数：未定 継続年数：10年以上 事業予算額：35,000 円	夏休み子ども広場：いけ花教室、陶芸教室、篆刻教室。書初め教室。 対象：鶴瀬西地域の小学生等 日時：夏休み・冬休み期間 会場：美術工芸室等 講師：交流センター利用サークル及び団体 参加費：実費 参加人数：陶芸36名、篆刻16名、生け花20名、書初め30名 継続年数：10年以上 事業決算額：25,000 円	参加希望者が募集人数を超えているため毎年抽選となっている。好評のため次年度以降も継続。	個別事項評価	令和5年度の評価		
担当課	鶴瀬西交流センター					取組成果	A		
基本目標	施策の柱					3 十分な成果を挙げている			
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法		3 実施手法は適切で見直しの必要はない	
						継続性・発展性		3 次年度も継続	
本事業と関連のある他計画						-			
計画の位置付け						事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）
事業名	水曜学級	鶴瀬西地域（上沢3丁目町会、関沢2～3丁目町会等含む）に在住する満60歳以上の方を対象に、生涯学習講座やサークル活動などを通じて、親睦を深め心身ともに健康で生きがいのある充実した生活を送ることを目的とする。 数値目標：受講生100人	「水曜学級（高齢者学級）」の開催 日時：毎年5月頃から3月頃まで 会場：鶴瀬西交流センター 参加費：1,500円 全体会1回目：5月開講式、アトラクション 全体会2回目～5回目：6月健康講座、7月音楽鑑賞、9月終活講座、10月音楽鑑賞を開催 全体会：毎月第2水曜日 サークル活動11サークル（R5年度） 料理、パワーアップ体操、レクダンス、コーラス、健康体操、絵画、書道硬筆、いけ花、脳トレ麻雀、折り紙、卓球 継続年数：10年以上 事業予算額：90,000 円	「水曜学級108名の参加 日時：毎年5月から3月まで 会場：鶴瀬西交流センター 参加費：1,500円 全体会10回 サークル活動10サークル（R5年度） パワーアップ体操、レクダンス、コーラス、健康体操、絵画、書道硬筆、いけ花、脳トレ麻雀、折り紙、卓球 継続年数：10年以上 事業予算額：90,000 円	学級生の高齢化（平均年齢80・5歳）により、役員、運営委員の選出が難しくなっている。今後の運営方法に検討が必要。	個別事項評価	令和5年度の評価		
担当課	鶴瀬西交流センター					取組成果	B		
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている			
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法		2 手法は概ね適切である	
						継続性・発展性		3 次年度も継続	
本事業と関連のある他計画						-			
計画の位置付け						事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）
事業名	鶴瀬西交流センターフェスティバル	鶴瀬西交流センター利用者及び地域住民の交流と文化の向上、コミュニティ活動の促進を目指して開催する。 数値目標：来館者2日間で3,000人	利用者及び地域住民の交流と文化の向上、コミュニティ活動の促進を目指す。 対象：鶴瀬西交流センター利用サークル・団体及び鶴瀬西地域住民 日時：9月30日（土）～10月1日（日） 会場：鶴瀬西交流センター 講師： 参加費：1団体500円 募集人数： 継続年数：10年以上 事業予算額：40,000 円	利用者及び地域住民の交流と文化の向上を目指す。 対象：鶴瀬西交流センター利用サークル・団体及び鶴瀬西地域住民 日時：9月30日（土）～10月1日（日） 会場：鶴瀬西交流センター 参加費：1団体500円 参加団体：37団体 来場者：延べ3000人 継続年数：10年以上 事業予算額：40,000 円	コロナも5類化し、ほぼ通常に開催することができた。参加者も開催を待ち望んでいた。次年度以降も実施。	個別事項評価	令和5年度の評価		
担当課	鶴瀬西交流センター					取組成果	A		
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている			
基本目標③	市民間交流の促進					実施手法		3 実施手法は適切で見直しの必要はない	
						継続性・発展性		3 次年度も継続	
本事業と関連のある他計画						-			

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価	
事業名	フリースペース西っ子	乳幼児を持つ親の子育て情報交換や育児のことを身近で気軽に相談できる場としてプレイルームにて開催する。 数値目標：年間参加者100人	毎月第4木曜日午前10時から正午、民生委員が見守り、子育ての相談相手をしてくれます。保健師・栄養士・歯科衛生士・保育士が毎月交互に入り、個別の相談に応じアドバイスを保護者に行います。 対象：プレイルーム利用している乳幼児の親 日時：毎月第4木曜日 会場：鶴瀬西交流センタープレイルーム 講師：保育士、歯科衛生士、栄養士、保健師 参加費：無料 募集人数：制限なし 継続年数：10年以上 事業予算額：45,000円	実施場所の子育て支援センター「びっぴ」の部屋の人数制限や、利用時間制限により、開催見合わせ。	新型コロナウイルスの規制緩和に伴い、子育て支援センターと調整を図り、再開に向けて検討する。	個別事項評価	令和5年度の評価
担当課	鶴瀬西交流センター					取組成果	未実施
基本目標	施策の柱					実施手法	
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					継続性・発展性	
本事業と関連のある他計画							
-							
計画の位置付け						事業目標	事業概要
事業名	つるせ西だよりの発行	鶴瀬西地域の生活・文化等に係る情報を伝える広報紙として、年10回発行し、広報富士見と一緒に配布する。 数値目標：発行回数年10回を継続	「つるせ西だより」の発行 編集会議：月2回（原則第1、3金曜日） 編集委員：市民10名前後、任期2年 発行部数：10,200部、年10回（7・8月、1・2月は合併号） 発行形態：A3版、両面見開き 継続年数：10年以上 事業予算額：409,000円	「つるせ西だより」の発行 編集会議：月2回（原則第1、3金曜日） 編集委員：市民10名前後、任期2年 発行部数：10,200部、年10回（7・8月、1・2月は合併号） 発行形態：A3版、両面見開き 継続年数：10年以上 事業予算額：409,000円	編集委員の高齢化が課題。西だよりの内容は地域住民に好評のため継続。	個別事項評価	令和5年度の評価
担当課	鶴瀬西交流センター					取組成果	B
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている	
基本目標①	市民との協働による事業の充実					実施手法	
本事業と関連のある他計画						2 手法は概ね適切である	
-						継続性・発展性	
計画の位置付け						事業目標	事業概要
事業名	児童館運営事業	関沢児童館、諏訪児童館及びふじみ野児童館を拠点として、子どもたちや子育て中の保護者に対する各種事業を実施することにより、児童の健全育成及び子育て支援の充実を図る。 数値目標： 新型コロナウイルスの影響前の来館者数（参考数値R1年度） 関沢：16,000人（15,585人） 諏訪：24,500人（24,005人）	関沢児童館、諏訪児童館及びふじみ野児童館それぞれの特色を生かし、地域に密着した事業や3館連携事業を行うほか、夜間開館による中高生の居場所づくりを行う。 継続年数：10年以上 決算：64,987千円（指定管理料）	新型コロナウイルス感染症が2類から5類に移行したことにより、令和5年度は人数制限などを撤廃し通常開館、通常事業実施とした。事業に関しては事業計画5ヶ年計画に基づき従来の事業を継続し新規事業に取り組み実施年度を前倒しするなど多彩な事業を実施した。 数値目標 来館者数 関沢児童館：15,053人 諏訪児童館：21,755人 ふじみ野児童館：23,902人	コロナ禍で実施できなかった事業を積極的に再開しながら同時に新規事業にも取り組んでおり、来館者アンケートなどでも実際に事業に参加した利用者の満足度の高さが伺える。 今後も利用者のニーズを汲み取りながら事業の見直しや充実に努めて欲しい。	個別事項評価	令和5年度の評価
担当課	保育課					取組成果	A
基本目標	施策の柱					3 十分な成果を挙げている	
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法	
本事業と関連のある他計画						3 実施手法は適切で見直しの必要はない	
第二期富士見市子ども・子育て支援事業計画						継続性・発展性	
-						3 次年度も継続	

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	「びっぴ」のひろば	ひろばでの遊びや製作など、同年代の子どもと親の交流の場を提供する。また、子育てに関する相談をうけたり情報提供を行い、親子の成長を支援する。 数値目標：年間利用者数8,000人（親子合計）	対象:未就学児と保護者 日時:年間を通して実施 場所:プレイルーム 参加費:無料 予算:0円 継続年数：10年以上	年間利用人数: 大人2,898人 子3,164人、計6,062人	数値目標には達することができなかったが、令和6年2月から利用者の人数制限と時間制限を解除した事で、利用人数は増えており、これからの年間利用人数についても増加を期待できる。 引き続き利用者に対して丁寧な関わりを意識し、相談業務や事業運営を行っていく。	個別事項評価	令和5年度の評価	
担当課	子ども未来応援センター					取組成果	B	
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている		
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法		2 手法は概ね適切である
						継続性・発展性		3 次年度も継続
本事業と関連のある他計画								
第二期富士見市子ども・子育て支援事業計画								
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	小さな子どものためのコンサート	生の演奏に触れ、親子で楽しい時間を共有し、学習の機会とする。 数値目標：参加者の満足度80%以上（アンケートによる）	対象:未就学児と保護者 日時:11月16日 会場:キラリ☆ふじみ 参加費:無料（予定） 予算:131,000円 継続年数：10年以上	演奏:東邦音楽大学 事業協力者:びっぴママ5人、淑徳大学学生（ボランティア） 内容:子どものためのクラシック曲・童謡など 参加費:無料 参加人数:大人228人、子196人 計424人 事業周知:広報、HP、X、Instagram、kids通信、ポスター、富士見すくすくナビ 事業決算額:117,150円 【内訳】謝礼：東邦音楽大学(50,000円)、事業協力者:びっぴママ5人（1人1,000円×5人） 会場使用料：29,000円 著作権使用料：1,320円 消耗品：31,830円	今年度からチケット代を無料化、席を完全に自由席にし、受入人数も大幅に増やした事で多くの利用者から喜んでもらう事ができた。目標数値についても満足度95%以上を達成する事ができた。大人数に対応する事業の土台は出来上がったので、これを基に引き続きコンサート事業を行っていく。	個別事項評価	令和5年度の評価	
担当課	子ども未来応援センター					取組成果	A	
基本目標	施策の柱					3 十分な成果を挙げている		
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法		3 実施手法は適切で見直しの必要はない
						継続性・発展性		3 次年度も継続
本事業と関連のある他計画								
第二期富士見市子ども・子育て支援事業計画								
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	人形劇	人形劇を親子で楽しみ、相手を思いやる心や生きる喜びなどを育む機会とする。 数値目標：参加者の満足度80%以上（アンケートによる）	対象:未就学児と保護者 日時:9月20日 会場:鶴瀬西交流センター 委託団体:未定 参加費:無料 継続年数：10年以上 予算:10,000円	委託団体：子どものそのお母さん人形劇サークル 参加人数:大人20人、子21人 計41人 事業周知:広報、HP、ポスター、kids通信 事業決算額:10,000円	人形劇に参加した親子からは楽しかったという声も多く、目標の満足度80%を超えることができた。参加者の年齢は1歳以上の子どもを対象に募集したが、人形劇に興味津々に参加する姿がみられた。アンケートを見るともう一度観たいという声も多く、来年度も人形劇の事業は継続していく。	個別事項評価	令和5年度の評価	
担当課	子ども未来応援センター					取組成果	A	
基本目標	施策の柱					3 十分な成果を挙げている		
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法		3 実施手法は適切で見直しの必要はない
						継続性・発展性		3 次年度も継続
本事業と関連のある他計画								
第二期富士見市子ども・子育て支援事業計画								

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価	
事業名	子育て講座	保護者向けに、子育てに役立つような講座を開き、学習機会の充実を図る。 数値目標：参加者の満足度80%以上（アンケートによる）	対象:未就学児と保護者 時期:4月、7月、9月 他 会場:鶴瀬西交流センター 他 参加費:無料 継続年数：10年以上 予算:15,000円	<3B体操> 実施日:6月2日（金） 内容:ボール・ベル・ベルターを使った体操 参加人数:大人12人、子13人 計25人 講師:熊木広美氏 事業周知:広報、HP、ポスター、kids通信 <親子で楽しくヨガ体験> 実施日:7月12日（水） 内容:親子で参加できるヨガ体験 参加人数:大人7人、子7人 計14人 講師:谷脇昭子氏 事業周知:広報、HP、ポスター、kids通信 <ママとベビーの楽しいヨガ> 実施日:10月25日(水) 参加人数：大人8人、子8人 計16人 ※内容、講師、事業周知は上記<親子で楽しくヨガ体験>と同じ 事業決算額:15,000円（各講座5,000円）	利用者満足度は80%を超える事ができた。 参加した利用者からの満足度も高く、またやってほしいという声も続いている。次年度についてもこれらの講座を続ける。	個別事項評価	令和5年度の評価
担当課	子ども未来応援センター						
基本目標	施策の柱						
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実						
基本目標②							
基本目標③							
本事業と関連のある他計画							
第二期富士見市子ども・子育て支援事業計画						3 十分な成果を挙げている	
						実施手法	
						3 実施手法は適切で見直しの必要はない	
						継続性・発展性	
						3 次年度も継続	
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価	
事業名	避難行動要支援者支援事業	災害時自力避難が困難な高齢者、障がい者等（登録者）の支援内容を市・町会・民生委員等で共有し、地域における助け合いを推進していく。 数値目標：	平常時より要支援者情報を関係機関・民生委員・町会等が共有し、迅速に安否確認及び避難行動要支援等を行える体制を市民と協働で取り組み、地域ごとに整備する。 継続年数：5～10年 事業予算額：168,000円	1. 避難行動要支援者支援事業登録者の登録内容の更新作業（町会、民生委員へ協力依頼）：令和5年12月～令和6年1月 2. 登録者リストの更新作業（事務局） 3. 更新済みリストの配布（町会、民生委員）：令和6年4月	災害時に自力避難が困難な方(避難行動要支援者)の情報を、事前に避難支援関係者間で共有しておくことで、災害時の迅速な避難誘導や安否確認が可能となり、地域での支え合いや防災力の向上に資する事業となっている。一方で、要支援者を支える支援者側の高齢化や、担い手の確保が困難になっているなど課題も多く、制度自体の見直しが必要となっている。また、本事業の趣旨と生涯学習の関連性が薄いため、アクションプランへの掲載は今年度で終了とする。	個別事項評価	令和5年度の評価
担当課	福祉政策課						
基本目標	施策の柱						
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実						
基本目標②	地域の人材を活かした学習機会の提供						
基本目標③	学習成果の活用機会の創出						
本事業と関連のある他計画							
第3次富士見市地域福祉計画						2 一定の成果を挙げている	
						実施手法	
						1 見直しが必要である	
						継続性・発展性	
						3 次年度も継続	
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価	
事業名	ふじみ福祉フォーラム21	誰もが安心して暮らせる地域社会が実現できるよう、市民自らが福祉の理解と社会参加を促進していくこと。 数値目標：	市民参加による地域福祉活動の振興を図るため、ふじみ福祉フォーラム21実行委員会に対し、活動費を補助する。 継続年数：10年以上 事業予算額：392,000円 日時：令和6年1月28日（日） 会場：キラリふじみ	1.実施日：令和6年1月28日（土） 2.会場：キラリ☆ふじみ 3.内容：「インクルーシブ教育」をテーマとして取り上げ、関西テレビ制作のドキュメンタリー番組「みんなの学校」上映後、当市のインクルーシブ教育について教育相談室長及び針ヶ谷小学校校長が報告 4.参加人数：166名 5.補助金交付先：ふじみ福祉フォーラム21実行委員会（交付決定額：392,000円 実績額：271,465円）	インクルーシブ教育という子育て世代に馴染みの深いテーマであったため、若い世代の参加者が多かった。また、ドキュメンタリー映像の上映と併せて本市の取組を紹介したことにより、参加者のインクルーシブ教育への理解促進の一助となった。新たな試みとして、感想を書いた付箋を会場内に設置したボードに貼り出すことで参加者同士で感想や意見をシェアできる仕掛けを行ったところ好評であった。今後も市民主体で身近な福祉を学ぶ場として継続していきたい。	個別事項評価	令和5年度の評価
担当課	福祉政策課						
基本目標	施策の柱						
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実						
基本目標③	生涯学習を通じたまちづくりの推進						
基本目標②							
本事業と関連のある他計画							
第3次富士見市地域福祉計画						2 一定の成果を挙げている	
						実施手法	
						2 手法は概ね適切である	
						継続性・発展性	
						3 次年度も継続	

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	生活支援体制整備事業	生活支援サービスの充実を図るとともに地域における支え合いの体制づくりを推進することを目的とする。 数値目標：生活支援コーディネーター認知率の向上（R4年度実施の高齢者等実態調査で取得中）	地域のちょっとした困りごとは地域で解決できる体制づくりを目指す。日常生活圏域（第2層）ごとの特性を活かしつつ、地域のニーズに合わせた生活支援サービスや居場所づくりの創出に向けて、生活支援コーディネーターが伴走型支援をしながら、地域の方々と関係者ととも地域について考え検討・議論できるよう取り組んでいく。 継続年数： 5～9年 事業予算額： 11,917,000円	・「地域つながるおとなりフェス」の開催 日時：令和6年3月14日午後 内容：地域で活躍している団体、集いの場やボランティア活動を通じた交流についての紹介。 会場：市民総合体育館 講師等：高齢者あんしん相談センター、サロンおきがるに、水谷東地域支え愛隊、南畑地区社会福祉協議会、ウエルシア薬局株式会社 等 参加人数：145名 主催：富士見市、富士見市社会福祉協議会	地域ごとの実情に合った事業を展開できるよう、日常生活圏域（第2層）における取組みを工夫してすすめた。引続き、次年度も地域の課題やニーズを把握し、地域を知り学びながら地域ごとに検討・議論ができるような取組みを実施できるように努めていく。	個別事項評価	令和5年度の評価	
担当課	高齢者福祉課					取組成果	B	
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている		
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法		2 手法は概ね適切である
基本目標②	地域の人材を活かした学習機会の提供					継続性・発展性		3 次年度も継続
基本目標③	学習成果の活用機会の創出							
本事業と関連のある他計画								
第8期富士見市高齢者保健福祉計画								
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	富士見市コミュニティ大学活動支援	高齢者が自主的に行うコミュニティ大学の活動を支援する。 数値目標：活動状況を確認しながら運営等、活動に関する相談・支援等を月1回以上行う。	高齢者の生涯学習として、親睦交流や生きがいづくり、地域貢献を目的に自主運営している、富士見市コミュニティ大学の活動の場の提供等支援する。 継続年数： 10年以上 事業予算額： -円	コミュニティ大学については102人が入学し、新型コロナウイルス感染症流行前の活気を取り戻すことができた。 市では受講生の募集案内や申込みの受け、会場確保等の相談を受け、支援を行った。	受講状況等から、コミュニティ大学が従来どおり開催されることを心待ちにしていた人が多いことがわかる。高齢者の活動の場を保障するため、今後もコミュニティ大学の運営を支援していく。	個別事項評価	令和5年度の評価	
担当課	高齢者福祉課					取組成果	A	
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている		
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法		3 実施手法は適切で見直しの必要はない
基本目標③	生涯学習を通じたまちづくりの推進					継続性・発展性		3 次年度も継続
本事業と関連のある他計画								
第8期富士見市高齢者保健福祉計画								
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	一般介護予防事業（集中型介護予防教室）	介護予防教室や相談を通し、誰もが住み慣れた地域でいきいきと暮らせるよう、健康づくりや仲間づくり、自主グループ活動をすすめ、高齢者の活動性の向上や社会参加を促進する。 数値目標：76回1,140人 第8期高齢者保健福祉計画では、80回1,200人	対象：高齢者 期間：6か月 会場：健康増進センター 募集人数：1コースあたり15名 内容：虚弱層向けに、運動や口腔、栄養など複合的なプログラムを実施し、心身機能の維持向上を図る。 継続年数：10年以上 事業予算額：3230千円	回数：76回 参加延べ人数：1,117人 事業決算額：3312千円	広報を見た方や高齢者あんしん相談センターからのすすめで参加する方が多かった。	個別事項評価	令和5年度の評価	
担当課	健康増進センター					取組成果	B	
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている		
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法		2 手法は概ね適切である
						継続性・発展性		3 次年度も継続
本事業と関連のある他計画								
第8期富士見市高齢者保健福祉計画								

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価	
事業名	一般介護予防事業（フレイルチェック事業）	フレイルサポーターを養成し、高齢者の社会参加や地域貢献を促進する。また、フレイルチェックにより虚弱高齢者を早期に発見、介入することで、健康寿命の延伸をはかる。 数値目標：フレイルサポーター養成2回30人、フレイルチェック測定会23回445人	対象：高齢者 期間：通年 会場：フレイルチェック 公共施設 募集人数：フレイルチェック 各回20人 フレイルサポーター 30人/年 内容：フレイルサポーター養成研修、フレイルチェック測定会 継続年数：3年 年事業予算額：411千円 ※フレイルとは、虚弱を意味し、加齢により心身の活力（筋力、認知機能、社会とのつながりなど）が低下した状態をいいます。	フレイルサポーター養成：13人 フレイルチェック測定会：25回 356人参加 事業決算額：361千円	フレイルサポーター養成は目標人数に届かなかったが、測定会は毎回サポーターも参加し実施できた。フレイルサポーターを増やせるように周知を工夫していく。	個別事項評価	令和5年度の評価
担当課	健康増進センター					取組成果	B
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている	
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法	
						2 手法は概ね適切である	
						継続性・発展性	
						3 次年度も継続	
本事業と関連のある他計画							
第8期富士見市高齢者保健福祉計画							
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価	
事業名	一般介護予防事業（介護支援ボランティアポイント事業）	ボランティア活動を通じ、高齢者の社会参加や地域貢献を促進する。高齢者が高齢者を支える機運を醸成する。 数値目標：登録者数320人	対象：高齢者 期間：通年 内容：介護保険施設等でボランティア活動をおこない、ポイントをためる。 継続年数：5～9年 事業予算額：3823千円	登録者数：361人 活動時間数：11,705時間 事業決算額：3,773千円	介護保険施設でのボランティア活動も再開されてきたため、コロナ禍で対象を広げていたものを元に戻すよう検討していく。	個別事項評価	令和5年度の評価
担当課	健康増進センター					取組成果	B
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている	
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法	
						2 手法は概ね適切である	
						継続性・発展性	
						3 次年度も継続	
本事業と関連のある他計画							
第8期富士見市高齢者保健福祉計画							
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価	
事業名	一般介護予防事業（ふじみパワーアップ体操普及事業）	誰もが住み慣れた地域でいきいきと暮らせるよう、運動と社会参加の機会をつくる。 数値目標：第8期高齢者保健福祉計画では、64クラブ1,590人	対象：高齢者 期間：通年 会場：公共施設、集会所等 内容：パワーアップリーダー養成講座、パワーアップクラブ開設講座 継続年数：10年以上 事業予算額：377千円	パワーアップリーダー養成講座：8回講座2コース実施、延べ参加者302人 パワーアップ体操地域クラブ数：54クラブ 実参加者数：1,133人 事業決算額：23千円	新しいクラブを2クラブ開設できた。	個別事項評価	令和5年度の評価
担当課	健康増進センター					取組成果	B
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている	
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法	
						2 手法は概ね適切である	
						継続性・発展性	
						3 次年度も継続	
本事業と関連のある他計画							
第8期富士見市高齢者保健福祉計画							

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	市民健康づくり事業（生活習慣病予防教室）	生活習慣病の予防に向けた基礎知識の習得をはじめ、食事や運動について日常生活で実践できる具体的な方法を体得し、健康の自己管理ができるように支援する。 数値目標：年4回	対象：成人 日時：年間4回程度 会場：市内公共施設 募集人数：20名程度 内容：生活習慣病予防に関する講話等 継続年数：10年以上 事業予算額：50千円	①糖尿病予防 日時：令和5年11月12日・28日 会場：健康増進センター・市民総合体育館 参加人数：延べ20名 ②高血圧予防 令和5年12月22日会場：ピアザ☆ふじみ 8名 ③脂質異常症予防 令和6年1月26日、2月2日 会場：①と同様 参加人数：延べ30名 ④高血圧予防 令和6年1月11日 会場：鶴瀬公民館 参加人数：19名 講師：日鼻医院 日鼻医師 事業決算額：30千円	①②③教室の内容を一部見直し、講話に加え、糖尿病・脂質異常症については、運動実践の講座を追加をした。また、高血圧についてはだけでも理解促進を図れたが、講座と試食を行い、頭と舌で学ぶ機会とし、普段の食生活の意識向上に結び付けたい。 ④今年度より、高血圧をテーマに講演会を実施した。医師からの講演は説得力があり、満足度・理解度が高かった。	個別事項評価	令和5年度の評価	
担当課	健康増進センター					取組成果	2 一定の成果を挙げている 3 次年度も継続	B
基本目標	施策の柱					実施手法		
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					継続性・発展性		
本事業と関連のある他計画								
いきいき健康&歯っぴーライフ☆ふじみ								
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	市民健康づくり事業（ヘルスセミナー）	若い世代に対して、自分自身の健康と生活習慣病予防等に関心を持てるよう支援する。 数値目標：年2回	対象：成人 期間：ヘルスチェック開催時 会場：健康増進センター 内容：生活習慣病等の予防・啓発 継続年数：10年以上 事業予算額：6千円	日時：令和5年5月3日、令和6年2月7日 会場：健康増進センター 参加人数：113名 事業決算額：7千円	乳房モデルによる乳がん触診体験及び自己触診啓発チラシの配布、健診の結果の見方についてをテーマに、リーフレットをもとに健診の必要性について周知を行った。40歳未満の若い世代への啓発ができた。	個別事項評価	令和5年度の評価	
担当課	健康増進センター					取組成果	2 一定の成果を挙げている 3 次年度も継続	B
基本目標	施策の柱					実施手法		
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					継続性・発展性		
本事業と関連のある他計画								
いきいき健康&歯っぴーライフ☆ふじみ								
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	市民健康づくり事業（歯周病予防教室）	歯周病を生活習慣病の一つとして捉え、正しい口腔ケアについて学び、自己管理ができるよう支援する。 数値目標：年2回	対象：成人 日時：年間2回程度 会場：市内公共施設 募集人数：20名程度 内容：口腔ケアに関する講話等 継続年数：10年以上 事業予算額：20千円	日時：①令和5年8月26日、②令和5年11月21日 会場：①ピアザ☆ふじみ②健康増進センター 講師：埼玉県歯科衛生士会朝霞支部 歯科衛生士 参加人数：24名 事業決算額：23千円	ヘルスアップ教室(糖尿病予防)や災害時の食・栄養の料理教室などの教室と一緒に歯科保健に関する事業を実施に努めて開催をした。 生活習慣病と口腔衛生は深い関連があることを含め、知識の普及啓発を推進していく。	個別事項評価	令和5年度の評価	
担当課	健康増進センター					取組成果	2 一定の成果を挙げている 3 次年度も継続	B
基本目標	施策の柱					実施手法		
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					継続性・発展性		
本事業と関連のある他計画								
いきいき健康&歯っぴーライフ☆ふじみ								

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	市民健康づくり事業（運動講座）	生活習慣病予防のための運動について、日常生活で実践できる具体的な方法を体得し、健康の自己管理ができるようにする。 数値目標：年10回	対象：成人 日時：年間10回程度 会場：市内公共施設 参加費：傷害保険料 募集人数：20名程度 内容：生活習慣病予防のための運動の実践等対象 継続年数：10年以上 事業予算額：167千円	日時：令和5年5月17日等計8回 会場：市内公共施設 講師：NPO法人日本カルチャーヨガ協会、県民健康福祉村等 参加人数：延99名 事業決算額：150千円	ウォーキングやヨガ、筋トレなど自宅で実践できる内容を行い、参加者の運動に対する意識の向上を図ることができた。 休日（土日）開催を行ったことで、若い世代の参加もあった。参加今後も成人期が参加しやすい日程・時間設定を行う。	個別事項評価	令和5年度の評価	
担当課	健康増進センター					取組成果	B	
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている		
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法		2 手法は概ね適切である
						継続性・発展性		3 次年度も継続
本事業と関連のある他計画								
いきいき健康&歯っぴーライフ☆ふじみ								
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	市民健康づくり事業（地域健康相談）	地域の要望に沿った健康づくりのテーマを設定し、地域・団体単位で継続的に健康づくりに取り組めるよう支援する。 数値目標：年4回	対象：町会や団体等 期間：通年 会場：集会所等 内容：町会等と相談して決定 継続年数：10年以上 事業予算額：30千円	日時：水谷熟年学級：令和5年11月9日 公民館まつり：令和5年5月21日、5月28日、11月12日、3月2日、3月9日、3月10日 会場：鶴瀬公民館、水谷東公民館、市、水谷公民館、ふじみ野交流センター、針ヶ谷コミュニティセンター、南畑公民館 参加人数：延べ175名 事業決算額：45千円	要望を受け健康長寿サポーター養成講座を実施した。また、各公民館のまつりに参加をし健康相談などを実施した。健康に関する幅広い知識の提供を行うことができた。参加者から活発な発言があり、意欲的に学んでいただいた。	個別事項評価	令和5年度の評価	
担当課	健康増進センター					取組成果	B	
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている		
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法		2 手法は概ね適切である
						継続性・発展性		3 次年度も継続
本事業と関連のある他計画								
いきいき健康&歯っぴーライフ☆ふじみ								
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	市民健康づくり事業（所内健康相談）	生活習慣病や食事について、保健師・管理栄養士による個別相談を実施し、健康の保持・増進につなげる。 数値目標：年60回	対象：成人 期間：通年（電話相談含む） 会場：健康増進センター 内容：個別健康相談 継続年数：10年以上 事業予算額：0円	日時：毎月1回（電話相談含む） 会場：健康増進センター 参加人数：64名 事業決算額：0円	医療にかかる前の方に対し、食生活や運動習慣等について対象者の生活状況に合わせた個別相談を行い、健康の保持・増進につなげた。	個別事項評価	令和5年度の評価	
担当課	健康増進センター					取組成果	B	
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている		
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法		2 手法は概ね適切である
						継続性・発展性		3 次年度も継続
本事業と関連のある他計画								
いきいき健康&歯っぴーライフ☆ふじみ								

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価	
事業名	市民健康づくり事業（食生活改善推進員リーダー講習会）	市が委託している健康づくり料理講習会を円滑に実施することを目的として、食生活改善推進員協議会のリーダーに対して健康や食事に関する正しい情報の提供と交流を行う研修会を実施する。 数値目標：年6回	対象：富士見市食生活改善推進員 期間：5月～2月 会場：ピアザ☆ふじみ 内容：健康づくり料理講習会のためのリーダー講習会 継続年数：10年以上 事業予算額：239千円	実施期間：5-2月 対象：富士見市食生活改善推進員 参加人数：延べ102人 会場：ピアザ☆ふじみ 実施内容：健康づくり料理講習会のためのリーダー講習会 事業決算額：198千円	調理台の定員をコロナ禍以前の4～6名に戻して実施した。 次年度も引き続き、定員を4～6名で実施していく。	個別事項評価	令和5年度の評価
担当課	健康増進センター						
基本目標	施策の柱						
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実						
本事業と関連のある他計画							
いきいき健康&歯っぴーライフ☆ふじみ						3 十分な成果を挙げている	
						実施手法	
						2 手法は概ね適切である	
						継続性・発展性	
						3 次年度も継続	
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価	
事業名	市民健康づくり事業（健康づくり料理講習会）	栄養バランスのとれた健康的なメニューを実際に調理・試食し、生活習慣病予防のための食事について学ぶ機会を提供する。 数値目標：年42回（年6回×7施設）	対象：成人 期間：5月～2月 会場：公共施設7カ所 委託先：富士見市食生活改善推進員協議会 募集人数：20名程度/回 内容：料理講習会と健康に関するミニ講話 継続年数：10年以上 事業予算額：630千円	実施期間：5-2月 対象：成人～高齢者 参加人数：延べ344人 会場：公共施設7カ所 実施内容：調理実習と健康に関するミニ講話 事業決算額：353千円	調理台の定員をコロナ禍以前の4名に戻して実施した。保育は6回付けて開催した。 次年度も引き続き調理台の定員を4名とし、保育については年5回付けて実施していく。 参加者の固定化や新規参加者の伸び悩みが課題としてあるため、周知方法等を検討していく必要がある。	個別事項評価	令和5年度の評価
担当課	健康増進センター						
基本目標	施策の柱						
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実						
本事業と関連のある他計画							
いきいき健康&歯っぴーライフ☆ふじみ						2 一定の成果を挙げている	
						実施手法	
						2 手法は概ね適切である	
						継続性・発展性	
						3 次年度も継続	
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価	
事業名	市民健康づくり事業（食育推進事業）	富士見市みんなで取り組む食育推進条例に基づき、栄養バランスのよい食事や調理方法を学ぶ機会を提供し、食に関する啓発を進める。 数値目標：年8回	対象：市民 日時：年間8回程度 会場：ピアザ☆ふじみ他 参加費：調理実習の場合は食材料費 募集人数：20名程度 内容：専門の講師によるテーマに沿った講話と調理方法の習得等 継続年数：5～10年 事業予算額：485千円	実施期間：5月-1月計8回 講師：女子栄養大学駒込カフェテリア管理栄養士ほか 参加人数：延べ400人（R6.3.31現在） 事業決算額：240千円	昨年度に引き続き対面での実施と併せて、広く食育の推進を図るため一部の教室の様子を撮影しオンデマンド配信を実施した。アンケートから満足度の高さが伺え、今後も対面とICT等を活用したハイブリット式で実施予定。一方で、若年代の参加が少ないことが課題であり、開催方法や周知方法等について検討していく必要がある。	個別事項評価	令和5年度の評価
担当課	健康増進センター						
基本目標	施策の柱						
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実						
本事業と関連のある他計画							
いきいき健康&歯っぴーライフ☆ふじみ						2 一定の成果を挙げている	
						実施手法	
						2 手法は概ね適切である	
						継続性・発展性	
						3 次年度も継続	

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価	
事業名	市民健康づくり事業（健康に関する講演会）	いきいき健康&歯っぴーライフ☆ふじみを推進するため、テーマに沿った講演会等を開催し、健康づくりについて啓発を進める。 数値目標：年1回	対象：市民 期間：年1回 内容：健康に関する講演会等 継続年数：2年 事業予算額：30千円	日時：令和5年10月9日 会場：針ヶ谷コミュニティーセンター 講師：精神科医 川野大周氏 参加人数：36名 事業決算額：30千円	10～80歳代と幅広い世代の参加があり、「こころの健康」について関心が高まった方が多く、健康づくり活動のスキルアップにつながった。	個別事項評価	令和5年度の評価
担当課	健康増進センター					取組成果	B
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている	
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法	
						2 手法は概ね適切である	
						継続性・発展性	
本事業と関連のある他計画							
いきいき健康&歯っぴーライフ☆ふじみ							
本事業と関連のある他計画							
いきいき健康&歯っぴーライフ☆ふじみ							
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価	
事業名	市民健康づくり事業（健康マイレージ事業）	生活習慣病を予防するための運動習慣づくりを支援するため、ポイント制度を活用し楽しみながら歩くことを促す。 数値目標：スタンプラリーイベント年6回	対象：成人 期間：通年 内容：歩数に応じたポイント獲得や運動教室参加によるポイント獲得等によって、プレゼント抽選に参加できる。 継続年数：5～9年 事業予算額：1,574千円	新規登録者数625名（合計3,978名）（令和5年度） 賞品授与者218名 事業決算額：1,434千円	日々の歩数がグラフで見え、ポイントが溜まることで励みになるという声があり、楽しみながら実施でき、運動習慣づくりの支援ができた。市独自の抽選の当選者数を増やした事で、参加者のモチベーション向上につながった。令和6年1月よりコバトンALKOOマイレージが開始となった。スマートフォンにアプリをダウンロードしてアプリをベースに行うが、引き続き事業の周知にも力を入れていく必要がある。	個別事項評価	令和5年度の評価
担当課	健康増進センター					取組成果	B
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている	
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法	
						2 手法は概ね適切である	
						継続性・発展性	
本事業と関連のある他計画							
いきいき健康&歯っぴーライフ☆ふじみ							
本事業と関連のある他計画							
いきいき健康&歯っぴーライフ☆ふじみ							
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価	
事業名	自殺対策事業（ゲートキーパー養成研修）	自殺の危険を示すサインに気づき、適切な対応を図ることができる「ゲートキーパー」の役割を担う人材等を養成する。 数値目標：年3回	対象：市内在住、在学、在勤の方 期間：年3回 継続年数：5～9年 事業予算額：90千円	対象：市内在住、在学、在勤の方 期間：年3回 日時：①5月20日（午前・午後） 中級 ②12月8日（午前）初級 場所：①②市民総合体育館 計67名 事業決算額：90千円	例年研修参加者が少なかったが、今回も民生委員をはじめ、幅広い年代の参加があった。次年度に向けても、継続して養成することができるよう研修内容などについても検討していく必要がある。	個別事項評価	令和5年度の評価
担当課	健康増進センター					取組成果	B
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている	
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法	
						2 手法は概ね適切である	
						継続性・発展性	
本事業と関連のある他計画							
いきいき健康&歯っぴーライフ☆ふじみ							
第2期富士見市自殺対策計画							
本事業と関連のある他計画							
いきいき健康&歯っぴーライフ☆ふじみ							

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	家庭学習応援事業	児童・生徒が主体的に取り組めるよう支援を行い、学習意欲と達成感を高め、家庭学習の習慣化と基礎学力の定着を図る。 数値目標：参加者の満足度85%以上	対象：小学5・6年生、中学3年生 期間：7～3月 会場：鶴瀬公民館、水谷公民館、針ヶ谷コミュニティセンター 委託事業者：平成29-令和3年度は株式会社エデュケーショナルネットワーク 令和4年度は株式会社トライグループ 令和5年度は株式会社学研エル・スタッフィング 参加費：小学生3,500円、中学生1教科5,500円 募集人数：小学5年生60名、小学6年生60名、中学3年生1教科60名 開講教科：小学生…算数、中学生…数学、英語（1教科の選択可） 継続年数：5～9年 事業予算額：13,407,000円	対象：小学5・6年生、中学3年生 期間：7～3月 会場：鶴瀬公民館、水谷公民館、針ヶ谷コミュニティセンター 委託事業者：株式会社学研エル・スタッフィング 参加費：小学生3,500円、中学生1教科5,500円 参加人数：小学5年生69名、小学6年生44名、中学3年生 英語56人、数学56人 開講教科：小学生…算数、中学生…数学、英語（1教科の選択可） 継続年数：5～9年 事業予算額：11,818,290円	令和5年度については参加者アンケートより、家庭学習時間はすべての学年で増加し、講座の満足度は95%を超える効果が得られた。また、すべての学年で学力の向上がみられ、基礎学力の引き上げが図られたものと考えられる。	個別事項評価	令和5年度の評価	
担当課	生涯学習課					取組成果	B	
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている		
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法		2 手法は概ね適切である
						継続性・発展性		
						3 次年度も継続		
本事業と関連のある他計画								
第3次富士見市教育振興基本計画								
夢つなぐ富士見プロジェクト+(プラス)								
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	国際交流フォーラム（再掲）	多文化共生の地域づくりを目的として、外国籍市民との交流企画、国際交流関係展示、体験と交流のコーナーなどを通じ、様々な国や地域の文化と触れ合う機会を作り、国際交流関係者、外国籍市民との相互交流を図る。 数値目標：国際交流を楽しんだと感じた参加者の割合75%	対象：子ども、一般 日時：10月1日（日） 会場：キラリ☆ふじみ 参加費：無料 継続年数：20年以上 事業予算額：80,000円（謝礼生涯学習課分）、100,000円（謝礼文化・スポーツ振興課分）	実施日：10月1日（日） ・外国籍市民の方のトーク、やさしい日本語講座、ネパールのダンス、太鼓演奏、民族衣装や着物の試着、フラワーアレンジメント体験、世界のお茶体験、太鼓体験、国際交流団体の活動展示、セルビアフェスタ等 会場：キラリ☆ふじみマルチホール他 参加人数：355人 外国籍の人への理解が深まったと感じた割合（アンケート実施）：96% ・国際交流を楽しんだと感じた参加者の割合（アンケート実施）：99% ・暮らしやすいと感じる外国籍市民の割合（アンケート実施）：100%	令和5年度は、民族衣装の試着や世界のお茶体験などの体験ブースも開設するなどコロナ前と同様の開催方法で実施することが出来た。体験ブース以外にも、令和4年度も実施したやさしい日本語普及のための講演会や外国籍市民のスピーチ、音楽などを通じて、多文化共生への理解を深めた。国・県も多文化共生施策として普及促進に力を入れている「やさしい日本語」については、講演会を行い、外国籍の方に対してやさしい日本語で話すことが相互理解に繋がることについて、市民の理解が深まった。アンケートにて、「やさしい日本語」を使っていきたいと回答した人が100%、「やさしい日本語」講座があったら受けてみたいと回答した人が100%だった。外国籍の方へのアンケートでは、「やさしい日本語」での表記・対応が増えたいと回答した人は92%だった。	個別事項評価	令和5年度の評価	
担当課	生涯学習課、文化・スポーツ振興課					取組成果	A	
基本目標	施策の柱					3 十分な成果を挙げている		
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法		2 手法は概ね適切である
						継続性・発展性		
						3 次年度も継続		
本事業と関連のある他計画								
富士見市第6次基本構想・第1期基本計画								
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	子ども大学☆ふじみ	大学やNPOなどと連携して取り組み、地域の教育力の向上を図るとともに、子どもたちに多様な学びの機会を提供する。 数値目標：子ども大学に参加して「楽しかった」と感じた児童の平均割合80%	対象：小学4年生～6年生（定員40名） 期間：6～9月 会場：市内公共施設、淑徳大学等 内容：学校では学ぶことができない、子どもの知的好奇心を刺激する講義や体験活動 主催：子ども大学☆ふじみ実行委員会 継続年数：10年以上 事業予算額：340,000円（補助金）	参加人数：37名（定員40名） 実施日：6/10、6/17、7/8、7/28、8/8、8/10、8/26、9/9（全8回） 会場：市内公共施設、淑徳大学埼玉キャンパス（三芳町） 講義内容：クイズラリー、身体コミュニケーション、考古学、防災、新聞製作、建築学、脱炭素 事業決算額：377,001円（内補助金対象額340,000円）	定員については、決定時期がコロナ5類移行決定前だったため、令和4年度に引き続き40名としたが、回数についてはコロナ前に戻して開催した。平均して83.85%の児童が「楽しかった」と回答しており、子ども達の知的好奇心の醸成につながった。次年度も多くの子どもたちの興味関心をひけるよう、実行委員会と協働で講義内容の選定に努めたい。	個別事項評価	令和5年度の評価	
担当課	生涯学習課					取組成果	A	
基本目標	施策の柱					3 十分な成果を挙げている		
基本目標③	市民間交流の促進					実施手法		3 実施手法は適切で見直しの必要はない
						継続性・発展性		
						3 次年度も継続		
本事業と関連のある他計画								
第3次富士見市教育振興基本計画								

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価				
事業名	市民人材バンク	幅広い分野における人材を発掘し、その情報を提供することによって、市民一人ひとりの多様な学習や活動を支援し豊かな地域社会をつくる。 数値目標： 【登録件数】260件 【利用件数】120件 【延利用人数】5000名	対象：市民 期間：通年 継続年数：10年以上 事業予算額：80,000円（補助金）	登録件数：224件 利用件数：200件（中止除く） 延利用人数：12,708名 人材バンクを利用して「とてもよかった」、「よかった」と回答した人の割合：100% 事業決算額：80,349円（内補助金対象額 80,000円）	前年度に比べ、利用件数は78件、延べ利用人数は6,712名増加しており、多くの市民に人材バンクを利用してもらうことができた。またすべての利用者に「よかった」「とてもよかった」と評価されており、高い満足度を得ることができた。登録件数については、3年に1度の継続確認を実施したため38件減少した。引き続き、利用者・登録者の増加に向け、モデル事業の開催や広報の工夫など、推進員の会との連携・協働を図っていく。	個別事項評価	令和5年度の評価			
担当課	生涯学習課					取組成果	B			
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている				
基本目標①	学習環境の整備					実施手法		2 手法は概ね適切である		
基本目標②	地域の人材を活かした学習機会の提供					継続性・発展性		3 次年度も継続		
基本目標③	学習成果の活用機会の創出					3 次年度も継続				
本事業と関連のある他計画						第3次富士見市教育振興基本計画 第8期高齢者保健福祉計画 富士見市男女共同参画プラン（第4次）				
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価				
事業名	生涯学習ガイド	市内の生涯学習事業の一覧を作成し、周知を行うことで、市民の生涯学習活動を支援する。 数値目標：配布箇所数23か所以上	市内の生涯学習事業の一覧を作成し、冊子の配布・HPに公表し周知を行う。 対象：市民 日時：6月発行予定 継続年数：5年以上 事業予算額：消耗品費のみ	市内の生涯学習事業を掲載した生涯学習ガイドを作成。公共施設に印刷した冊子の配布とHPに公表し周知を行った。 配布箇所：23か所 配布部数：69部 事業決算額：不明（紙代）	6月の発行を目指したが、8月の発行となってしまった。次年度は6月に発行できるよう、スケジュールを見直したい。また紙面についても、より多くの市民の方に手に取ってもらえるよう引き続き研究を続けていく。	個別事項評価	令和5年度の評価			
担当課	生涯学習課					取組成果	B			
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている				
基本目標①	学習環境の整備					実施手法		2 手法は概ね適切である		
本事業と関連のある他計画						第3次富士見市教育振興基本計画		継続性・発展性	3 次年度も継続	
								3 次年度も継続		
計画の位置付け						事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価
事業名	生涯学習推進委員会	富士見市生涯学習推進委員会を設置し、富士見市の生涯学習を推進する。 数値目標：年1回開催	生涯学習に関する、教育委員会、市長部局の担当課による委員で構成される生涯学習推進委員会にて、富士見市の生涯学習の推進・進捗管理や部署間の連携の為に情報交換を行う。 期間：年1回程度 継続年数：10年以上 事業予算額：0円	未実施	今年度は日程の都合上開催することが出来なかった。生涯学習の推進、進捗管理、部門間の連携には必要な組織の為に次年度以降も継続していく。	個別事項評価	令和5年度の評価			
担当課	生涯学習課					取組成果	未実施			
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている				
基本目標①	推進体制の充実					実施手法		2 手法は概ね適切である		
本事業と関連のある他計画						第3次富士見市教育振興基本計画		継続性・発展性	3 次年度も継続	
								3 次年度も継続		

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価			
事業名	生涯学習推進市民懇談会	広く市民の意見を求めるため、富士見市生涯学習推進市民懇談会を開催し、富士見市の生涯学習を推進する。 数値目標：年1回開催	学識経験者、市民団体等の代表者などで構成される生涯学習推進市民懇談会にて広く市民の意見を求め、富士見市の生涯学習を推進する。 期間：年1回程度 継続年数：5～9年 事業予算額：消耗品費、参加者謝礼	日時：令和6年3月25日（月） 場所：中央図書館視聴覚ホール	次期計画の策定に伴い任期を過ぎ、懇談会を開催した。初めての参加者が多かったため第3次生涯学習推進基本計画とアクションプランについて説明を行った。今後も生涯学習の推進に図るため市民の意見を取り入れていく必要があるため今後も継続していく。	個別事項評価	令和5年度の評価		
担当課	生涯学習課					取組成果 2 一定の成果を挙げている	実施手法 2 手法は概ね適切である	継続性・発展性 3 次年度も継続	B
基本目標	施策の柱								
基本目標①	推進体制の充実								
本事業と関連のある他計画 第3次富士見市教育振興基本計画									
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価			
事業名	人権教育推進事業（人間尊重啓発講座）	様々な人権問題の解消と、市民一人ひとりがお互いを認め合い、尊重しあえる地域社会づくりを目指して、公民館ごとにテーマを定めて開催する。 数値目標：各公民館で1回以上講座を実施。	対象：市民 期間：年4回、4公民館で1回ずつ実施予定。時期は未定 継続年数：10年以上 事業予算額：講師謝礼のみ	①日時：9月14日 午前10時～11時30分 会場：水谷東公民館 テーマ：『私たちのくらしと憲法 ～今だから考える～』 参加人数：40人 ②日時：12月20日 午前10時～11時30分 会場：南畑公民館 テーマ：『回想法』 参加人数：42人 ③日時：2月24日 午後1時30分～3時30分 会場：鶴瀬コミュニティセンターホール テーマ：『“対話”でつながるまち』 参加人数：45人 ④日時：3月18日 午後1時30分～3時30分 会場：水谷公民館 テーマ：『ひきこもりの真実～就労より自立より大切なこと～』 参加人数：70人	様々な人権問題への理解と解決に向けて、公民館で講演会を開催することは意義のあることと捉えている。今後も時代のニーズを見極めながら、講演会を開催していく。	個別事項評価	令和5年度の評価		
担当課	生涯学習課					取組成果 2 一定の成果を挙げている	実施手法 2 手法は概ね適切である	継続性・発展性 3 次年度も継続	B
基本目標	施策の柱								
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実								
本事業と関連のある他計画 第3次富士見市教育振興基本計画									
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価			
事業名	人権教育推進事業（人権教育講演会）	人間尊重の教育理念に基づき、あらゆる差別や偏見を許さない地域社会づくりを目標とする。 数値目標：参加者50人以上。	対象：市民 期間：年1回 継続年数：10年以上 事業予算額：講師謝礼のみ NPO法人富士見市民大学と共催で開催	日時：12月2日午後1時30分～3時30分 会場：鶴瀬コミュニティセンターホール テーマ：『SDGs推進のトップがえがくSDGsの未来図』 講師：一般社団法人SDGs協会代表理事 堤 晶子 参加人数：28人	毎年、NPO法人富士見市民大学の公開講演会として開催している。講師の選定について市民の意見を取り入れ、興味関心のあるテーマ設定を行っている。差別や偏見を許さない地域社会づくりを行っていくためにも今後も継続すべき事業である。	個別事項評価	令和5年度の評価		
担当課	生涯学習課					取組成果 2 一定の成果を挙げている	実施手法 2 手法は概ね適切である	継続性・発展性 3 次年度も継続	B
基本目標	施策の柱								
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実								
本事業と関連のある他計画 第3次富士見市教育振興基本計画									

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価						
事業名	人権教育推進事業（社会人権教育指導者養成講座）	人間尊重の教育理念に基づき、あらゆる差別や偏見を許さない地域社会づくりを目標とする。 数値目標：6校で1回以上実施。	地域や団体において積極的に働きかけのできる人材の養成を目的とし、市内の小・中特別支援学校のPTA役員を対象に開催 対象：PTA役員等 期間：ローテーションにより1年度6校で実施 継続年数：10年以上	①日時：11月10日 会場：本郷中学校 テーマ：『多様性について』 講師：校長 仲田 和広氏 参加人数：20人 ②日時：11月16日 会場：関沢小学校 テーマ：『ネット差別を許さない社会を築く』 講師：校長 藤谷 健二氏 参加人数：25人 ③日時：12月5日 会場：富士見特別支援学校 テーマ：『障がいの有無を超えた共生社会の実現について』 講師：教頭 山形 悟氏 参加人数：10人 ④日時：1月15日 会場：諏訪小学校 テーマ：『同和問題』 講師：教頭 齋藤 智哉氏、教務主任 牛頭朋之氏 参加人数：15人 ⑤日時：1月16日 会場：つるせ台小学校 テーマ：『拉致問題』 講師：人権主任 久郷 麻里亜氏 教頭 中村 恵美氏 参加人数：19人 ⑥日時：3月22日 会場：東中学校 テーマ：『スマホ利用とLGBTQ（性の多様性）』 講師：人権担当 宮根 愛奈氏	子ども達が人権問題に触れ・考える機会はあるが、保護者・教員をはじめとした育成者側の人達への人権問題の啓発の場も必要と考える。引き続き、保護者・教員のための講座を開催する。	個別事項評価	令和5年度の評価					
担当課	生涯学習課					取組成果	2 一定の成果を挙げている	B				
基本目標	施策の柱					実施手法			2 手法は概ね適切である			
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					継続性・発展性				3 次年度も継続		
本事業と関連のある他計画												
第3次富士見市教育振興基本計画												
計画の位置付け						事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	地域子ども教室					放課後や週末などに子どもが安心して活動できる場をつくとともに、次世代を担う児童の健全育成を支援する。 数値目標：子ども教室の延べ開催日数100日以上	対象：市内在学の小学生 期間：通年 会場：各小学校、公民館等 委託事業者：各企画運営委員会 継続年数：10年以上 事業予算額：3,546,000円	対象：市内在学の小学生 参加児童数：5,766人 参加ボランティア数：1,532人 期間：通年 実施回数：113回 会場：各小学校、公民館等 委託事業者：各企画運営委員会 継続年数：10年以上 事業決算額：2,224,248円（一般財源1,141,248円、県補助金1,083,000円）	各小学校区の企画運営委員会を中心に学校や公民館等と連携して地域子ども教室を実施。放課後や週末における安全で安心な子どもたちの居場所づくりに努めた。多くの教室にとって担い手の確保や活動の周知が課題となっているため、連絡協議会を開催することで各教室間の情報交換・情報共有を図った。次年度も引き続き、活動支援ならびに情報共有の場の提供に努める。	個別事項評価	令和5年度の評価	
担当課	生涯学習課									取組成果	2 一定の成果を挙げている	B
基本目標	施策の柱									実施手法		
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実	継続性・発展性	3 次年度も継続									
基本目標②	新たな人材の発掘											
基本目標③	市民間交流の促進											
本事業と関連のある他計画												
第3次富士見市教育振興基本計画												
第2期富士見市子ども・子育て支援事業計画												

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価	
事業名	図書館運営事業（おはなし会）	子どもを対象に、おはなし会を行い、図書館や本に対して親しみを持つ機会を作る。 数値目標：参加人数 2,355人（約1%増）	対象：幼児・小学生 日時：毎月 会場：中央図書館、鶴瀬西分館、ふじみ野分館 参加費：無料 内容：子どもに本や紙芝居の読み聞かせ、手遊び等を行う。 継続年数：10年以上 事業予算額：指定管理料を含む	日時：各館の計画に合わせて実施 水・金・土・日 場所：各館、児童館等 参加者：おはなし会 225回 4,291人 映画会 70回 1,315人	一部英語を取り入れたスペシャルおはなし会、芝生の上のおはなし会やはらっぱの上のおはなし会など図書館や本に親しむ機会を作ることが出来ている。今後も工夫を凝らしながら次年度も事業を継続していきたい。	個別事項評価	令和5年度の評価
担当課	生涯学習課						
基本目標	施策の柱						
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実						
基本目標①	学習環境の整備						
本事業と関連のある他計画						取組成果	A
第3次富士見市教育振興基本計画						3 十分な成果を挙げている	
第4次富士見市子ども読書活動推進計画						実施手法	
						3 実施手法は適切で見直しの必要はない	
						継続性・発展性	
						3 次年度も継続	
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価	
事業名	図書館運営事業（富士見市子ども読書コンクール）	小学生・中学生を対象に、自分で読んだ本を短い文章（POP）で紹介することにより、読解力や文書力が育つ。小学生・中学生が読書の楽しさを広げていく機会を作る。 数値目標:応募点数300点	対象：小学生・中学生 日時：11月（図書館まつり） 会場：中央図書館 参加費：無料 内容：本を短い言葉や絵で紹介するPOPを募集し、優秀作品の表彰および作品展示を行う。 継続年数：5～9年 事業予算額：指定管理料を含む	11月12日に表彰式実施 会場：中央図書館 応募点数：310点	全小・中学校から応募があり年々応募者数も増加している。児童、生徒の読書の楽しさを広げる機会となっていることから次年度も事業を継続していく。	個別事項評価	令和5年度の評価
担当課	生涯学習課						
基本目標	施策の柱						
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実						
基本目標①	学習環境の整備						
本事業と関連のある他計画						取組成果	A
第3次富士見市教育振興基本計画						3 十分な成果を挙げている	
第4次富士見市子ども読書活動推進計画						実施手法	
						3 実施手法は適切で見直しの必要はない	
						継続性・発展性	
						3 次年度も継続	
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価	
事業名	図書館運営事業（子ども司書講座）	図書館の仕事を体験しながら学び、図書館や本の楽しさを周囲にも伝えていけるような子ども達を育成していく。 数値目標：参加者数10人	対象：小学生 日時：夏休み 会場：中央図書館 参加費：無料 内容：図書館の仕事体験および図書の分類等についての学習する。 継続年数：5～9年 事業予算額：指定管理料を含む	日時：8月1日～8月3日 会場：中央図書館 参加者：5名	参加者数は少なかったが、参加者アンケートからは好評だった。周知方法を工夫し次年度も事業を継続して実施していきたい。	個別事項評価	令和5年度の評価
担当課	生涯学習課						
基本目標	施策の柱						
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実						
基本目標①	学習環境の整備						
本事業と関連のある他計画						取組成果	A
第3次富士見市教育振興基本計画						3 十分な成果を挙げている	
第4次富士見市子ども読書活動推進計画						実施手法	
						3 実施手法は適切で見直しの必要はない	
						継続性・発展性	
						3 次年度も継続	

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価	
事業名	図書館運営事業（読み聞かせ講座）	読み聞かせの技術向上のための講座を開催し、読み聞かせボランティアの育成に努める。 数値目標：年1回実施	対象：読み聞かせに興味がある方 日時：年に1回 会場：図書館 参加費：無料 内容：読み聞かせの際の注意点や本の選び方等を学ぶ。 継続年数：5～9年 事業予算額：指定管理料を含む	日時：11月15日 会場：中央図書館 参加者：21名 講師：児玉 ひろ美	ボランティアを育成することにより子どもが本に親しむきっかけ作りとなる。参加者からもよりスナップアップした講座を受講したいとの要望があったため手法を検討し、次年も事業を継続していきたい。	個別事項評価	令和5年度の評価
担当課	生涯学習課					取組成果	A
基本目標	施策の柱					3 十分な成果を挙げている	
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法	
基本目標①	学習環境の整備					3 実施手法は適切で見直しの必要はない	
本事業と関連のある他計画						継続性・発展性	3 次年度も継続
第3次富士見市教育振興基本計画							
第4次富士見市子ども読書活動推進計画							
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価	
事業名	図書館運営事業（図書館職員のおすすめ本）	利用者が本を選ぶ手助けと読書の幅を広げる機会を作る。 数値目標：福袋貸出点数110点	対象：利用者全体 日時：テーマ展示は毎月、福袋は年に1回 会場：中央図書館、鶴瀬西分館、ふじみ野分館 内容：お正月の時期の本の福袋の他、本のテーマ展示を行う。 継続年数：5～9年 事業予算額：指定管理料を含む	日時：テーマ展示毎月 福袋年1回 会場：各館 内容：本のテーマ展示 お正月の本の福袋	単に本を展示するのではなく、月ごとにテーマ展示を行うことで利用者の貸し出し意欲につながる。お正月に本の福袋を行うことで利用者の読書の幅を広げられる。上記のことから次年度も事業を継続していきたい。	個別事項評価	令和5年度の評価
担当課	生涯学習課					取組成果	A
基本目標	施策の柱					3 十分な成果を挙げている	
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法	
基本目標①	学習環境の整備					3 実施手法は適切で見直しの必要はない	
本事業と関連のある他計画						継続性・発展性	3 次年度も継続
第3次富士見市教育振興基本計画							
第4次富士見市子ども読書活動推進計画							
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価	
事業名	文化財保存団体連絡協議会への支援	市指定文化財であるお囃子や獅子舞などの民俗芸能を保存・継承する団体で構成する文化財保存団体連絡協議会への補助金の交付や活動の支援を行うとともに、市HP上などで民俗芸能について市民へ周知し、後世へ守り伝えていく。 数値目標：民俗芸能周知に関するページへのアクセス数を、年間1600件以上にする	市指定文化財であるお囃子や獅子舞などの民俗芸能を保存・継承する団体で構成する文化財保存団体連絡協議会への補助金の交付や活動の支援を行うとともに、市HP上などで民俗芸能について市民へ周知し、後世へ守り伝えていく。 対象：文化財保存団体加盟7団体 継続年数：10年以上 事業予算額：200,000円（補助金交付額）	確定額：200,000円 民俗芸能に用いる道具等修繕に対し、補助金を交付した。	年々後継者が少なくなっており、若い人が関心を持てるような取り組みが必要となっている。	個別事項評価	令和5年度の評価
担当課	生涯学習課					取組成果	B
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている	
基本目標②	地域資源を活かした生涯学習の提供					実施手法	
基本目標③	市民間交流の促進					2 手法は概ね適切である	
本事業と関連のある他計画						継続性・発展性	3 次年度も継続
第3次富士見市教育振興基本計画							

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価	
事業名	ほるたま展	大型商業施設（ららぽーと富士見）における文化財展示を開催し、市の埋蔵文化財を通して、歴史を市民に広く紹介する。 数値目標：来場者数4000人以上	対象：市民 日時：10～11月の土日を含む数日間 会場：ららぽーと富士見 内容：公益財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団との共催という形で、展示事業を実施。その中で富士見市のブースを設け、市内の埋蔵文化財について展示解説を実施。 継続年数：5～10年 事業予算額：0円	事業名：ほるたま展2023 開催日：10月21日～22日 見学者：1,858人 コロナ禍の影響で、事業を縮小した。	市民・県民の多くの方々に埋蔵文化財の周知することができた。	個別事項評価	令和5年度の評価
担当課	生涯学習課						
基本目標	施策の柱						
基本目標②	地域資源を活かした生涯学習の提供						
基本目標③	市民間交流の促進						
本事業と関連のある他計画							
第3次富士見市教育振興基本計画						2 一定の成果を挙げている	
						実施手法	
						2 手法は概ね適切である	
						継続性・発展性	
						3 次年度も継続	
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価	
事業名	子育てサロン	乳幼児を持つ親が子どもと一緒に気軽に集い、子育ての孤立感を解消し、仲間づくりや情報交換ができる居場所づくりを目的とし、また子どもと離れて落ち着いた環境で子育ての不安や悩みを話し合うことができる機会も提供する。 数値目標：親子はーとふるTime 31回 おかあさんのほっとTime 6回 げんきっこTime 11回	[親子はーとふるTime] 対象：乳幼児と保護者 日時：毎週金曜日 午前10時半から11時45分 [おかあさんのほっとTime]保育付き 対象：乳幼児の保護者 期間：4月から3月 年6回 午前10時半から12時 募集：6人（保育も同じ） [げんきっこTime] 対象：幼児と保護者 日時：月1回程度 火曜日 10時半から11時半 参加費：なし 継続年数：10年以上 予算額：103,956円	[親子はーとふるTime] 対象：乳幼児と保護者 日時：毎週金曜日 午前10時半から11時45分 実施：30回 [おかあさんのほっとTime]保育付き 対象：乳幼児の保護者 期間：4月から3月 実施：7回 午前10時半から12時 募集：6人（保育も同じ） [げんきっこTime] 対象：幼児と保護者 日時：月1回程度 火曜日 10時半から11時半 参加費：なし 実施：11回 継続年数：10年以上 事業決算額：講師謝礼15,000円 事業協力者謝礼62,186円	子育て中の同世代のママたちが出会い、交流するとともに、子育ての先輩ママによるボランティアスタッフとも子育ての不安や悩みを話し合え、孤立感を解消していける場所として機能している。こうした場所を提供し続けられるように今後も子育てサロンの充実を図っていきたい。課題：安心して参加できる機会の提供、サポーターの確保。	個別事項評価	令和5年度の評価
担当課	鶴瀬公民館						
基本目標	施策の柱						
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実						
本事業と関連のある他計画							
第3次富士見市教育振興基本計画						3 十分な成果を挙げている	
						実施手法	
						3 実施手法は適切で見直しの必要はない	
						継続性・発展性	
						3 次年度も継続	
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価	
事業名	おかあさんのステップアップ講座	乳幼児を持つ親育ちの機会として、様々な子育てに関する学習の場として開催する。 数値目標：6回	対象：乳幼児の保護者 期間：5月から3月 回数：6回 会場：鶴瀬公民館 募集人数：各回10人程度 保育付きあり 継続年数：10年以上 予算額：109,720円	①6月30日午前10時30分～11時30分、②7月21日午前10時30分～11時30分、③9月15日午前10時～11時30分、④10月20日午前10時～11時30分、⑤10月27日午前10時30分～11時30分、⑥11月17日午前10時～11時30分 ①「親子で楽しむリトミック」講師 大澤愛氏（8組16人） ②「ベビーマッサージ」講師 市民人材バンク 吉田理紗氏（4組8人） ③「簡単おやつ作り」講師 市健康増進センター 管理栄養士（8組15人） ④「より良い親子関係を築くために」講師 市教育相談室 室長（8組15人） ⑤「子どもの成長とその対応」講師 市第一保育所 保育士（8組16人） ⑥「ベビーダンス」講師 市民人材バンク 登録講師 大山かおる氏（7組14人） 講師謝礼15,000円 事業協力者謝礼40,202円	子育てにかかわる知識や意識の向上が図れ、親子のふれあいや、お母さん同士の交流の機会にもなった。市民講師による講座も開催できた。特に、親子関係についての講座が再開でき、参加者にも好評だったので、地道に続けていければと思う。 課題：参加者のニーズにあった講座の開催。保育者の確保。	個別事項評価	令和5年度の評価
担当課	鶴瀬公民館						
基本目標	施策の柱						
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実						
本事業と関連のある他計画							
第3次富士見市教育振興基本計画						3 十分な成果を挙げている	
						実施手法	
						3 実施手法は適切で見直しの必要はない	
						継続性・発展性	
						3 次年度も継続	

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価					
事業名	子育てコーチング講座	親子のコミュニケーションスキル向上と、子育ての悩みを解決する学習機会として開催 数値目標：2回	対象：幼児から小学生の保護者 日時：11月 2回 午前10時～正午 会場：鶴瀬公民館 参加費：なし 募集人数：各回15人程度（保育10人程度） 継続年数：10年以上 事業予算額：53,888円	子育てコーチング講座 「自ら考え行動する力を育むために」（全2回） 日時:11月15日・11月30日 午前10時～正午 会場:第三集会室 いきいき活動室 講師:コンフィダントコーチ代表 斉藤智子氏 事業決算額：講師謝礼 20,000円 事業協力者謝礼 19,062円 参加人数：のべ32人	基本のコーチングスキルを学び、普段のコミュニケーションの取り方を見直す良い機会にできたと思う。また、ロールプレイによりコーチングを体験し効果を実感できたと思う。課題：参加者のニーズにあった内容、保育者の確保	個別事項評価	令和5年度の評価				
担当課	鶴瀬公民館					取組成果	A				
基本目標	施策の柱					3 十分な成果を挙げている					
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法		3 実施手法は適切で見直しの必要はない			
						継続性・発展性		3 次年度も継続			
本事業と関連のある他計画											
第3次富士見市教育振興基本計画											
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価					
事業名	高齢者サロン	保健と福祉、社会教育が連携し、住民の参加を得ながら「健康づくり、地域づくり」を目指して介護予防を推進する。介護予防施設「いきいき活動室」の常設事業として、サロン型事業（3つのサロンの定着）を開設する。 数値目標：20名	【ひだまりほっとたいむ】 日時：第1～第3木曜日 午後1時30分～3時30分 参加費：月100円 【うたごえサロン】 日時:第1～第4火曜日 午後1時30分～3時30分 参加費：月100円 【おしゃべりサロン】 日時：毎週水曜日 午後1時30分～3時30分 参加費:なし 対象：高齢者 会場：鶴瀬公民館 募集人数：20名程度 継続年数： 10年以上 事業予算額： 0円	【ひだまりほっとたいむ】 期日：第1・2・3木曜日午後1時30分～3時00分 計30回実施 内容：話し合い、ゲーム、歌など。月1回保健師による健康相談を実施。サポーター9人 参加：延べ578人 【おしゃべりサロン】 期日：毎週水曜日午後1時30分～3時30分 計43回実施 内容：雑談、相談など何でも気軽に話せる場の提供。 サポーター2人 参加：延べ187人 【うたごえサロン】 期日：第1・2・3火曜日午後1時30分～3時00分 計32回実施 内容：童謡、唱歌、歌謡曲などの歌を楽しむ。サポーター4人 参加：延べ503人	まだまだ安心できないコロナ禍の現状ではあるが、気軽に来て他の参加者と話をすることでストレス発散になるという声も多い。また、サポーターの方々の献身的な貢献が非常に大きく高齢者のつどいの場として参加者も増えており、介護予防の地域の拠点となっている。 課題：新たなサポーターの発掘と行政からの予算的な支援も必要と考える。	個別事項評価	令和5年度の評価				
担当課	鶴瀬公民館					取組成果	A				
基本目標	施策の柱					3 十分な成果を挙げている					
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法		2 手法は概ね適切である			
基本目標③	生涯学習を通じたまちづくりの推進					継続性・発展性		3 次年度も継続			
本事業と関連のある他計画											
第3次富士見市教育振興基本計画											
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価					
事業名	介護予防事業	介護予防施設「いきいき活動室」の常設事業として、リハビリグループの自主活動支援を行う。 数値目標：20名	【つるの会】 日時:毎週火曜日 午前10時00分～12時00分 会場：鶴瀬公民館 対象：高齢者 募集人数：20名程度 継続年数： 10年以上 事業予算額： 0円	「つるの会」毎週火曜日 午前10時～12時 計32回 参加者318人 「げんきかい！」毎週水曜日 午前10時～12時 計30回 参加者130人 ※げんきかい！は、毎月第2水曜日はウォーキング	「つるの会」は、介護施設でも行われている早口言葉やパタカラ体操を取り入れ高齢者のリハビリとして行っている。また、「げんきかい！」は軽体操やウォーキングをフレイル予防として行っている。どちらも週1回の集まりを楽しみに和気あいあいとした雰囲気の中で活動されている。 課題：新たなサポーターの発掘	個別事項評価	令和5年度の評価				
担当課	鶴瀬公民館					取組成果	B				
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている					
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法		2 手法は概ね適切である			
						継続性・発展性		3 次年度も継続			
本事業と関連のある他計画											
第3次富士見市教育振興基本計画											

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価					
事業名	小学生体験教室	地域の小学生が、体験教室を通じて、学び合いから交流の輪を広げる機会とする 数値目標：参加人数30人	対象：市内小学生 日時：7月～8月（夏休み中） 会場：鶴瀬公民館 参加費：100円～300円程度 夏休みの工作作りを実施。 募集人数：10～20人程度 継続年数：10年以上 事業予算額：10,000円	対象：市内小学生 ①木の枝で作るフォトスタンド 指導：職員 日時：7月25日（火）10：30～12：00 参加人数：15人 参加費：無料 ②富士見の郷土民芸 扇だこづくり 指導：富士見市扇だこ保存会 日時：8月4日（金） 10：00～12：00 参加人数：6人 参加費：無料 事業決算額：5,000円	今年度、初企画の扇だこづくりでは、小学生が地元の郷土民芸に触れることができる貴重な機会を作ることができた。また、世代を超えて地域の市民同士が交流できた。定番のフォトスタンド作りも好評で、熱心に材料選びから製作まで取り組んでいた。講座によって参加人数の差が大きいため、多くの児童が参加しやすい開催時期や内容を検討する。	個別事項評価	令和5年度の評価				
担当課	鶴瀬公民館					取組成果	A				
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている					
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法					
						3 実施手法は適切で見直しの必要はない					
本事業と関連のある他計画									継続性・発展性		
第2次富士見市教育振興基本計画										3 次年度も継続	
計画の位置付け						事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価	
事業名	健康スマイル講座（市民生活講座）	地域資源や、地域の人々が持っている能力を、講座を通して広く共有することにより、生きがいや健康づくりに寄与することを目的に開催する。 数値目標：開催数10回	対象：市内在住の方 日時：通年（月1回） 午前10時～正午 会場：鶴瀬公民館 参加費：なし イムス富士見と連携をし、健康講座を月1回実施。 募集人数：15名程度 継続年数：7年 事業予算額：0円	健康スマイル講座 月1回（イムス富士見総合病院との連携による講座） 6/22 暑い夏を乗り越えよう！夏バテ予防と食事について 栄養科 管理栄養士 西澤氏 参加10人 7/27 夏の運動不足解消 リハビリテーション科 作業療法士 宮田氏、理学療法士 佐々木氏 参加16人 8/24 閉塞性下肢動脈硬化について 循環器内科 医師 坂下氏 参加20人 9/28 クスリの知識 薬剤部 薬剤師 野嶋氏 参加9人 10/26 慢性腎臓病について 腎臓内科 医師 田山氏 腎臓療法栄養指導士 管理栄養士 根岸氏 参加20人 11/16 冬の感染症対策について 感染対策チーム 感染管理認定看護師 赤川氏 参加10人 12/21 婦人科疾患について 婦人科医師 大久保氏 参加18人 1/25 冬、室内でできる運動 リハビリテーション科 理学療法士 佐々木氏 ・長谷川氏 参加18人 2/22 栄養管理の大切さ 栄養科 担当者 参加11人 3/21 ロボット手術・ダビンチ 泌尿器科 医師 篠崎氏 参加16人 市民生活講座「フラダンス体験教室」 全3回 1月22日（12人）・1月29日（11人）・2月5日（7人）午後1時～2時 講師 フラダンスインストラクター 安部 みどり氏 参加者12人 事業決算額：15,000円	健康スマイル講座について、引き続き実施した。キャンセル待ちが出るほど人気の講座もあり、市民からのニーズを強く感じている。 5年度は中止することなく定期的に行えたことが成果である。市民生活講座のフラダンス体験教室は大変好評である。	個別事項評価	令和5年度の評価				
担当課	鶴瀬公民館					取組成果	A				
基本目標	施策の柱					3 十分な成果を挙げている					
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法					
基本目標③	生涯学習を通じたまちづくりの推進					3 実施手法は適切で見直しの必要はない					
本事業と関連のある他計画									継続性・発展性		
第3次富士見市教育振興基本計画										3 次年度も継続	

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価	
事業名	つるせ公民館まつり	学習・文化・スポーツ等の公民館活動の日頃の成果を確かめ合い、互いの交流を深めるとともに、公民館活動の地域への一層の広がり地域住民の幅広い参加・交流のために開催する。新型コロナウイルス感染症対策のため、規模を縮小し、黙食会場を設けて開催。 数値目標：参加延べ人数2,000人	対象：公民館利用者 日時：5月20日（土）、21日（日） 会場：鶴瀬公民館 公民館利用団体の発表の場として年1回開催。舞台発表、展示、模擬店などを実施。 継続年数：10年以上 事業予算額：0円	とき：5月20日（土）午前10時～午後5時・5月21日（日）午前10時～午後3時 参加人数：のべ2,000人 テーマ 「笑顔で集う公民館」 主な内容 ①舞台発表（22団体）…演奏、合奏、ラウンドダンス、コーラスなど ②展示（6団体）…短歌、山の作品展示など ③模擬店（6団体）…チーズつくね・フランクフルト・パン・ジュースなど ④交流（2団体）…お茶席・健康チェックなど *打上交流会（48人参加） *実行委員会3回の他、運営委員会、各部会の開催	コロナ禍を経て、令和元年度以来4年ぶりに通常での内容の開催となった。打上交流会も開催した。サークル・団体の日頃の学習成果の発表の機会と交流を深める機会となった。課題：参加団体数はコロナ禍以前には至っていない。関連して当日の運営を担う人員（受付、駐輪場、会場整理等）の確保に苦慮している。子どもたちが楽しめる企画が少ない。	個別事項評価	令和5年度の評価
担当課	鶴瀬公民館						
基本目標	施策の柱						
基本目標③	学習成果の発表機会の充実						
本事業と関連のある他計画						取組成果	B
第3次富士見市教育振興基本計画						2 一定の成果を挙げている	
						実施手法	
						2 手法は概ね適切である	
						継続性・発展性	
						3 次年度も継続	
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価	
事業名	げんもりかん	市民団体との協働による芸術・文化活動の普及を目的とし、主に映画の上映を行う。年間2回の開催。 数値目標：総来場者数400人	対象：市民 日時：10月29日 会場：鶴瀬コミュニティセンターホール 内容：映画会を年1回開催 参加費：前売り800円・当日1,000円 募集人数：1日3回上映、各回120名 継続年数：10年以上 事業予算額：0円	「心の傷を癒すということ」6月17日①午前10時：93人②午後2時：50人③午後6時：23人 「お終活」1月27日①午前10時：157名②午後2時：100名③午後6時：24名	昨年度は1回のみで開催でしたが、今年度は2回の上映会を開催することが出来た。入場者も徐々に増えた。特に2回目の上映会は身近な題材のため、200名と大幅に増えた。テレビやネットで映画を鑑賞するよりも、大勢の方と一緒に大画面で鑑賞することを皆さん楽しみにしていると思う。	個別事項評価	令和5年度の評価
担当課	鶴瀬公民館						
基本目標	施策の柱						
基本目標①	市民との協働による事業の充実						
本事業と関連のある他計画						取組成果	A
第3次富士見市教育振興基本計画						3 十分な成果を挙げている	
						実施手法	
						2 手法は概ね適切である	
						継続性・発展性	
						3 次年度も継続	
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価	
事業名	富士見市子どもフェスティバル	富士見市の子どもたちの健全な成長を願い、富士見市における青少年活動の集大成の場として、子どもたちに「ふるさと富士見」と呼べる文化を伝える機会として開催する。富士見市全域の子どもたちが一堂に会し、遊びの体験や子どもが主役のステージ発表、模擬店などでのふれあいを通して、思い出づくりや意識を育む場とする。 数値目標：参加団体数30以上	日時：4月16日（日） 午前10時～午後3時まで 会場：市民総合体育館内 内容：子どもステージ、アトラクション、ポスター展示など 継続年数：10年以上 事業予算額：2,567,000円	日時：4月16日（日）午前10時から午後3時まで 会場：市民総合体育館及び周辺 内容：子どもステージ、アトラクション、ポスター展示など 参加人数：10,000人 事業決算額：2,471,741円(補助金)	子どもたちが遊びなどの体験を通して、異世代の子どもたちや地域の大人たちと触れ合い、交流を深めることができた。また、自主性のある子どもたちの育成につながった。32団体の参加があり、アトラクションや縁日など、多くの市民に楽しんでいただけた。学生ボランティアは、ステージの司会をはじめ、様々な役割で活躍してくれた。	個別事項評価	令和5年度の評価
担当課	鶴瀬公民館						
基本目標	施策の柱						
基本目標①	市民との協働による事業の充実						
本事業と関連のある他計画						取組成果	A
第3次富士見市教育振興基本計画						3 十分な成果を挙げている	
						実施手法	
						3 実施手法は適切で見直しの必要はない	
						継続性・発展性	
						3 次年度も継続	

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価					
事業名	富士見市民大学	市民自らが考え、参画し、自己創造していく市民大学を目指している。富士見市民大学は、2006年から市民大学推進市民の会（2008年NPO法人富士見市民大学）が事業委託、2016年から補助金を受けて鶴瀬公民館との協働により運営。 数値目標：公開講演会での満足度75パーセント以上	対象：市内在住の方 期間：6月～2月 会場：鶴瀬公民館等市内公共施設 参加費：300円～800円（運営費・保険料） 文学講座・文章実作教室・国際社会学・社会保障学・富士見の歴史・行政と市民生活・ふじみ自然塾・市民サロン塾・親子で自然教室等、毎年様々な講座を開催 継続年数：10年以上 事業予算額：1,100,000円	対象：市内在住の方 期間：6月～2月 会場：鶴瀬公民館等市内公共施設 参加費：300円～800円（運営費・保険料） 文学講座・文章実作教室・国際社会学講座・社会保障学講座・富士見の歴史・行政と市民生活・親子で学ぼう「竹とんぼづくり」と「縄文の森の観察」・市民サロン塾と公開講演会（5回）を開催。 事業決算額：1,100,000円	8講座と5回の公開講演会を開講した。出席率80%を超える講座が2つあり、市民の要望が高かったことが窺えた。また、公開講演会の回数を昨年度から1回増やし、より多くの市民に学ぶ機会を提供した。	個別事項評価	令和5年度の評価				
担当課	鶴瀬公民館					取組成果	A				
基本目標	施策の柱					3 十分な成果を挙げている					
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法		3 実施手法は適切で見直しの必要はない			
						継続性・発展性		3 次年度も継続			
本事業と関連のある他計画											
第3次富士見市教育振興基本計画											
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価					
事業名	ピースフェスティバル	1984年6月富士見市議会において「富士見市非核平和都市宣言が全会一致で決議された。これを受けて1987年に、富士見市として非核平和都市宣言を行った。この理念を多くの市民に広める目的で記念事業として、ピースフェスティバルの開催をはじめとした平和・憲法啓発事業を実施する。 数値目標：参加人数2,700人	日時：7月～8月 会場：鶴瀬公民館 内容：市民平和祈念のつどい、舞台発表、展示、模擬店、フリーマーケットなど 継続年数：10年以上 予算額：439,000円	(1) ピースフェスティバル2023 その1：7月29日（土）～7月30日（日） オープニング・市民平和祈念のつどい・特別講演・展示コーナー・ピースステージ・模擬店・ふれあい広場（鶴瀬公民館・コミセンにて） オープニング…つるせ台小学校合唱部、特別講演…「外交で戦争を回避せよ」講師：巖谷陽次郎氏（新外交イニシアティブ事務局長） 展示コーナー…実行委員による企画展示「手をつなごう 核兵器も戦争もない世界へ～ウクライナに心を寄せて～」、「広島の高中生と被爆者との共同制作による『原爆の絵』」34点、小学6年生によるピースカード、市民平和作品（俳句・短歌・写真・絵画・彫刻・放課後児童クラブの作品）約115点を展示 ピースステージ…ダンス、合唱、紙芝居など7団体による発表 ふれあい広場…紙芝居、折り紙であそぼう、戦争体験を聞く会、ピースワードさがし 参加者 600人 その2：8月15日（火）～20日（日） 市民平和作品展（市立中央図書館展示ホールにて） 文芸作品・絵画・写真・放課後児童クラブの作品など 出品者116人 来場者 270人 その3：8月4日（金）～31日（木） 小学6年生によるピースカード（市内公共施設7館に展示） 6年生の全児童に非核・平和都市宣言文を配付し、平和への思いを書いてもらった。 参加児童 946人 その4：8月15日（火） 平和の鐘を鳴らそう 参加者 23人 (2) 平和記念式典市民派遣事業（ヒロシマ平和学習会） 8月5日（土）～6日（日） 参加者 1人 (3) 平和学習会 講演会 「憲法は誰のもの？～憲法改正案を検証する～」 令和6年3月10日（日） 講師：伊藤真氏（弁護士、伊藤塾塾長） 参加者：80人 事業決算額：講師謝礼 80,000円*(1)(3) 事業協力者謝礼 23,252円*(1) 旅費 51,744円*(2)案内職員のみ公費 印刷製本費 27,885円*(1) 消耗品費 74,922円	ピースフェスティバルでは昨年度より取組みを増やしたが、町会イベントとの開催日重複や猛暑のため、来場者数は減った。企画から関わるピースフェスティバル実行委員を昨年度未より募集し、新たに1名の加入があった。オープニングの小学校合唱部の参加や戦争体験を聞く会には県外からの参加者など、常連以外の参加があったことは良かった。また、今回も実行委員による企画展示を実施し、学びを深めた。昨年に続き、来場者が意見を書き込むコーナーを設けたことで、一般市民の声を反映することができた。平和学習会では応募フォーム申込みを活用し、平日昼間以外の申込みをやすくした。課題：夏のイベントは涼しい時期への移行を検討する必要がある。また、高校生など若年層が参加できる内容を検討し、より幅広い層の市民が当事業に関心をもてるようにする。	個別事項評価	令和5年度の評価				
担当課	鶴瀬公民館					取組成果	A				
基本目標	施策の柱					3 十分な成果を挙げている					
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法		2 手法は概ね適切である			
						継続性・発展性		3 次年度も継続			
本事業と関連のある他計画											
第3次富士見市教育振興基本計画											

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価					
事業名	戦争体験を語る市民派遣事業	富士見市教育行政方針に基づいて取り組んでいる。学校と社会教育の連携事業の一環として、社会科などの授業の中で小学6年生が市民による戦争体験を聞き、命を尊ぶ平和学習の機会をつくる。 数値目標：話者派遣実施校4校	対象：市内小学校6年生 期間：9月～1月 会場：市内各小学校 協力：各公民館、鶴瀬西交流センター 内容：戦争体験を語る話者を各小学校に派遣する。授業1時間分を使って実施。その際、ビデオ撮影をし、2名程度の体験談をDVD記録化。 継続年数：10年以上 事業予算額：84,000円	対象：市内小学校6年生 協力：各公民館、鶴瀬西交流センター 実施校：2校 参加人数：185人 派遣話者：3人 話者のうち1名の体験談を撮影し、DVDとした。（ふじみビデオクラブ協力）	45分間という短い時間ではあるが、子どもたちは、話者の話を真剣に聞いていた。子どもたちが生命の尊さや平和について考える学習の機会とすることができた。また、今年度は実施校すべてにおいて、対面で開催できた。課題：戦後78年が経ち、戦争実体験をお話いただける方が減少しているため、話者の発掘や記録化が課題。DVDの活用を進めていく工夫なども必要である。また、近年実施する校数が減少しているため、担当教諭への周知方法の検討が必要である。	個別事項評価	令和5年度の評価				
担当課	鶴瀬公民館					取組成果	A				
基本目標	施策の柱					3 十分な成果を挙げている					
基本目標②	地域の人材を活かした学習機会の提供					実施手法		3 実施手法は適切で見直しの必要はない			
							継続性・発展性	3 次年度も継続			
本事業と関連のある他計画											
第3次富士見市教育振興基本計画											
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価					
事業名	ふじみ青年学級	知的障がい等をもつ15歳以上の市民を対象に、学習・音楽・文化・スポーツ活動を支援し日常生活をより豊かにしていくと共に、なかま同士の関わりと地域交流を深める。 数値目標：ボランティア10名	対象：知的障がい等をもつ15歳以上の市民 期間：5月～3月 会場：鶴瀬公民館ほか 参加費：無料 食材費等の負担は有り 継続年数：10年以上 事業予算額：284,000円	5月7日（日） 午前：開級式 午後：音楽クラブ 参加者19人 5月21日（日） 午前・午後：公民館まつり舞台発表及び喫茶 参加者18人 6月25日（日） 午前：調理実習 午後：野菜の収穫 参加者16人 7月23日（日） 午後・午後：バスハイキング（埜歩歩富士見山の会） 参加者25人 8月21日（日） 午前：ボウリング午後：カラオケ 参加者19人 9月17日（日） 午前：そうめん&天ぷら 午後：川越東高吹奏楽部による吹奏楽（全日程中止） 10月22日（日） 午前：調理実習（食生活改善推進員）午後：ポッチャ（スポーツ推進員） 参加者23人 11月26日（日） 午前：工作（スノードーム作り） 午後：音楽クラブ 参加者21人 12月24日（日） 午前：午後：クリスマス会 参加者20人 1月21日（日） 午前：ポッチャ（スポーツ推進員） 午後：音楽クラブ 参加者14人 2月18日（日） バレンタインコンサート（なかまの発表・ゲストの演奏） 参加者15人 3月17日（日） 電車でGO！（池袋サンシャイン水族館棟）都内への電車移動のため中止 ※9月及び3月は、コロナの影響により中止。（内訳：実施10回・中止が2回） 事業決算額：音楽指導謝礼20,000円（1人） ボランティアコーディネーター謝礼50,000円（1人） ボランティア謝礼10,000円（1人） ボランティア謝礼25,000円（5,000円×5人）	今年度は年間活動計画のうち12回中10回も開催できたこと、公民館利用団体や市民の方との連携により事業が実施できたことが大きな収穫であった。また、ボランティアの方との連携により青年学級通信を作成し活動記録を残すなどの成果に繋がった。 課題：知的障がい等を抱える仲間たちの居場所を提供するため、保護者、ボランティア、職員がスクラムを組んで青年学級を運営しているが、保護者の高齢化やコロナの影響により卒業する学級生が増え、今年度は13人となってしまった。学級生を募集し、適正人員20名程に戻すことが急務となっている。	個別事項評価	令和5年度の評価				
担当課	鶴瀬公民館					取組成果	B				
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている					
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法		2 手法は概ね適切である			
							継続性・発展性	3 次年度も継続			
本事業と関連のある他計画											
第3次富士見市教育振興基本計画											

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価					
事業名	鶴瀬学級	地域に住む60歳以上の方を対象に、学習機会を提供する。教養講座、趣味クラブを通じて時代に適応できる知識を高めるとともに、親睦を図ることを目的とする。 数値目標：	対象：鶴瀬公民館区に在住の60歳以上の方 日時：5月～3月 会場：鶴瀬公民館・鶴瀬コミュニティセンターホール 内容：教養講座（年6回）、趣味活動（年14回） 会費：年2,500円 募集人数：266人 継続年数：10年以上 事業予算額：50,000円	◆趣味クラブ（5～2月、各コース計14回） 月曜コース（カラオケ、軽体操、社交ダンス、民謡、ペン習字、毛筆） 木曜コース（コーラス、ウォーキング、新舞踊、詩吟、水墨画、料理） ◆全体会 5月11日 開級式 6月15日 教養講座「講演『消費生活の豆知識』」（講師：富士見市消費生活センター） 81人 7月20日 教養講座「ピアノ、エレクトーン、ふるーとアンサンブルコンサート」 （出演：音楽ボランティア シャボン玉） 74人 9月21日 教養講座「講演『旧石器時代から縄文時代へ』」（講師：（水子貝塚資料館学芸員・齊藤麻那氏） 67人 10月12日 社会見学（中止） 11月16日 教養講座「講演『高齢者のための防犯講座』」（東入間警察署員） 68人 12月21日 教養講座「演劇『バケット・リスト』」（出演：訪問演劇GIFT） 79人 1月18日 教養講座「ギター演奏会」（出演：ふじみギターフレンズ） 62人 2月14～15日 文化祭（作品展示、舞台発表） 3月14日 修了式 事業予算額：50,000円	社会見学は新型コロナウイルス感染防止の観点から中止となったが、ほか全ての趣味クラブ、文化祭を開催することが出来た。課題：コロナ等の感染症の影響と学級生の高齢化により学級生が減少した。教養講座は学級生のみならず友人や知り合いの方にも見ていただくなど、新規加入のきっかけを作り人数を増やしたい。	個別事項評価	令和5年度の評価				
担当課	鶴瀬公民館					取組成果	3 十分な成果を挙げている	A			
基本目標	施策の柱					実施手法	2 手法は概ね適切である				
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					継続性・発展性	3 次年度も継続				
基本目標③	生涯学習を通じたまちづくりの推進										
本事業と関連のある他計画											
第3次富士見市教育振興基本計画											
計画の位置付け						事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価	
事業名	富士見市地域・自治シンポジウム					自ら行動し、まちの風景を変えている方々をパネリストに招き、具体的な実践事例を学ぶことにより参加者一人一人の行動へと結びつける機会とする。 数値目標：参加人数100人	日時：1月～2月頃 内容：事例発表、グループワークなど 会場：鶴瀬コミュニティセンターなど 参加費：無料 継続年数：10年以上 事業予算額：90,000円	テーマ “対話”でつながるまち 日時 2月24日(日) 13時30分～15時45分 会場 鶴瀬コミュニティセンター（鶴瀬公民館）ホール 趣 旨 人は一人では生きられない。人とつながるためには対話が必要だが、人と話すことは簡単なようで難しい。そこで、“対話”を軸に活動している4人の発表から、対話のスキル等を学び、「暮らしやすいまち」について考えるきっかけとする。 【オープニング】ピアノとフルートの演奏（トゥッティ） 【実践例発表】 コーディネーター（進行・問題提起） 関崎純也氏（教育相談室室長兼指導主事） パネリスト① 上倉直人氏（市立勝瀬小学校 主幹教諭） 「1対30の現場から」 パネリスト② 瀬戸千江氏（傾聴ボランティア「やまぶき」代表） 「傾聴から見えてきたこと」 パネリスト③ 山下真実氏（対話カフェつむぎ代表） 「小さな声が聴こえる場づくり」 【特記事項】オンライン視聴あり、手話通訳あり 事業決算額：執行額（報償費） 講師謝礼 5,000円（1名、菓子折り）、事業協力者15,000円（5,000円×1団体、10,000円×1名） ※こ	参加者は少なめだったが、好評であった（アンケート結果等から）。普段はあまり考えることのない「対話の大切さ」「対話をするうえで気を付けておかなければならないこと」などについて、登壇者4人の発表から、多くの参加者が気づきを得たようだ。地域で地道な活動している方々を知ってもらう機会にもなった。課題：初回の担当者会議で本事業の企画案が決定するまでに時間がかかった。また、出演者や来賓あいさつ、発表者がそれぞれに少しずつ時間が延び、当初計画していたグルーブトークを省略することになってしまったのは、残念だった。また、オンライン配信は初の試みだったため、視聴者の質問・感想を受け付けるところまで対応ができなかった。	個別事項評価	令和5年度の評価
担当課	鶴瀬公民館	取組成果	2 一定の成果を挙げている	B							
基本目標	施策の柱	実施手法	2 手法は概ね適切である								
基本目標②	地域の人材を活かした学習機会の提供	継続性・発展性	3 次年度も継続								
本事業と関連のある他計画											
第3次富士見市教育振興基本計画											

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価						
事業名	鶴瀬公民館だより発行事業	市民による編集委員の視点で、地域の課題や話題を取り上げ、地域に目を向けるきっかけを提供する。また公民館活動の情報などを市民に提供する。読者が楽しめる特集を組む。 数値目標： 本事業と関連のある他計画 第3次富士見市教育振興基本計画	A3版両面印刷、鶴瀬公民館区内の世帯・関係機関に年10回配布（約19,500部）。 編集会議を月1回開催。 1面：わがまち点描、公民館施設利用案内等 2・3面：特集 4面：公民館事業案内、編集委員雑感 継続年数：10年以上 事業予算額：695,000円	A3版両面印刷、年10回発行、19,950部を公民館区の家帯と市内公共施設に配布。 編集会議：11回開催（4月23日・5月16日・5月30日・7月10日・8月31日・9月29日・10月30日・11月29日・1月25日・2月28日・3月27日） ◆1面：わがまち点描（*）、施設利用等 ◆2・3面：特集テーマ 4月号／第505号 「子どもたちを地域で支える 学校応援団」 5月号／第506号 「第42回つるせ公民館まつり」 6月号／第507号 「公民館の達人」 7・8月合併号／第508号 「ピースフェスティバルを知っていますか？」 9月号／第509号 「公民館にはほっとできる場所があります “高齢者サロン”に出かけてみませんか」 10月号／第510号 「でかけてみませんか？10月は4年ぶりのサークル公開です」 11月号／第511号 「祝・鶴瀬小学校開校150周年!!」 12月号／第512号 「わが家のエネルギー大作戦」 1・2月合併号／第513号 「つながる ひろがる “子ども食堂”」 3月号／第514号 「今の中学校の部活動ってどんな感じ？」 ◆4面：公民館事業案内、編集委員雑感（*） *…編集委員が輪番で執筆 事業決算額（報償費）：140,700円（4館分編集委員謝礼3,000円×37人、4館分取材協力ボ-	新型コロナが5類となり、公民館だよりの取材や集会を行えるようになってきた。編集委員が特集記事の企画・取材を行うことで、公民館事業に関する理解が進み、利用者同士のつながりを増やすことができた。また、時折、読者からの感想が窓口寄せられ、公民館だよりに対する地域の方々の関心の高さがうかがわれる。 課題：新たな編集委員を発掘し、居住地域や属性に多様性のある委員構成とした。また、引き続き、取材に基づく、地域に根差した「公民館だより」ならではの企画を続け、地域のつながりを醸成する一助となるようにしたい。	個別事項評価	令和5年度の評価					
担当課	鶴瀬公民館					取組成果	2 一定の成果を挙げている	B				
基本目標	施策の柱					実施手法	2 手法は概ね適切である					
基本目標①	学習環境の整備					継続性・発展性	3 次年度も継続					
計画の位置付け						事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	公民館運営審議会					公民館の管理・運営・事業推進などを審議する。また、公民館事業に積極的に参加することで、実際の取り組み状況を把握し、さらに活性化を図る。 数値目標： 本事業と関連のある他計画 第3次富士見市教育振興基本計画	対象：各公民館利用団体や各種地域団体から選出された16人の委員により、概ね年4回の審議会及び鶴瀬地区の審議会を概ね年4回開催。 継続年数：10年以上 事業予算額：384,000円	第1回：7月27日(水)午前10時30分～正午 内容①協議テーマ『公民館のデジタル化』について 第2回：11月15日(水)午前10時～午前11時30分 内容①協議テーマ『公民館のデジタル化』について(これまでの議論を受けて) 事業決算額:24,000円 参加人数：4人	全体協議テーマである『公民館のデジタル化』に関して、鶴瀬公民館における事業展開を中心に議論した。その中で、①『大学等の連携によるスマホ相談』、②『ホールを活用した音楽事業等の配信』の具現化を目指した。①大学等の連携によるスマホ相談については、淑徳大学との連携が結果的に実現できず別な手法を改めて検討することになった。②『ホールを活用した音楽事業等の配信』については、今後の展開に向けた試行の機会として、地域自治シンポジウム（別掲）をオンライン（Zoom）配信した。 課題：今回、具現化を目指している、2つの取組は、デジタルディバイド対策や鶴瀬公民館の施設特性（ホール）を生かした取組みとして有効な手段であるため、継続的な議論、取組が必要である。	個別事項評価	令和5年度の評価	
担当課	鶴瀬公民館									取組成果	2 一定の成果を挙げている	A
基本目標	施策の柱									実施手法	3 実施手法は適切で見直しの必要はない	
基本目標①	市民との協働による事業の充実	継続性・発展性	3 次年度も継続									
基本目標①	推進体制の充実											
基本目標②	新たな人材の発掘											
基本目標③	市民間交流の促進											

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価					
事業名	鶴瀬公民館利用者懇談会	鶴瀬公民館を利用している団体・サークルの任意加入連携組織として「鶴瀬公民館利用者懇談会」がある。その地域づくりを意識した自主的・自立的活動を支援する。 数値目標：	年度初めの役員会から始まり、各種会議や自主事業・事業協力等、様々な支援を行う。 継続年数：10年以上 事業予算額：0円	懇談会としては開催せず。（日常での窓口や関連機会：消防訓練・大掃除等での意見聴取。）	懇談会以外にも消防訓練・大掃除等で利用者が集まる機会があること、利用に関する重要案件がなかったこと及びコロナ禍等の影響で必要以上に集まりを持つことが困難な状況であることを踏まえ、今年度は開催を見送った。	個別事項評価	令和5年度の評価				
担当課	鶴瀬公民館					取組成果	B				
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている					
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法		2 手法は概ね適切である			
基本目標①	市民との協働による事業の充実					継続性・発展性		3 次年度も継続			
基本目標②	新たな人材の発掘										
基本目標③	市民間交流の促進										
本事業と関連のある他計画											
第3次富士見市教育振興基本計画											
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価					
事業名	公民館施設維持管理事業	安心・安全な施設管理を目的とし、利用者目線での施設維持管理を図る。 数値目標：構造部の評価基準：B評価（75点）を維持する。	①施設維持管理に関する各種業務委託を実施。 継続年数：10年以上 事業予算額：64,739千円	委託業務内容： 清掃業務・警備業務・施設管理業務・建築設備定期検査・エレベーター保守点検・消防設備保守点検・自動ドア保守点検・舞台機構操作・舞台吊物設備保守管理・音響設備保守・空調設備保守点検・照明設備保守・防火対象物定期点検・樹木維持管理業務 修繕等対応内容： 【修繕】 ・ホールピクチャーレール（ロビー部） ・ホール排煙窓（ロビー部） ・ホール舞台照明スイッチ ・ホール無停電装置用バッテリー交換（照明装置） ・ホール入口建具 ・各所トイレ修繕（4カ所） 【備品】 ・体育室卓球台（1台：故障による交換） 【消耗品】 ・子育て事業用マット（経年劣化による交換）	緊急対応的な修繕や備品の経年劣化による不具合が年間を通じてあることから優先順位を付け修繕を実施している。施設が建設後40年を超えているため、公共施設個別施設計画に沿って耐久性を高める予防保全を図る。	個別事項評価	令和5年度の評価				
担当課	鶴瀬公民館					取組成果	A				
基本目標	施策の柱					3 十分な成果を挙げている					
基本目標①	学習環境の整備					実施手法		3 実施手法は適切で見直しの必要はない			
						継続性・発展性		3 次年度も継続			
本事業と関連のある他計画											
第3次富士見市教育振興基本計画											
富士見市公共施設等総合管理方針											
富士見市公共施設個別施設計画											
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価					
事業名	家庭教育支援事業	同世代の子を持つ保護者が互いに学びあい、交流の輪を広げる機会とする。 数値目標：参加者の満足度80%（アンケートによる）	「はじめてのパークゴルフ体験」 対象：小学生と保護者 日時：5月21日（日） 午前8時30分～10時 講師：柳川武史氏、新井博海氏（富士見市スポーツ推進員）、びん沼自然公園スタッフ山崎さん 内容：小学生と保護者がコミュニケーションを深めるための、パークゴルフ体験とモルック体験。 募集人数：20人 継続年数：5～9年 事業予算額：10,000円（講師謝礼）	参加人数：6家族19人 講師謝礼：0円	・地域にあるリニューアルオープンした施設の紹介と共に、親子のスポーツコミュニケーションの場となった。 ・パークゴルフもモルックも個人競技ではあるが、ルールの確認や進め方など、参加者同士がコミュニケーションを取れる場にもなった。	個別事項評価	令和5年度の評価				
担当課	南畑公民館					取組成果	A				
基本目標	施策の柱					3 十分な成果を挙げている					
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法		3 実施手法は適切で見直しの必要はない			
基本目標③	市民間交流の促進					継続性・発展性		3 次年度も継続			
本事業と関連のある他計画											
第3次富士見市教育振興基本計画											

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価	
事業名	なんばた学級（高齢者学級）	高齢社会を迎える中で、自ら生きがいを見つけ、活力を得るための一助を目的とする。 数値目標：登録者80人	地域の60歳以上を対象として、運営委員会（各老人会等の正副会長）で年間計画を立て、月1回全体学級を開催し、クラブ活動（8クラブ）にも取り組む。 対象：60歳以上 日時：－ 会場：南畑公民館 募集人数：－ 継続年数：10年以上 事業予算額：200,000円（講師謝礼等）	<全体学級> 開催回数：年10回 参加者合計：441人 会場：南畑公民館 <クラブ活動> クラブ数：8 開催回数合計：97回 参加者合計：721人 会場：南畑公民館 ・なんばた学級だより3回発行 ○事業決算額170,000円（講師謝礼）	高齢による運転免許自主返納などの理由から参加者数が減少したり、ライフスタイルの多様性などから60歳代、70歳代の参加が少ない傾向にある。登録者人数は令和4年度より減少したが全体学級への参加は毎回7割前後あり、定着している。アンケート結果から講座等の時間や内容について、学級生は概ね満足している。今後も参加者のニーズを踏まえたテーマを設定し参加率の向上を目指す。	個別事項評価	令和5年度の評価
担当課	南畑公民館					取組成果	B
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている	
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法	
基本目標③	生涯学習を通じたまちづくりの推進					2 手法は概ね適切である	
						継続性・発展性	
本事業と関連のある他計画							
第3次富士見市教育振興基本計画							
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価	
事業名	わくわく子ども体験室	子どもたちの休日を有意義なものにするきっかけを提供するものとし、自分で考え学ぶ心を育てる。 数値目標：2講座開催	①7/26（水）『スパットとクルッとエコバッグ』13時30分～15時30分 講師：小山由佳氏 参加費：300円 内容：スパットとたためてクルッと小さくなる、手縫（てぬい）のバックを作ります。500mlのペットボトルが2本入る大きさ。 ②7/28（金）『エコな真夏のスノードーム』 ○10時～11時30分 講師：佐伯さゆり氏 ○13時30分～15時 講師：小嶋由香利氏 参加費：100円 内容：ピンを振るとキラキラしたラメが舞う、自分だけの小さな世界を作ろう。 継続年数：10年以上 事業予算額：200,000円（講師謝礼等）	①7/26（水）『スパットとクルッとエコバッグ』 参加10人 ②7/28（金）『エコな真夏のスノードーム』 ○10時～11時30分 参加19人 ○13時30分～15時 参加21人 講師謝礼：15,000円	身近な地域の方が講師となり、地域での交流の機会にもなった。SDGSを意識した事業内容にしたことに関心を持つきっかけづくりにつながった。今後も長期休暇に合わせて様々な体験の場を提供していく。 また、性別や年齢の偏りがないように体験内容の設定の工夫が必要である。	個別事項評価	令和5年度の評価
担当課	南畑公民館					取組成果	A
基本目標	施策の柱					3 十分な成果を挙げている	
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法	
基本目標③	市民間交流の促進					3 実施手法は適切で見直しの必要はない	
						継続性・発展性	
本事業と関連のある他計画							
第3次富士見市教育振興基本計画							
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価	
事業名	子ども事業企画「怪皆亭」	年数回の公民館でのイベントを、メンバー（南畑小4～6年生の参加希望児童）が話し合いながら実施していく。様々な地域事業に参加することによって、異年齢間の交流や地域の人とのつながりを大切に、またスタッフの子どもたちの自主性を伸ばす。 数値目標：5イベント開催	①「南畑あそび隊」夏まつりへの参加 ②南畑地域を巡る「ナイトウォーク」開催 ③「なんばた青空市場」への参加 ④「アボなしサンタ」開催 ⑤「お楽しみ会」開催 継続年数：10年以上 事業予算額：16,000円	年間イベント回数：8回 会議等：6回 参加人数：メンバー29人 対象：南畑小4～6年生参加希望 事業決算額：12,500円	子どもたちの自由な発想や自主的な発言を尊重し、イベントでも子供たちが積極的な活動ができた。また、「怪皆亭の〇〇」と名前が入ることにより、イベント当日も自分たちで流れを確認し合い運営していくなど、責任感のある活動ができた。	個別事項評価	令和5年度の評価
担当課	南畑公民館					取組成果	A
基本目標	施策の柱					3 十分な成果を挙げている	
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法	
基本目標③	市民間交流の促進					3 実施手法は適切で見直しの必要はない	
						継続性・発展性	
本事業と関連のある他計画							
第3次富士見市教育振興基本計画							

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	南畑地区体育祭支援	南畑地区の一大イベントであり、地域をあげての取組みである南畑地区体育祭を、地域の活性化と地域コミュニティ構築の場として支援する。 数値目標：	夏前の調整会議に始まり、実行委員会の会議等、当日も含め様々な支援を行う。 日時 10月8日（日） 会場 南畑小学校 継続年数：10年以上 事業予算額： ー 円	6/14（水）調整会議 7/13（木）第1回実行委員会 8/22（火）事務局&チーフ会議 9/7（木）第2回実行委員会 10/4（水）踊り練習会 10/7（土）前日準備 10/25（水）会計報告及び監査 11/9（木）第3回実行委員会	4年ぶりの開催だったが、滞り無く実施出来、地域活性化と地域コミュニティ構築の場となった。次年度も、地域の一大イベントである体育祭を後方支援していく。	個別事項評価	令和5年度の評価	
担当課	南畑公民館					取組成果	A	
基本目標	施策の柱					3 十分な成果を挙げている		
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法		2 手法は概ね適切である
基本目標②	新たな人材の発掘					継続性・発展性		3 次年度も継続
基本目標③	市民間交流の促進							
基本目標③	市民との協働による事業の充実							
本事業と関連のある他計画								
第3次富士見市教育振興基本計画								
計画の位置付け						事業目標	事業概要	事業実施結果
事業名	南畑ふるさとまつり支援	公民館利用団体、サークル・地域団体等の活動成果発表の場、地域住民相互の親睦と交流の場として南畑公民館利用者の会が主催する「南畑ふるさとまつり」を支援する。 数値目標：来場者数1,000人	1月の第1回全体会に始まり、各部会会議等、3月の当日も含め、様々な支援を行う。 継続年数：10年以上 事業予算額： ー 円	参加人数 約1,100人 会議 全体会（3回実施） 役員会（2回実施） 各部会（1回以上実施）	公民館利用者の活動発表の場として、また地域の祭りとして、利用者の会が主催となり地域団体も参加協力しながら実施し、地域で必要な催しとなっている。今後も利用者の会を援助し継続をしていく。	個別事項評価	令和5年度の評価	
担当課	南畑公民館					取組成果	A	
基本目標	施策の柱					3 十分な成果を挙げている		
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法		2 手法は概ね適切である
基本目標②	新たな人材の発掘					継続性・発展性		3 次年度も継続
基本目標③	市民間交流の促進							
基本目標③	市民との協働による事業の充実							
本事業と関連のある他計画								
第3次富士見市教育振興基本計画								
計画の位置付け						事業目標	事業概要	事業実施結果
事業名	南畑公民館利用者の会活動支援	南畑公民館を利用している団体・サークルの任意加入連携組織として「南畑公民館利用者の会」がある。その地域づくりを意識した自主的・自立的活動を支援する。 数値目標：	年度初めの役員会から始まり、各種会議や自主事業・事業協力等、様々な支援を行う。 継続年数：10年以上 事業予算額： ー 円	実施期間：4月～3月 役員会、理事会、総会、グラウンドゴルフ大会協力、ソフトボール大会協力、公民館大掃除、新春交流会、文化公演会『落語を楽しむ』共催、南畑ふるさとまつり協力 ・公民館事業への協力（子ども事業）	公民館利用団体や地域団体のつながり・交流を促す意味で重要な会である。高齢化が進み、後継者の発掘・育成が課題となっている。サークル間の交流や各団体活動の活性化、利用者相互の結びつきを強める支援が必要である。	個別事項評価	令和5年度の評価	
担当課	南畑公民館					取組成果	B	
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている		
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法		2 手法は概ね適切である
基本目標②	新たな人材の発掘					継続性・発展性		3 次年度も継続
基本目標③	市民間交流の促進							
基本目標③	市民との協働による事業の充実							
本事業と関連のある他計画								
第3次富士見市教育振興基本計画								

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価				
事業名	南畑お月見一座支援	地元南畑の人たちで構成されている劇団「南畑お月見一座」が、地域的话题を盛り込んだ新作を毎年創り続けている。また防犯を目的とした寸劇を市内外で行っていることから、これからの地域づくりへの関心や意欲・防犯意識を高めあう団体として支援していく。 数値目標：	長編公演として、毎年2月に南畑ふれあい劇場として新作劇披露の場として支援している。また寸劇公演を2市1町のエリアを中心に高齢者サロン等での披露等、様々な支援を行う。 継続年数：10年以上	(1)長編公演 ●南畑ふれあい劇場 第26作『未完のラブレター』 令和6年2月10日(土)14時開演 (2)寸劇公演 6/11 水谷東茶話会 -おしるこ役所 7/20 竹間沢公民館高齢者学級 -簡単！特殊詐欺講座(?) 8/27 市民演劇のつどい -おしるこ役所 11/12 水谷東茶話会 -ももたろう 2/2 藤久保公民館高齢者学級 -簡単！特殊詐欺講座(?)	・長編公演：ホームページやポスターの他、Facwbook、LINEでPRができた ・劇団サポートスタッフ（当日の受付等）の確保ができた ・細かな声掛けにより、寸劇チームの1人増員	個別事項評価	令和5年度の評価			
担当課	南畑公民館					取組成果	3 十分な成果を挙げている	A		
基本目標	施策の柱					実施手法	3 実施手法は適切で見直しの必要はない			
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					継続性・発展性	3 次年度も継続			
基本目標②	新たな人材の発掘									
基本目標③	市民間交流の促進									
基本目標③	市民との協働による事業の充実									
本事業と関連のある他計画										
第3次富士見市教育振興基本計画										
計画の位置付け						事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価
事業名	地域子ども教室「南畑あそび隊」支援	南畑地域の子ども事業の中心であり、学年が違う子どもたち同士や子どもと地域住民をつなぐ「南畑あそび隊」。学校と地域をより深くつなぐ重要な事業であると位置づけ、積極的に支援する。 数値目標：南畑あそび隊『夏まつり』参加人数200人	南畑小学校の授業がある月曜日の放課後に自由遊びを実施している「南畑あそび隊」を支援する。また7月の日曜日に開催される「あそび隊夏まつり」にも協力している。 継続年数：10年以上	あそび隊夏まつり 開催日：7月30日（日） 会場：南畑公民館 参加数：約250人	・内容が盛りだくさんで子どもたちも十分満足できる内容となった。 ・テーマを設けたことにより、会場全体で一体感があつた。	個別事項評価	令和5年度の評価			
担当課	南畑公民館					取組成果	2 一定の成果を挙げている	B		
基本目標	施策の柱					実施手法	2 手法は概ね適切である			
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					継続性・発展性	3 次年度も継続			
基本目標②	新たな人材の発掘									
基本目標③	市民間交流の促進									
基本目標③	市民との協働による事業の充実									
本事業と関連のある他計画										
第3次富士見市教育振興基本計画										
計画の位置付け						事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価
事業名	文化公演会	身近な施設で日本の伝統芸能文化に触れる。 数値目標：1回開催	日時：令和6年2月17日（土） 午後1時30分～2時40分 会場：南畑公民館 募集人数：100人 内容：落語を楽しむ【桂南なん(落語)、新山真理(漫談)】 入場料：無料 主催：南畑公民館利用者の会・南畑公民館 継続年数：5～10年 事業予算額：10,000円	参加人数：96人 事業決算額：10,000円	来場者が毎年楽しみにしていることが分かった。身近な施設で日本の伝統文化や大衆文化に触れることができる機会である。	個別事項評価	令和5年度の評価			
担当課	南畑公民館					取組成果	3 十分な成果を挙げている	A		
基本目標	施策の柱					実施手法	3 実施手法は適切で見直しの必要はない			
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					継続性・発展性	3 次年度も継続			
基本目標②	新たな人材の発掘									
基本目標③	市民間交流の促進									
基本目標③	市民との協働による事業の充実									
本事業と関連のある他計画										
第3次富士見市教育振興基本計画										

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価					
事業名	南畑まちづくり協議会支援	住民が主人公となって、南畑地域全体のまちづくり活動を行う「南畑地域まちづくり協議会」への支援を行うことを通し、地域住民相互の交流と地域の活性化を図る。 数値目標： 継続年数：10年以上 事業予算額： ー 円	①「子育てサロンちびっこあおむし」でクリスマス会を共催で実施。 ②1月のもちつき交流会を支援する。 ③「南畑まちcafé」の開催を支援する。 ④農バルプロジェクトとタイアップした「まち協ニュースレター」の発行を支援する。等、様々な支援を行う。	南畑まちづくり協議会の各種事業において会場の提供や取材・PR等で支援した。	南畑地域まちづくり協議会の事業として南畑公民館を会場にもちつき交流会やまちcafé等の住民相互の交流事業を実施していることからこれからも継続して援助していく。	個別事項評価	令和5年度の評価				
担当課	南畑公民館					取組成果	2 一定の成果を挙げている 3 実施手法は適切で見直しの必要はない 継続性・発展性 3 次年度も継続				
基本目標	施策の柱					実施手法					
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法					
基本目標②	新たな人材の発掘					継続性・発展性					
基本目標③	市民間交流の促進					継続性・発展性					
基本目標③	市民との協働による事業の充実					継続性・発展性	3 次年度も継続				
本事業と関連のある他計画											
第3次富士見市教育振興基本計画											
計画の位置付け						事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価	
事業名	南畑ふれあい劇場	地元素人劇団「南畑お月見一座」の新作劇初演の場として、その時代背景や地域課題を反映した劇を通して、楽しみながらも地域問題や課題を考える場とする。また身近な施設で気軽に演劇を鑑賞できる機会の充実を図る。 数値目標：1回開催	日時：令和6年2月10日（土） 会場：南畑公民館 入場料：無料 内容：お月見一座新作劇 継続年数：10年以上 事業予算額：10,000円	第26作『未完のラブレター』 実施日：2月10日 1回公演 参加者：159人 入場料：無料 事業決算額：10,000円	アンケートでは、面白かった・次回も楽しみにしているとなど好評だった。時代背景や地域課題を反映した劇を通して、楽しみながらも地域の問題、課題を考える場とする目的として開催している事業である。	個別事項評価	令和5年度の評価				
担当課	南畑公民館					取組成果	3 十分な成果を挙げている 実施手法 3 実施手法は適切で見直しの必要はない 継続性・発展性 3 次年度も継続				
基本目標	施策の柱					実施手法					
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法					
基本目標②	新たな人材の発掘					継続性・発展性					
基本目標③	市民間交流の促進					継続性・発展性					
基本目標③	市民との協働による事業の充実					継続性・発展性	3 次年度も継続				
本事業と関連のある他計画											
第3次富士見市教育振興基本計画											
計画の位置付け						事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価	
事業名	南畑公民館だより発行事業	地域住民で構成された編集委員会の視点で地域の話や課題を取り上げ、地域情報や交流の場の広報紙として公民館情報と共に発信する。 数値目標：10回発行	月1回（2・8月除く）発行。A4判8ページ立て。館区内世帯・関係機関へ配布。 月1回の編集会議では、特集等の紙面構成を検討。その他適宜取材を実施。 継続年数：10年以上 事業予算額： ー 円	発行回数：年10回（8.2月除く） 発行部数：1,800部 編集会議：月1回	地域の方々と構成される編集会議の視点により、地域の話や人物を取り上げることで、誰もが親しみを持てる内容、かつ地域交流の場となっている。 次年度も引き続き地域に愛される紙面作りを編集委員と協働で実施する。	個別事項評価	令和5年度の評価				
担当課	南畑公民館					取組成果	2 一定の成果を挙げている 実施手法 2 手法は概ね適切である 継続性・発展性 3 次年度も継続				
基本目標	施策の柱					実施手法					
基本目標①	学習環境の整備					実施手法					
						継続性・発展性					
						継続性・発展性					
本事業と関連のある他計画											
第3次富士見市教育振興基本計画											

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	南畑ぎやらりい	公民館の利用団体やサークル会員が、公民館施設を利用して制作した作品を展示することにより、サークルの活動内容等を公開し、交流の輪を広げる機会とする。 数値目標：展示団体数10団体(個人含む)	公民館ロビーにコーナー設置した展示スペースで、最長概ね1か月を目途に、各種団体の作品等を展示する。 継続年数：10年以上	展示回数：15回	活動サークル団体だけではなく、地域の方などの作品も展示をすることができた。今後も声掛けをしていく。	個別事項評価	令和5年度の評価	
担当課	南畑公民館					取組成果	A	
基本目標	施策の柱					3 十分な成果を挙げている		
基本目標①	学習環境の整備					実施手法		2 手法は概ね適切である
基本目標②	新たな人材の発掘					継続性・発展性		3 次年度も継続
基本目標③	学習成果の発表機会の充実							
基本目標③	市民間交流の促進							
本事業と関連のある他計画								
第3次富士見市教育振興基本計画								
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	公民館運営審議会南畑地区会議	南畑公民館の管理・運営・事業推進などを審議する。また、公民館事業に積極的に参加することで、実際の取り組み状況を把握し、さらに活性化を図る。 数値目標：	公民館利用団体や各種地域団体から選出された4人の委員により、概ね年3回の審議会を開催。 継続年数：10年以上 事業予算額： 一 円	実施日 第1回会議 6月22日(木)、第2回会議 10月19日(木)、第3回会議 2月15日(木)	地域において様々な分野で活躍している運営審議会委員の意見は、公民館事業を進めていく上で大変重要である。地域が抱える課題について整理し、公民館の活性化に向けた取り組みについて今後も協議することが求められる。	個別事項評価	令和5年度の評価	
担当課	南畑公民館					取組成果	B	
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている		
基本目標①	市民との協働による事業の充実					実施手法		2 手法は概ね適切である
基本目標①	推進体制の充実					継続性・発展性		3 次年度も継続
基本目標②	新たな人材の発掘							
基本目標③	市民間交流の促進							
本事業と関連のある他計画								
第3次富士見市教育振興基本計画								
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	なんばた青空市場	生産者と消費者が直接交流する場を設けることによって、生産者の顔が見える地元生産物をPRし、コミュニケーションを図る。 数値目標：来場者数3,000人	市民による実行委員会で運営している。 日時：11月3日（金・祝）午前10時～午後2時 会場：第2運動公園と周辺の田んぼ 内容：地元生産物（農産物）の販売、各種模擬店・フリーマーケット、農耕機試乗体験、焼き芋販売、かかしコンテスト、さんだら飛ばし・かぼちゃの重さ当てコンテスト、米のつかみ取り、100円おにぎり、大声コンテスト 講師：一 参加費：無料 募集人数：一 継続年数：10年以上（なんばた青空市場） 事業決算額：17,5000円（トイレリース料含む）	来場者：3200人 事業決算額：87,000円（トイレリースなし）	・会場が変更となったことで来場者の減少を心配していたが、天候にも恵まれ、多くの来場者で賑わった ・長時間滞在していただける内容になった ・放送設備（他公共施設より借用）の改善により場内案内や開会式等が充実された。	個別事項評価	令和5年度の評価	
担当課	南畑公民館					取組成果	A	
基本目標	施策の柱					3 十分な成果を挙げている		
基本目標③	市民間交流の促進					実施手法		3 実施手法は適切で見直しの必要はない
						継続性・発展性		3 次年度も継続
本事業と関連のある他計画								
第3次富士見市教育振興基本計画								

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価	
事業名	子育てサロン「ちびっこあおむし」	少子化や孤立感を持つ親が増えている状況の中で、親と子が楽しい時間を過ごす場を提供し、子ども同士が仲良く遊び、親同士が子育ての悩みなどを話し合える仲間づくりの機会とし、地域で子育てができる環境づくりを目指す。 数値目標：延べ参加人数300人	毎月1回（年間12回）開催。 ボランティアスタッフによる無料の子育てサロン。対象は未就園児とその親で、子どもを持つ親同士の交流の場として、また親と子が一緒に遊べる場としている。季節や月齢に応じた催しや、手遊び・絵本の読み語りなどを行っている。年1～2回、子育ての講演を聞いたり、プロの芸術活動を鑑賞したりするなど、スタッフだけではできない分野も取り入れて、親の気分転換や子どもの豊かな感情を育成する工夫をしている。 対象：未就園児とその親 日時：毎月1回（木曜日） 会場：主に南畑公民館 講師：－ 参加費：－ 募集人数：－ 継続年数：10年以上 事業予算額：99,000円	開催数：12回（月1回） 参加人数：延べ145組323人 会場：南畑公民館 事業決算額：79,000円	アンケートでは、「毎月1回のお楽しみデー。今後も続けてもらいたい。もっと早く参加すればよかった。家ではできない体験やお友達ともふれあいができてとても楽しかった。集中してものづくりする時間があってうれしかった。大人とおしゃべりできて、ストレスが解消できた。」など、好評だった。地域への転入者が増加傾向にあるため、事業の周知が課題である。	個別事項評価	令和5年度の評価
担当課	南畑公民館						
基本目標	施策の柱						
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実						
基本目標③	市民間交流の促進						
本事業と関連のある他計画						取組成果	A
第3次富士見市教育振興基本計画						3 十分な成果を挙げている	
						実施手法	
						3 実施手法は適切で見直しの必要はない	
						継続性・発展性	
						3 次年度も継続	
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価	
事業名	利用者懇談会	定期利用団体の声を反映した公民館運営及び利用者同士の交流や施設の整備に反映させる場とするため開催する。参加者の意見を聞き、公民館事業や施設の整備に反映させる。 数値目標：参加人数20人	令和5年6月（予定） 消防訓練・公民館利用等についての意見交換 継続年数：10年以上 事業予算額：－円	令和5年5月26日（金）9人参加 令和5年12月9日（土）78人参加	公民館事業を運営するうえで、利用者の意見・要望を聞く貴重な機会となっている。利用者同士の交流を図る機会ともなっており、今後も継続する。	個別事項評価	令和5年度の評価
担当課	南畑公民館						
基本目標	施策の柱						
基本目標①	市民との協働による事業の充実						
基本目標③	市民間交流の促進						
本事業と関連のある他計画						取組成果	B
第3次富士見市教育振興基本計画						2 一定の成果を挙げている	
						実施手法	
						2 手法は概ね適切である	
						継続性・発展性	
						3 次年度も継続	
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価	
事業名	農バルプロジェクト支援	南畑地域内の農・商・工業等事業者のネットワーク化を図り、それに関わるイベントを企画し、地域内の活気と賑わいを生み出すプロジェクトを支援する。 数値目標：	①南畑まち協とタイアップし、地域の飲食店等の事業者をニュースレターとして紹介する（隔月発行）。 ②地域内の飲食店等事業者との連携による事業の参加による事業「（仮称）なんばたスタンプラリー」を開催を実施する。 以上の事業を主催する農バルプロジェクト事業企画委員会を公民館として物心両面で支援する。 （新型コロナウイルス感染拡大により②は中止） 継続年数：4年 事業予算額：－円	①企画、取材協力し年間3号の発行 ②過去のニュースレターをポスター化し「なんばた青空市場」で展示コーナーを設置し二次元コードにより詳細情報を提供するなど地域内の事業所ネットワークの一助とした。	団体では南畑地域内の農・商・工業等事業者のネットワーク化を図るためのイベントを模索している、今後も地域住民の交流や地域の活気や賑わいの為に支援を続けていく。	個別事項評価	令和5年度の評価
担当課	南畑公民館						
基本目標	施策の柱						
基本目標②	地域資源を活かした生涯学習の提供						
基本目標③	市民間交流の促進						
本事業と関連のある他計画						取組成果	B
第3次富士見市教育振興基本計画						2 一定の成果を挙げている	
						実施手法	
						2 手法は概ね適切である	
						継続性・発展性	
						3 次年度も継続	

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価	
事業名	動画配信（Webの活用）	社会状況（新型コロナ）を踏まえた生涯学習の在り方を、施設に来館しなくとも可能な生涯学習としての一の方策を実施する。 数値目標：2番組	「おうちで楽しむ公民館」と題して計11番組を配信した実績に基づき、動画配信に適する内容を精選し制作する。 継続年数：3年	配信動画数：1コンテンツ 高齢者学級『なんばた青空市場』紹介動画	公民館で行っている活動を、来たことが無い方にも知ってもらえるツールとなった。	個別事項評価	令和5年度の評価
担当課	南畑公民館						
基本目標	施策の柱						
基本目標①	学習環境の整備						
本事業と関連のある他計画							
第3次富士見市教育振興基本計画						2 一定の成果を挙げている	
						実施手法	
						2 手法は概ね適切である	
						継続性・発展性	
						3 次年度も継続	
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価	
事業名	施設維持管理事業	安心・安全な施設管理を目的とし、利用者目線での施設維持管理を図る。 数値目標：	①施設維持管理に関する各種業務委託を実施。 ②必要な修繕を実施 継続年数：10年以上 事業予算額：2,303,000円	①各種業務委託実施 ②各種修繕実施（エアコン修繕、トイレ排水詰まり修繕、排煙窓ダンパー交換修繕等）	修繕及び維持管理に係る委託業務については、予定通り完了した。利用者が安全・安心に公民館を利用できるよう施設・設備の経年劣化への計画的な対応が求められる。	個別事項評価	令和5年度の評価
担当課	南畑公民館						
基本目標	施策の柱						
基本目標①	学習環境の整備						
本事業と関連のある他計画							
第3次富士見市教育振興基本計画						2 一定の成果を挙げている	
富士見市公共施設等総合管理方針						実施手法	
富士見市公共施設個別施設計画						2 手法は概ね適切である	
						継続性・発展性	
						3 次年度も継続	
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価	
事業名	親の学習講座（子育て学習支援事業お母さんのステップアップ講座）	子育てなどに役立つ学習や体験、仲間づくりの場を提供することを目的とする。 数値目標： 参加者の満足度70% (アンケートによる)	・お母さんのステップアップ講座 対象：未就園児の親 開催日時：6～3月 会場：水谷公民館 参加費：材料費など実費 募集人数：12名程度 継続年数：10年以上 予算額：164,727円	実施回数：年7回実施 会場：水谷公民館講座室など 参加者数(のべ)：55人 内容：調理、ヨガ、手芸など 事業決算額：104,656円（講師謝礼及び保育スタッフ協力者謝礼）	本講座は、子育てのリフレッシュや参加者同士の交流深める機会として有効である。アンケートによる満足度も高く、リピーターも多い。新たな参加者を獲得するため、より満足度の高い講座の企画を図る。	個別事項評価	令和5年度の評価
担当課	水谷公民館						
基本目標	施策の柱						
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実						
本事業と関連のある他計画							
第3次富士見市教育振興基本計画						3 十分な成果を挙げている	
富士見市健康増進計画・食育推進計画、富士見市歯科口腔保健推進計画後期計画						実施手法	
						3 実施手法は適切で見直しの必要はない	
						継続性・発展性	
						3 次年度も継続	

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価	
事業名	教育講演会	登校拒否・不登校、ひきこもりについての学習を通して、親や地域がどのような役割を果たすかなどを学ぶ機会を提供することを目的とする。 数値目標： 参加者の満足度70% （アンケートによる）	不登校や引きこもり等の子育てをする親の不安や孤立感に悩む市民の学びの機会を提供する講演会を開催する。対象：市民一般 開催日時：3月 会場：水谷公民館 参加費：なし 募集人数：70名程度 継続年数：10年以上 予算額：60,000円（うち人間尊重啓発講座として、生涯学習課予算から20,000円）（親の学習講座と兼ねる）	日時：令和6年3月16日(土)午後1時30分～3時30分 会場：水谷公民館多目的ホール 講師：（一社）ひきこもりUX会議代表理事 林 恭子氏 参加者数：70人 事業決算額：40,000円（講師謝礼。40,000円の内、人権尊重啓発講座として生涯学習課20,000円支出）	不登校や引きこもりは、当事者に限らず多くの世代が共に考えなければならない問題である。地域の課題としてどう取り組んでいくかを考慮に入れながら、関係団体などと連携し、今後も継続して実施する。	個別事項評価	令和5年度の評価
担当課	水谷公民館						
基本目標	施策の柱						
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実						
本事業と関連のある他計画						取組成果	A
第3次富士見市教育振興基本計画						3 十分な成果を挙げている	
						実施手法	
						3 実施手法は適切で見直しの必要はない	
						継続性・発展性	
						3 次年度も継続	
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価	
事業名	健康づくり事業	地域住民が身体を動かしながら親睦を深めることとともに、成人病予防・介護予防につながる健康な心身づくりの一助とする。 数値目標： 参加者の満足度70% （アンケートによる）	市民の健康づくりの一助となるよう、身体を動かすイベントを開催する。 対象：市民一般 開催日時：9月～10月 会場：未定 参加費：なし 募集人数：20名程度 継続年数：5～9年 予算額：50,000円	「水谷さんぽ」 日時：7月29日（土）午前9時～11時 天候により中止 「ポッチャ体験」 日時：8月9日（水）午前9時30分～14時30分 参加者数：67人 事業決算額：なし	令和5年度は小学生親子を対象におこなった。来年度以降も地域住民が気軽に参加できる内容で実施を検討する。	個別事項評価	令和5年度の評価
担当課	水谷公民館						
基本目標	施策の柱						
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実						
本事業と関連のある他計画						取組成果	B
第3次富士見市教育振興基本計画						2 一定の成果を挙げている	
						実施手法	
						2 手法は概ね適切である	
						継続性・発展性	
						3 次年度も継続	
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価	
事業名	子育て学習支援事業子育てサロン親子フレンドパーク	親が集まり、自由に子どもを遊ばせながら仲間づくりや情報交換ができる居場所づくりを目的とする。 数値目標： 参加者の満足度70% （アンケート結果による）	親が集まり、自由に子どもを遊ばせながら仲間づくりや情報交換ができる居場所づくりを目的とする。 対象：未就園児の親子 開催日時：通年 会場：水谷公民館児童室など 参加費：なし 募集人数：5組 予算額19,000円 継続年数：10年以上	実施回数：年8回 会場：水谷公民館児童室 参加人数(のべ)：56人 内容：工作、手遊び、紙芝居など 事業決算額：5,000円	参加人数も多く安定しており、毎回参加いただいているリピーターもいる。また、令和5年度よりNPO法人ふじみっこ夢みらいに講師を依頼し、実施している。	個別事項評価	令和5年度の評価
担当課	水谷公民館						
基本目標	施策の柱						
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実						
本事業と関連のある他計画						取組成果	A
第3次富士見市教育振興基本計画						3 十分な成果を挙げている	
第4次富士見市子ども読書活動推進計画						実施手法	
いきいき健康&歯っぴーライフ☆ふじみ						3 実施手法は適切で見直しの必要はない	
						継続性・発展性	
						3 次年度も継続	

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価	
事業名	水谷学級	高齢期をいきいきと暮らすための学習・仲間づくりの一助となることを目的とする。 数値目標： 延べ参加者数800人	学級生全体を対象とした芸術鑑賞などを行う「全体会」と、ジャンルごとに講師を設けて月1～2回の活動を行う「サークル活動」を実施する。 対象：主に水谷地区在住で60歳以上の高齢者 開催日時：5～3月 会場：水谷公民館各室 参加費：なし 参加人数：145人程度 継続年数：10年以上 事業予算額：144,000円	サークル数：7サークル 実施回数(のべ)：121回 会場：水谷公民館多目的ホールなど 参加者数(のべ)：915人 事業決算額：100,000円（講師謝礼）	コロナ禍後、初めて全体会（落語鑑賞会）を実施した。学級生の減少や講師の人材不足が課題となっているため、対策が必要。	個別事項評価	令和5年度の評価
担当課	水谷公民館						
基本目標	施策の柱						
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実						
基本目標③	生涯学習を通じたまちづくりの推進						
本事業と関連のある他計画						取組成果	B
第3次富士見市教育振興基本計画						2 一定の成果を挙げている	
いきいき健康&歯っぴーライフ☆ふじみ						実施手法	
						2 手法は概ね適切である	
						継続性・発展性	
						3 次年度も継続	
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価	
事業名	水谷公民館企画運営委員会	市民と職員協働による公民館運営の仕組みを整え、新たな事業展開に資することを目的とする。 数値目標： 利用者の満足度70% (アンケートによる)	館内の季節展示（七夕など）の提示や水谷文化祭の企画・運営 継続年数：5～9年 事業予算額：なし	水谷文化祭において、企画・運営の中心的役割を担った。また、七夕などの季節展示を実施した。 会議実施回数：3回	公民館企画運営委員会は、利用者懇談会、水谷文化祭など、事業の協働運営には欠かすことのできない存在である。利用者と公民館をつなぐ架け橋として、今後もしっかりと連携を図り、引き続き、充実した公民館運営を目指していく。	個別事項評価	令和5年度の評価
担当課	水谷公民館						
基本目標	施策の柱						
基本目標①	市民との協働による事業の充実						
基本目標②	新たな人材の発掘						
基本目標③	市民間交流の促進						
本事業と関連のある他計画						取組成果	A
第3次富士見市教育振興基本計画						3 十分な成果を挙げている	
						実施手法	
						2 手法は概ね適切である	
						継続性・発展性	
						3 次年度も継続	
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価	
事業名	水谷公民館だより発行事業	地域住民による編集委員会により、地域課題や話題を掘り起こし、地域への関心を高める。また各種情報提供を通じて公民館活動や市民活動等の周知を図る。 数値目標： 編集委員の増員10人以上を100%とし現状の8人を維持を70%とする。	市民編集委員（12名以内）により編集会議を月1回開催、特集記事のテーマ決定など行っている。 館区内全戸配布（約16,000部）。 「特集記事」や「公民館からのお知らせ」などにより情報を発信する。 継続年数：10年以上 事業予算額：鶴瀬公民館予算から支出	月1回の編集会議を開催し、10回発行。 事業決算額：鶴瀬公民館予算から支出	地域の散歩コースやラジオ体操、水谷小150周年など地域に根付いたテーマを特集することができた。さらに、地域の話題を掘り下げ、地域への愛着を育む紙面づくりを目指していく。また、公民館からの情報発信の手段としての活用も図っていく。	個別事項評価	令和5年度の評価
担当課	水谷公民館						
基本目標	施策の柱						
基本目標①	学習環境の整備						
本事業と関連のある他計画						取組成果	A
第3次富士見市教育振興基本計画						3 十分な成果を挙げている	
						実施手法	
						3 実施手法は適切で見直しの必要はない	
						継続性・発展性	
						3 次年度も継続	

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価	
事業名	学習情報の発信、提供・相談窓口の充実	生涯学習支援としてイベント等の情報の発信、提供を行い、職員の専門性の向上に努め、学習等相談窓口の充実を図る。 数値目標：ホームページアクセス件数3,000件	市ホームページやYouTubeを活用した動画配信、施設の情報コーナーでイベント等の情報発信・提供を行うとともに、学習ニーズ等の相談に随時対応する。 対象：一般 時期：随時 会場：水谷東公民館 外 参加費：－ 募集人数：－ 継続年数：10年以上 事業予算額：－	・YouTubeチャンネルによる情報発信 時期：随時 (今年度については実施せず) ・ホームページ、情報コーナーで情報発信・提供、学習等の相談 時期：随時	ホームページやSNS,動画配信により今後もタイムリーな情報発信に努める。 利用者が最新情報を入手しやすい情報コーナーとして今後も整備に努める。	個別事項評価	令和5年度の評価
担当課	水谷東公民館						
基本目標	施策の柱						
基本目標①	学習環境の整備						
本事業と関連のある他計画							
第3次富士見市教育振興基本計画						2 一定の成果を挙げている	
						実施手法	
						2 手法は概ね適切である	
						継続性・発展性	
						3 次年度も継続	
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価	
事業名	公民館だより発行事業	地域情報の発信、公民館情報の提供や地域課題の掘り起こしを図り、また、紙面を通じた地域交流を図ることを目的とする。 数値目標：市民編集委員人数1名増(7→8名)	地域住民からなる編集委員を中心とした、公民館だより「ひがし」の編集、発行。 対象：地域住民 時期：毎月1回 2,900部発行 会場：－ 参加費：－ 募集人数：－ 継続年数：10年以上 事業予算額：30,000円（報償費） 連携・協力団体：公民館だより編集委員会	時期：年11回発行、水谷東4町会へ全戸配布 2,900部 編集委員：7人 決算額（事業協力者謝礼）：30,000円	身近な地域情報誌として公民館事業の情報や地域課題の投げかけを行うとともに、紙面を通じた地域交流や人材の掘り起こしにつながっている。	個別事項評価	令和5年度の評価
担当課	水谷東公民館						
基本目標	施策の柱						
基本目標①	学習環境の整備						
本事業と関連のある他計画							
第3次富士見市教育振興基本計画						3 十分な成果を挙げている	
						実施手法	
						2 手法は概ね適切である	
						継続性・発展性	
						3 次年度も継続	
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価	
事業名	川の探検隊	地域を流れる柳瀬川を活用し、自然や環境について学ぶ機会とするとともに、地域への愛着醸成を図る。 数値目標：募集人数に対する参加人数割合100%	柳瀬川の水質検査、魚とり、学習会を実施 対象：小学生以上 時期：6月18日(日) 会場：水谷東公民館、柳瀬川 参加費：無料 募集人数：小学生以上30名 継続年数：10年以上 事業予算額：15,000円（報償費） 連携・協力団体：やなせ川いかだラー実行委員会	日時：6月18日(日) 午前9時～11時30分 対象：小学生以上 参加人数：44名 会場：水谷東公民館、柳瀬川 指導：金澤光氏（埼玉県魚類研究会） 内容：柳瀬川の水質検査、魚とり（たも網、投網）、講師による学習会 決算額（講師謝礼）：15,000円	市内各所からの参加申込みがあり、関心の高さがうかがえた。参加者は子どもも大人もとても熱心に講師の話聞きながら水質や生き物について観察していた。身近な地域を流れる柳瀬川に生息する生き物についての学習ができ、非常に満足度の高い事業となった。	個別事項評価	令和5年度の評価
担当課	水谷東公民館						
基本目標	施策の柱						
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実						
基本目標②	地域資源を活かした生涯学習の提供						
本事業と関連のある他計画							
第3次富士見市教育振興基本計画						3 十分な成果を挙げている	
						実施手法	
						2 手法は概ね適切である	
						継続性・発展性	
						3 次年度も継続	

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	子育て応援の勉強室	家庭教育支援事業として、親の学びや育ちのを応援することを目的とする。 数値目標：募集人数に対する参加人数割合75%	学習講座の実施 対象：小中保護者 時期：未定 会場：水谷東公民館 参加費：－ 募集人数：35名 継続年数：10年以上 事業予算額：20,000円（報償費） 連携・協力団体：地域小中PTA 外	日時：12月2日（日） 午前10時～12時 対象：市内小中学校保護者等 参加人数：26名 会場：水谷東公民館多目的ホール 講師：大東文化大学文学部教育学科 准教授 山本宏樹氏 テーマ：「スマホと子ども：悩める保護者のための10のヒント」 決算額（講師謝礼）：20,000円	受講者アンケートでは『非常に役立つ』77%、『役立つ』19%と満足度の高い結果となった。また自由意見欄には多くの記載があり、関心の高さがうかがえた。	個別事項評価	令和5年度の評価	
担当課	水谷東公民館					取組成果	A	
基本目標	施策の柱					3 十分な成果を挙げている		
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法		2 手法は概ね適切である
						継続性・発展性		3 次年度も継続
本事業と関連のある他計画								
第3次富士見市教育振興基本計画								
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	子ども公民館事業	子どもが公民館活動を体験し、公民館に慣れ親しむことを目的とし、将来の公民館活動の活性化を図る。 数値目標：延べ参加者数50名	年間5・6回料理教室、陶芸教室（親子参加型）等を実施 対象：小学生（親子） 時期：通年 会場：水谷東公民館 参加費：実費徴収 募集人数：10～30名 継続年数：10年以上 事業予算額：30,000円（報償費） 連携・協力団体：公民館利用団体 外	日時：6月17日（土）、11月4日（土）、18日（土）、19日（日）、12月9日（土）、3月2日（土） 午前10時～12時 ※11月18日、19日のみ 午前11時～11時30分 対象：市内小学生（料理教室は4～6年生のみ） 参加人数：延べ56名 会場：水谷東公民館 講師：利用サークル、文化祭実行委員 内容：料理教室、七宝焼き教室、ポッチャ体験会 決算額（講師謝礼）：20,000円	子どもが公民館に親しみをもち、とだけでなく、公民館利用団体の方や文化祭実行委員の方に講師を務めてもらうことで世代間交流も図ることができている。	個別事項評価	令和5年度の評価	
担当課	水谷東公民館					取組成果	A	
基本目標	施策の柱					3 十分な成果を挙げている		
基本目標②	新たな人材の発掘					実施手法		2 手法は概ね適切である
基本目標②	地域の人材を活かした学習機会の提供					継続性・発展性		3 次年度も継続
基本目標③	市民間交流の促進							
本事業と関連のある他計画								
第3次富士見市教育振興基本計画								
いきいき健康&歯っぴーライフ☆ふじみ								
計画の位置付け		事業目標	事業概要	、	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	施設維持管理事業	誰もが使いやすく、安全で快適に施設が利用できるよう施設の維持管理を図る。 数値目標：延べ利用人数20,000名	設備の保守点検等各種業務の委託や修繕の適時発注、備品の整備等 対象：－ 時期：通年 会場：－ 参加費：－ 募集人数：－ 継続年数：10年以上 事業予算額：5,407,000円	各種設備の保守点検、業務委託のほか、主な修繕として「空調室内機電磁弁交換修繕」、「倉庫錠前修繕」、「消防設備修繕」、「空調設備修繕工事」等を実施した。 決算額4,193,457円	安全で快適な施設提供を行うため利用者の視点に立った設備更新や維持管理に努める。	個別事項評価	令和5年度の評価	
担当課	水谷東公民館					取組成果	B	
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている		
基本目標①	学習環境の整備					実施手法		2 手法は概ね適切である
						継続性・発展性		3 次年度も継続
本事業と関連のある他計画								
第3次富士見市教育振興基本計画								
富士見市公共施設等総合管理方針								
富士見市公共施設個別施設計画								

計 画 の 位 置 付 け		事 業 目 標	事 業 概 要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価	
事業名	熟年学級	高齢者の生きがいづくりを目的とする。 数値目標：受講者数80名	全体学習会と各部活動の実施 対象：60歳以上の地域住民 時期：6～3月 会場：水谷東公民館 外 参加費：500円 募集人数－ 継続年数：10年以上 事業予算額：140,000円（報償費） 連携・協力団体：熟年学級運営委員会	全体会9回開催 参加者延べ372人 クラブ活動9種目 参加者延べ653人 決算額（講師謝礼）144,000円 全体会 64,000円（うち運営費20,000円を含む） クラブ活動 80,000円	高齢者の生きがいづくり、交流の場として内容の充実を図り継続する。	個別事項評価	令和5年度の評価
担当課	水谷東公民館						
基本目標	施策の柱						
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実						
基本目標③	市民間交流の促進						
本事業と関連のある他計画						取組成果	A
	第3次富士見市教育振興基本計画					3 十分な成果を挙げている	
	第8期富士見市高齢者保健福祉計画					実施手法	
	第3次富士見市地域福祉計画					2 手法は概ね適切である	
						継続性・発展性	
						3 次年度も継続	
計 画 の 位 置 付 け		事 業 目 標	事 業 概 要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価	
事業名	豆の木学校	次世代を担う子どもたちの社会性の育成や地域のなかでの繋がりをづくり出し、人材育成を目的とする。 数値目標：参加者数55名	集団生活体験、レクリエーション活動の実施 対象：地域の小学生 時期：8・12月 会場：水谷東公民館 外 参加費：実費徴収 募集人数：－ 継続年数：10年以上 事業予算額：10,000円（報償費） 連携・協力団体：おむすび少年団、水谷東小学校、参加者の保護者	(豆の木学校) 日程：8月18日（金）～8月20日（日） 参加人数：延べ32名 会場：水谷東小学校体育館および校庭 決算額（事業協力者謝礼）5,000円 (冬の豆の木学校) 日程：12月17日（日） 参加人数：延べ30人 会場：水谷東小学校体育館 決算額（事業協力者謝礼）5,000円	豆の木学校は歴史のある事業である。かつての参加児童が協力者側（指導員）となり地域を支えている循環が生まれており、着実に成果を残している。体育館に空調設備が整えられたため、体育館内での活動における熱中症の心配は減ったが、外での活動も充実していることから、引き続き参加者の体調管理は課題である。また、指導員の確保も課題である。	個別事項評価	令和5年度の評価
担当課	水谷東公民館						
基本目標	施策の柱						
基本目標②	新たな人材の発掘						
本事業と関連のある他計画						取組成果	B
	第3次富士見市教育振興基本計画					2 一定の成果を挙げている	
						実施手法	
						2 手法は概ね適切である	
						継続性・発展性	
						3 次年度も継続	
計 画 の 位 置 付 け		事 業 目 標	事 業 概 要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価	
事業名	水谷東ふれあいサロン運営事業	介護予防を目的とする。 数値目標：参加者数延べ4,600名	各種介護予防事業の実施 対象：地域の高齢者 時期：通年 月～土 会場：水谷東ふれあいサロン 参加費：－ 募集人数：－ 継続年数：10年以上 事業予算額：－ 連携・協力団体：水谷東ふれあいサロン運営委員会	介護予防関連施設「ふれあいサロン」を活用した各種介護予防事業の開催 参加者延べ5,693人	水谷東ふれあいサロン運営委員会主催による介護予防事業への支援・協力を努める。	個別事項評価	令和5年度の評価
担当課	水谷東公民館						
基本目標	施策の柱						
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実						
本事業と関連のある他計画						取組成果	A
	第3次富士見市教育振興基本計画					3 十分な成果を挙げている	
	いきいき健康&歯っぴーライフ☆ふじみ					実施手法	
	第3次富士見市地域福祉計画					2 手法は概ね適切である	
						継続性・発展性	
						3 次年度も継続	

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価	
事業名	水谷東文化祭	公民利用団体等の活動成果を発表する機会を充実し、学習等の活動を深めるとともに地域住民の交流を図る。 数値目標：参加者数延べ1,100名	展示、舞台、模擬店等 対象：一般 時期：11月予定 会場：水谷東公民館 外 参加費：－ 募集人数：－ 継続年数：10年以上 事業予算額：－ 連携・協力団体：水谷東文化祭実行委員会	開催期日：11月18日（土）、19日（日） テーマ：「交流の輪を広げ誰もが笑顔に」 会場：水谷東公民館 内容：展示発表11団体（生け花、写真、小物、絵画、工作、書道、絵手紙、七宝焼等） 舞台発表12団体（体操、カラオケ、太極拳、合唱等） 模擬店8団体（お汁粉、綿菓子、落花生、喫茶、おにぎり等） 体験コーナー（生け花、ポッチャ）	日頃の活動の成果発表の場として、また世代間の交流の場として参加団体相互の交流の輪が広がり、成果があったが、4年ぶりの開催となり参加団体数の減少により規模が縮小となった。参加団体の増加に向けた工夫が必要である。	個別事項評価	令和5年度の評価
担当課	水谷東公民館					取組成果	2 一定の成果を挙げている 実施手法 2 手法は概ね適切である 継続性・発展性 3 次年度も継続
基本目標	施策の柱						
基本目標③	学習成果の発表機会の充実						
基本目標③	市民間交流の促進						
本事業と関連のある他計画							
第3次富士見市教育振興基本計画							
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価	
事業名	やなせ川いかだラリー	地域を流れる柳瀬川を活用し、自然や環境について学ぶ機会とするとともに、地域への愛着醸成を図る。 数値目標：出艇数8チーム	参加者が作製したいかだで川を下り、パフォーマンスを競う 対象：一般 時期：7月23日(日) 会場：柳瀬川 参加費：1,000円（1チーム） 募集人数：－ 継続年数：10年以上 事業予算額：60,000円（報償費等） 連携・協力団体：やなせ川いかだラリー実行委員会	開催日：7月23日（日） 午前8時30分～午後12時まで 会場：志木大橋から下流約400m地点 出艇数：7艇（乗船者22名） 決算額（事業協力者謝礼）：60,000円	柳瀬川に親しむ夏の恒例行事として定着しており、自然に親しみ、環境を考える機会として、また参加者相互の親睦を図ることができた。参加チームの増加を目指し、気軽に出艇できるような工夫が求められる。また現在の河川状況を把握し、実施場所の検討や安全面への配慮が必要である。	個別事項評価	令和5年度の評価
担当課	水谷東公民館					取組成果	2 一定の成果を挙げている 実施手法 2 手法は概ね適切である 継続性・発展性 3 次年度も継続
基本目標	施策の柱						
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実						
基本目標②	地域資源を活かした生涯学習の提供						
本事業と関連のある他計画							
第3次富士見市教育振興基本計画							
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価	
事業名	地域問題学習会	地域課題について、学習する機会を提供し、課題解決、まちづくり推進を目的とする。 数値目標：参加人数50名	対象：一般 時期：未定 会場：水谷東公民館 参加費：－ 募集人数：－ 継続年数：10年以上 事業予算額：10,000円（報償費） 連携・協力団体：水谷東安心まちづくり協議会	対象：一般 日時：9月28日（木） 午後1時30分～3時 会場：多目的ホール 講師：須藤 紀子 氏（市社会福祉協議会成年後見センターふじみ） テーマ：「あなたのために、家族のために」～エンディングノートを書いてみよう～ 参加者37人 決算額0円（社協から講師派遣）	受講者アンケートでは「エンディングノートを初めて書き、老後について色々考えることができて良かった」「娘にも言われていたのでもいい勉強になった」等、好評を得た。 地域の身近な課題について住民同士が学習する機会を提供しており、まちづくり協議会との連携により今後も継続する。	個別事項評価	令和5年度の評価
担当課	水谷東公民館					取組成果	2 一定の成果を挙げている 実施手法 2 手法は概ね適切である 継続性・発展性 3 次年度も継続
基本目標	施策の柱						
基本目標③	生涯学習を通じたまちづくりの推進						
本事業と関連のある他計画							
第3次富士見市教育振興基本計画							

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価			
事業名	子育てサロン	子育ての不安や孤立感の軽減を目的とする。 数値目標：参加延べ人数115名	交流の場として人形劇やコンサート等を実施 対象：乳幼児と保護者 時期：通年 会場：水谷東公民館 参加費：無料 募集人数：各回親子6組程度 継続年数：10年以上 事業予算額：91,000円（報償費） 連携・協力団体：公民館利用団体等	11回開催 参加者延べ152人 決算額（講師謝礼25,000円 事業協力者謝礼51,000円）	参加者アンケートでは、また参加したいなどの声が寄せられるとともに、保護者や子ども同士の交流や情報交換の場として交流を図ることができた。参加者数を増やすための工夫が必要である。また協力である子育てサロンサポーターの後継者養成や人材確保について検討する必要がある。	個別事項評価	令和5年度の評価		
担当課	水谷東公民館					取組成果	B		
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている			
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法		2 手法は概ね適切である	
基本目標②	地域の人材を活かした学習機会の提供					継続性・発展性		3 次年度も継続	
本事業と関連のある他計画 第3次富士見市教育振興基本計画									
計画の位置付け						事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）
事業名	音楽の夕べ	生演奏と音楽に触れ、地域交流を図る。 数値目標：参加人数70名	対象：一般 時期：12月 会場：水谷東公民館 参加費：－ 募集人数：－ 継続年数：10年以上 事業予算額：30,000円（報償費） 連携・協力団体：町会	日時：12月4日（土） 午後4時～5時 参加者数：73名 会場：多目的ホール 出演：東海林尚文（声楽家）、浅香郁子（ピアノ伴奏） 内容：アメイジング・グレイス、星に願いを他声楽家の歌唱と伴奏により芸術に親しみながら、地域交流が図られた。 決算額（講師謝礼）30,000円	一昨年好評を博した市内在住声楽家の東海林尚文氏リクエスト企画。今年も定員を大幅に上回る来場者を得た。「しばらく年末恒例企画にはどうか」との声もある。公民館イルミネーション点灯式は、来場者へのおもてなしとして4年ぶりに温かい甘酒が振舞われ、好評を得た。新たな出演者の発掘が課題である。このコンサートは、年末のクリスマスコンサートというだけでなく、水谷東地域に居ながらにして本格的な音楽に触れる機会としてきた経緯がある。	個別事項評価	令和5年度の評価		
担当課	水谷東公民館					取組成果	B		
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている			
基本目標③	市民間交流の促進					実施手法		2 手法は概ね適切である	
本事業と関連のある他計画 第3次富士見市教育振興基本計画								継続性・発展性	3 次年度も継続
計画の位置付け						事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）
事業名	仙人体操教室	地域住民の心身の健康保持増進と交流の場づくりとともに比較的若い世代の参加促進を目的とする。 数値目標：参加人数35名	対象：一般 時期：未定 会場：水谷東公民館 参加費：－ 募集人数：－ 継続年数：4年 事業予算額：20,000円（報償費） 連携・協力団体：－	健康増進事業（タイ式ヨガ）として3回（1/11、18、25）実施 参加者延べ29名 決算額（講師謝礼）15,000円	一般的なヨガではなく、体の内側に語り掛け自身の治癒力を高めていくこと、無理な体制はとらない、呼吸による緊張とリラクセスをしながら様々な動作を反復するルーシーダットン（タイ式ヨガ）を行った。リピーター参加が多く定評を得ている。講師のスケジュール上、開催時間や日程に限りがある。	個別事項評価	令和5年度の評価		
担当課	水谷東公民館					取組成果	B		
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている			
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法		2 手法は概ね適切である	
本事業と関連のある他計画 第3次富士見市教育振興基本計画								継続性・発展性	3 次年度も継続

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価	
事業名	水谷東イエローカフェ	地域交流の場として、誰もが気軽に公民館に来館できる雰囲気づくりを目的とする。 数値目標：参加人数70名	対象：一般 時期：未定 会場：水谷東公民館 参加費：無料 募集人数：－ 継続年数：4年 事業予算額：－ 連携・協力団体：公民館運営審議会委員等	未実施	もともと当時の公民館運営審議会による実験的実践として、各公民館で試行された。任期満了による委員の交代により当館では継続されていない。	個別事項評価	令和5年度の評価
担当課	水谷東公民館					取組成果	未実施
基本目標	施策の柱					実施手法	
基本目標③	市民間交流の促進					－	
						継続性・発展性	
						－	
本事業と関連のある他計画							
第3次富士見市教育振興基本計画							
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価	
事業名	水谷東安心まちづくり協議会との連携・支援	連携、支援により地域のまちづくり推進を図る。 数値目標：まちづくり協議会HPアクセス数 前年同月比平均+15,700件	対象：一般 時期：通年 会場：水谷東公民館 集会所 外 参加費：－ 募集人数：－ 継続年数：10年 事業予算額：－ 連携・協力団体：水谷東安心まちづくり協議会	住民主体のまちづくりを推進するため地域の拠点施設である公民館が事務局として活動の連携支援を実施。参加者 まち協役員延べ23人 部会員74人	令和5年度はコロナ禍で中止していた視察研修会を再開することができた。また能登半島地震被災者義援金募集活動にも早い立ち上がりで取組むことができた。地域支え愛隊の活動等地域住民へのさらなる浸透に向け、地道な啓発活動に努める必要がある。また、地域住民の高齢化に伴う人材確保が必要である。	個別事項評価	令和5年度の評価
担当課	水谷東公民館					取組成果	2 一定の成果を挙げている 2 手法は概ね適切である 3 次年度も継続
基本目標	施策の柱					実施手法	
基本目標③	生涯学習を通じたまちづくりの推進					継続性・発展性	
本事業と関連のある他計画							
第3次富士見市教育振興基本計画							
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価	
事業名	公民館運営審議会水谷東地区会議	水谷東公民館の運営・事業・施設維持管理等についての課題を中心に意見交換、協議を行うことを通じて、各種事業展開に活かしていく。 数値目標：審議会開催3回	公民館利用団体や各種地域団体から選出された4人の委員による審議会を開催。 継続年数：10年以上 事業予算額：鶴瀬公民館予算にて一括措置	公民館運営審議会委員4名（水谷東地区委員） 公民館のデジタル化について3回の地区会議の実施 決算額（報償費）委員報酬0円（鶴瀬公民館予算から支出）	公民館のデジタル化について、通年で審議を行った。それぞれの委員の視点や意見を伺うことができた。今期議論がなされた「公民館のデジタル化」を活かすため、実現に向け継続的に協議していく。	個別事項評価	令和5年度の評価
担当課	水谷東公民館					取組成果	2 一定の成果を挙げている 2 手法は概ね適切である 3 次年度も継続
基本目標	施策の柱					実施手法	
基本目標①	市民との協働による事業の充実					継続性・発展性	
基本目標①	推進体制の充実						
基本目標②	新たな人材の発掘						
基本目標③	市民間交流の促進						
本事業と関連のある他計画							
第3次富士見市教育振興基本計画							

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価	
事業名	水谷東地区親睦スポーツフェスティバル	スポーツを通じて水谷東地域の住民相互の親睦交流を図るとともに健康増進の一助とする。 数値目標：参加人数90名	小学生から高齢者まで幅広くグラウンドゴルフ大会に参加 対象：一般 時期：未定 会場：学校校庭 参加費：－ 募集人数：－ 継続年数：10年 事業予算額：－ 連携・協力団体：水谷東地区親睦スポーツフェスティバル実行委員会	第35回水谷東地区親睦スポーツフェスティバル 内容：グラウンドゴルフ大会・モルック体験 開催日：令和6年3月10日（日） 会場：水谷東小学校校庭 参加人数：約120人 決算額（報償費）0円	地区体育祭は4年ぶりの開催ということで、多くの方が水谷東小学校校庭集まり、スポーツを通して親睦を深めることができた。スポーツフェスティバルに関して、本来の目的である住民相互の親睦交流を図ることができた。高齢化が進むなかで、参加者全員が楽しむことのできる方法を考える必要がある。	個別事項評価	令和5年度の評価
担当課	水谷東公民館					取組成果	B
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている	
基本目標③	学習成果の発表機会の充実					実施手法	
基本目標③	市民間交流の促進					2 手法は概ね適切である	
本事業と関連のある他計画						継続性・発展性	
第3次富士見市教育振興基本計画						3 次年度も継続	
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価	
事業名	水谷東ふるさとまつり	地域住民の親睦と交流を図り、水谷東のふるさとづくりの一助とするふるさとまつりを支援する。 数値目標：参加人数延べ2,700名	子どもから高齢者まで多くの地域住民が参加 対象：一般 時期：5月28日(日) 会場：前沼公園 水谷東公民館 参加費：－ 募集人数：－ 継続年数：10年 事業予算額：－ 連携・協力団体：水谷東ふるさとまつり実行委員会	開催期日：5月28日（日） 午前10時～午後4時 会場：前沼公園、水谷東公民館 内容：舞台、模擬店、フリーマーケット、あそび広場、健康相談コーナー、ビアホール、抽選会 本部役員6名、実行委員80名 決算額（報償費）0円 ※実行委員会予算で運営	コロナ禍により4年ぶりの再開を果たした。会場の前沼公園では舞台発表、模擬店、あそび広場等の催し物で賑わった。 4年間のブランクもあり、各取組みにおいて手探りの中、各町会や地域団体、個人参加も含め久しぶりの春のビッグイベントを成功裡に終えることができた。 スタッフの高齢化傾向などの課題を見据えながら、今後も継続していく。	個別事項評価	令和5年度の評価
担当課	水谷東公民館					取組成果	B
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている	
基本目標③	市民間交流の促進					実施手法	
本事業と関連のある他計画						2 手法は概ね適切である	
第3次富士見市教育振興基本計画						継続性・発展性	
						3 次年度も継続	
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価	
事業名	縄文の森コンサート	水子貝塚公園を活用し、市民に本物の楽器、楽曲に親しんでいただくことを目的とする。 数値目標：1回開催	毎年、伝統的な楽器を使用した演奏会を実施している。 対象：一般 時期：未定 会場：水子貝塚公園内展示館 参加費：－ 募集人数：－ 継続年数：10年以上 事業予算額：20,000円（報償費）	内容：モンゴルの伝統的な弦楽器である馬頭琴のコンサート 演奏：チンゲルト氏（馬頭琴奏者） 時期：5月28日 会場：水子貝塚公園内展示館 参加費：無料 参加人数：93人 事業決算額：30,000円（報償費）	アンケートの回答では約95%の方が「とてもよかった」又は「よかった」と回答しており、参加者満足度も高かった。水子貝塚公園を活用し、市民に音楽・歴史文化に親しんでいただく機会として、次年度も継続して実施する。	個別事項評価	令和5年度の評価
担当課	水子貝塚資料館					取組成果	B
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている	
基本目標②	地域資源を活かした生涯学習の提供					実施手法	
本事業と関連のある他計画						2 手法は概ね適切である	
第3次富士見市教育振興基本計画						継続性・発展性	
						3 次年度も継続	

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価					
事業名	体験！いつでもセブン	誰もが楽しめる体験を実施し、地域の歴史や文化を学んでもらうとともに、市民間交流の促進を図る。 数値目標：参加者数1000人以上	土・日曜日、祝日や春休みなどの長期休暇中に、まが玉づくりや古代の鏡づくりなどの体験を行っている。 対象：市民 時期：随時 会場：水子貝塚資料館 参加費：無料～800円 募集人数：－ 継続年数：10年以上 事業予算額：10,000円 連携・協力団体：市民学芸員	内容：「まが玉づくり」「火起こし体験」「どんぐりクラフト」「貝輪・古代の鏡づくり」等 時期：随時（土日祝日、長期休暇期間） 会場：水子貝塚資料館 参加費：無料～800円 参加人数：延べ1,161人	誰もが楽しめる体験を実施し、地域の歴史や文化を学んでもらうとともに、市民間交流の促進を図る機会として、次年度も継続して実施する。	個別事項評価	令和5年度の評価				
担当課	水子貝塚資料館										
基本目標	施策の柱										
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実										
基本目標②	地域資源を活かした生涯学習の提供										
基本目標③	市民間交流の促進										
本事業と関連のある他計画										取組成果	B
第3次富士見市教育振興基本計画						2 一定の成果を挙げている					
						実施手法					
						2 手法は概ね適切である					
						継続性・発展性					
						3 次年度も継続					
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価					
事業名	土曜おもしろミュージアム	身近な素材で手軽にできる体験を実施し、水子貝塚公園に親しんでもらうとともに、地域の歴史や文化を学んでもらうことを目的とする。 数値目標：15回開催	毎月1～2回、土曜日に身近な材料で手軽にできる様々な体験を行っている。 対象：一般 時期：毎月1～2日 会場：水子貝塚資料館 参加費：100～300円程度 募集人数：－ 継続年数：10年以上 連携・協力団体：市民学芸員	内容：「草木染め」「石のアクセサリ」「ミニ土器づくり」「縄文クッキーづくり」等 会場：水子貝塚資料館 参加費：100～300円程度 実施回数：16回 参加人数：436人	身近な素材かつ水子貝塚に縁のある題材で手軽にできる体験事業を実施し、水子貝塚公園に親しんでもらうとともに地域の歴史・文化に親しんで機会として、次年度も継続して実施する。	個別事項評価	令和5年度の評価				
担当課	水子貝塚資料館										
基本目標	施策の柱										
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実										
基本目標②	地域資源を活かした生涯学習の提供										
基本目標③	地域の人材を活かした学習機会の提供										
基本目標④	学習成果の活用機会の創出										
本事業と関連のある他計画						取組成果	B				
第3次富士見市教育振興基本計画						2 一定の成果を挙げている					
						実施手法					
						2 手法は概ね適切である					
						継続性・発展性					
						3 次年度も継続					
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価					
事業名	夏休み縄文体験	縄文時代の生活を体験してもらうことで、地元の当時の歴史に興味を持ってもらうことを目的とする。 数値目標：アンケートによる満足度80%以上	毎年夏休み期間中に、火起こしや土器づくりなど縄文時代の生活を体験することができる。 対象：小学4～6年生 時期：7月 会場：水子貝塚資料館 参加費：1,000円 募集人数：15人 継続年数：10年以上 事業予算額：10,000円（報償費）、10,000円（消耗品費） 連携・協力団体：資料館友の会（土器づくり部会）、市民学芸員	内容：ミニ土器づくり、昆虫観察、星空観察、縄文アクセサリづくり等 時期：7/22,23, 8/19の3日間 会場：水子貝塚資料館 参加費：1,500円 参加人数：18人 事業決算額：10,000円（報償費）、8,561円（消耗品費） 参加者満足度：「楽しかった」と回答した割合94%	4年ぶりに宿泊を伴う体験を実施できた。夏休み期間中に、火起こしや土器づくりなど縄文時代の生活・文化を学び体験してもらう機会として、次年度も継続して実施する。	個別事項評価	令和5年度の評価				
担当課	水子貝塚資料館										
基本目標	施策の柱										
基本目標②	地域資源を活かした生涯学習の提供										
基本目標③	市民間交流の促進										
本事業と関連のある他計画										取組成果	B
第3次富士見市教育振興基本計画										2 一定の成果を挙げている	
						実施手法					
						2 手法は概ね適切である					
						継続性・発展性					
						3 次年度も継続					

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	ふじみ考古学教室	毎年度の企画展のテーマに合わせた講演会を実施し、市民が文化財に親しんでもらうことを目的とする。 数値目標：参加人数30人以上	毎年度の企画展のテーマに沿った講演会を実施する。 対象：一般 時期：未定 会場：水子貝塚資料館 参加費：－ 募集人数：30人 継続年数：10年以上 事業予算額：25,000円（報償費）	題目：「無我夢中－考古館創成期－」 時期：3月23日 会場：水子貝塚資料館 参加費：無料 参加人数：38人 事業決算額：10,000円（報償費）	企画展のテーマに沿った講演会を実施し、市民が文化財に親しんでもらう機会として、次年度も継続して実施する。	個別事項評価	令和5年度の評価	
担当課	水子貝塚資料館							
基本目標	施策の柱							
基本目標②	地域資源を活かした生涯学習の提供							
基本目標③	市民間交流の促進							
本事業と関連のある他計画						取組成果	B	
第3次富士見市教育振興基本計画								2 一定の成果を挙げている
								実施手法
						2 手法は概ね適切である		
						継続性・発展性		
						3 次年度も継続		
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	土器づくり教室	土器づくりの一連の作業（粘土こねから焼成まで）を行うことによって、地域の歴史や文化を学んでもらうことを目的とする。 数値目標：4回開催	富士見市内の遺跡から出土した縄文土器をモデルに土器の製作を行う(全4回)。 対象：一般 時期：1～2月 会場：水子貝塚資料館 参加費：500円 募集人数：15人 継続年数：10年以上 事業予算額：40,000円（報償費） 連携・協力団体：資料館友の会（土器づくり部会）	内容：土器づくりの一連の作業（粘土こねから焼成まで） 時期：12～1月（4回開催） 会場：水子貝塚資料館 参加費：500円 募集人数：15人 事業決算額：40,000円（報償費）	土器づくりの一連の作業（粘土こねから焼成まで）を行うことによって、地域の歴史や文化を学び体験してもらう機会として、次年度も継続して実施する。	個別事項評価	令和5年度の評価	
担当課	水子貝塚資料館							
基本目標	施策の柱							
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実							
基本目標②	地域資源を活かした生涯学習の提供							
基本目標③	市民間交流の促進							
本事業と関連のある他計画						取組成果	B	
第3次富士見市教育振興基本計画								2 一定の成果を挙げている
								実施手法
						2 手法は概ね適切である		
						継続性・発展性		
						3 次年度も継続		
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	ふじみジュニア考古学クラブ	考古学についての基礎学習や体験を通して、富士見市の歴史や遺跡に興味をもってもらうことを目的とする。 数値目標：5回開催	大学の教授や資料館職員が講師となり、考古学について講義や体験を通して楽しく学ぶ。 対象：小学4～6年生 時期：10～12月 会場：水子貝塚資料館他 参加費：300円程度 募集人数：15人 継続年数：10年以上 事業予算額：25,000円（報償費）	内容：大学の教授や資料館職員が講師となり、考古学について講義や体験を通して楽しく学んだ。 時期：10～12月（5回開催） 会場：水子貝塚資料館他 参加費：300円 参加人数：16人 事業決算額：20,000円（報償費）	考古学についての基礎学習や体験を通して、富士見市の歴史や遺跡に親しんでもらう機会として、次年度も継続して実施する。	個別事項評価	令和5年度の評価	
担当課	水子貝塚資料館							
基本目標	施策の柱							
基本目標②	地域資源を活かした生涯学習の提供							
基本目標③	市民間交流の促進							
本事業と関連のある他計画						取組成果	B	
第3次富士見市教育振興基本計画								2 一定の成果を挙げている
								実施手法
						2 手法は概ね適切である		
						継続性・発展性		
						3 次年度も継続		

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価					
事業名	水子貝塚星空シアター	水子貝塚公園を活用し、市民間交流の推進を図るとともに、地域の歴史や文化を学んでもらうことを目的とする。 数値目標：参加人数1500人以上	毎年9月の第1土曜日に、水子貝塚公園を会場に実施している。広場での縄文体験や御神輿などの行列、ステージでの和太鼓の演奏やミニライブ、そして、夜には野外での映画鑑賞といった様々なイベントがある。 対象：一般 時期：9月第1土曜日 会場：水子貝塚公園 参加費：－ 募集人数：－ 継続年数：10年以上 事業予算額：42,000円（消耗品費） 1,398,000円（水子貝塚 星空シアター補助金） 連携協力団体：水子貝塚星空シアター実行委員会・市民学芸員	内容：昔あそび体験、模擬店、ステージ発表、野外での映画上映等 時期：令和9年9月2日 会場：水子貝塚公園 参加人数：3,000人 事業決算額：@@円（消耗品費） 1,398,000円（水子貝塚 星空シアター補助金）	水子貝塚公園を活用し、市民間交流の推進を図るとともに、地域の歴史や文化を学び体験してもらう機会として、次年度も継続して実施する。	個別事項評価	令和5年度の評価				
担当課	水子貝塚資料館										
基本目標											
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実										
基本目標②	地域資源を活かした生涯学習の提供										
基本目標③	市民間交流の促進										
本事業と関連のある他計画											
第3次富士見市教育振興基本計画											
計画の位置付け						事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価	
事業名	市民学芸員育成事業					生涯学習社会にふさわしい市民に開かれた資料館事業を市民とともに創出することを目的とする。 数値目標：活動日数100日以上	生涯学習社会に相応しい市民に開かれた資料館事業を市民と共に創出するため、市民学芸員の育成を行う。 対象：市民学芸員 時期：随時 会場：水子貝塚資料館 参加費：－ 募集人数：－ 継続年数：10年以上 事業予算額：360,800円（報償費） 連携・協力団体：市民学芸員	令和5年度は通年実施の市民学芸員育成事業に加えて、新規の市民学芸員を要請する養成講座（資料館職員を講師として3年に1度開催）を実施し、地域の歴史・文化財を学ぶ機会を提供することができた。 時期：通年（養成講座の実施時期） 基礎講座8月26日～12月2日 専門講座1月20日～3月9日 養成講座の参加人数：基礎講座14人（うち修了者13人）、専門講座11人（修了者8人） 事業決算額：263,600円（報償費） 活動日数：110回	生涯学習社会にふさわしい市民に開かれた資料館事業を市民とともに創出する機会として、市民学芸員育成（活動補助、育成等）については、次年度も継続する。	個別事項評価	令和5年度の評価
担当課	水子貝塚資料館										
基本目標											
基本目標②	地域資源を活かした生涯学習の提供										
基本目標②	地域の人材を活かした学習機会の提供										
基本目標③	学習成果の活用機会の創出										
本事業と関連のある他計画											
第3次富士見市教育振興基本計画											
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題含む）					担当課評価	
事業名	資料館友の会協働事業	体験教室や先人たちの技術を学び、市民の生涯学習の推進と向上を図る。 数値目標：協働事業2回以上	資料館友の会と協働で展示などを開催している。 対象：資料館友の会 時期：随時 会場：水子貝塚資料館他 参加費：－ 募集人数：－ 継続年数：10年以上 事業予算額：10,000円（消耗品費） 連携・関連団体：資料館友の会	内容：資料館友の会と協働で事業を実施した。 時期：随時 会場：水子貝塚資料館他 協働事業：2回（夏休み縄文体験に伴う土器づくり、土器づくり教室）	体験教室や先人たちの技術の学習を通して市民の生涯学習の推進の一助となるよう、次年度も継続して実施する。					個別事項評価	令和5年度の評価
担当課	水子貝塚資料館										
基本目標											
基本目標①	学習環境の整備										
基本目標②	地域資源を活かした生涯学習の提供										
基本目標②	地域の人材を活かした学習機会の提供										
基本目標③	学習成果の活用機会の創出										
基本目標③	市民間交流の促進										
本事業と関連のある他計画											
第3次富士見市教育振興基本計画											

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価					
事業名	水子貝塚資料館企画展展示事業	収蔵資料についての研究成果を企画展として発表し、市民に知っていたくことで、地域の歴史を学んでもらうことを目的とする。 数値目標：見学者数6000人以上	毎年、収蔵資料の研究成果等を、テーマに沿って発表する企画展を実施。 対象：一般 時期：未定 会場：水子貝塚資料館 参加費：－ 募集人数：－ 継続年数：10年以上 事業予算額：5000円（報償費） 58,000円（消耗品費） 189,000円（展示委託）	内容：「ひらいた 考古館」資料館の前身である富士見市立考古館の開館50周年を記念し、遺跡をまもり市民とともに活動を広げてきた考古館のあゆみをたどりました。 時期：令和6年3月～6月 会場：水子貝塚資料館の27年間をまとめ、両館で展示します 事業決算額：188,100円（展示委託） 見学者数：9,383人	収蔵資料についての研究成果を企画展として発表し市民に知っていたくことで、地域の歴史を学んでもらう機会として、次年度も継続して実施する。	個別事項評価	令和5年度の評価				
担当課	水子貝塚資料館					取組成果	2 一定の成果を挙げている	B			
基本目標						実施手法	2 手法は概ね適切である				
基本目標①	学習環境の整備					継続性・発展性	3 次年度も継続				
基本目標②	地域資源を活かした生涯学習の提供										
基本目標③	学習成果の発表機会の充実										
基本目標③	学習成果の活用機会の創出										
本事業と関連のある他計画											
第3次富士見市教育振興基本計画											
計画の位置付け						事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価	
事業名	難波田城公園まつり	難波田城公園を活用し、地域の歴史や文化、伝統行事などを学ぶとともに、市民間交流の促進を図る。 数値目標：来園者数を2700人以上にする（コロナ前的人数）	毎年6月の第1日曜日に、難波田城公園を会場に実施。古民家の庭での芸能発表や、古民家内での拓本・紙芝居などの体験や実演、武者行列・火縄銃演武といった様々なイベントを実施する。活用推進協議会への補助事業として実施 対象：一般 時期：6月4日（日） 会場：難波田城公園 参加費：－ 募集人数：－ 継続年数：22年 事業予算額：267,000円	日時：6/4（日） 会場：難波田城公園内 参加人数：延べ2500人 補助金の交付先：難波田城公園活用推進協議会 事業決算額：－円（まつり以外の事業についても協働しているため決算書未領）	今年度は新型コロナウイルス流行以前と同様に6月に開催することができた。 規模を縮小していた前年度より演目も増やして実施したが、来園者数の目標には届かなかった。 来年度は演目の見直し等、内容を検討していきたい。	個別事項評価	令和5年度の評価				
担当課	難波田城資料館					取組成果	2 一定の成果を挙げている	B			
基本目標	施策の柱					実施手法	2 手法は概ね適切である				
基本目標②	地域資源を活かした生涯学習の提供					継続性・発展性	3 次年度も継続				
基本目標②	地域の人材を活かした学習機会の提供										
基本目標③	市民間交流の促進										
基本目標③	学習成果の活用機会の創出										
本事業と関連のある他計画											
第3次富士見市教育振興基本計画											
計画の位置付け						事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価	
事業名	ふるさと体験	地域の伝統行事や暮らしの知恵などを先人たちから学び、伝統行事や先人たちの技術、知恵などを学ぶ機会とする。 数値目標：各事業の参加者を定員の9割以上	関係団体・協力者の支援を受けながら、古民家での味噌づくりや藍の生葉染めなどの体験教室を実施。 対象：一般 時期：8月～3月 会場：難波田城公園 参加費：300円～2,000円 募集人数：10人～30人 継続年数：22年 事業予算額：15,000円	日時： 愛の生葉染め7/23 お月見団子づくり9/17 正月飾り作り12/27 古民家で手作りみそ2/24 会場：難波田城公園内 講師：市民学芸員・近隣農家 参加人数：延べ46人 委託先：－ 事業決算額：15,000円	今年度予定していた全ての体験を予定通り実施できた。 調理を含む事業においてコロナ前同様に試食を再開した。4つの事業のうち、3つを満員で実施できた。（1つは9割に届かず） 藍の生葉染めについては講師一人だけでなく複数人で指導できるよう、サークルの研修を兼ねて実施した。他の事業についても指導者の高齢化が進んでいるため、今後の課題である。	個別事項評価	令和5年度の評価				
担当課	難波田城資料館					取組成果	2 一定の成果を挙げている	B			
基本目標	施策の柱					実施手法	2 手法は概ね適切である				
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					継続性・発展性	3 次年度も継続				
基本目標②	地域資源を活かした生涯学習の提供										
基本目標②	地域の人材を活かした学習機会の提供										
本事業と関連のある他計画											
第3次富士見市教育振興基本計画											

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価	
事業名	ちよこっと体験	幼児から大人まで楽しめる体験を実施し、地域の歴史や文化を学ぶ機会とする。 数値目標：年100回以上実施	土曜日、日曜日、祝日に、ブンブンゴマづくりやジュズダマの腕輪づくりなどの簡単にできる体験を実施。 対象：一般 時期：土日祝日 会場：難波田城公園 参加費：無料～200円 募集人数：－ 継続年数：20年 事業予算額：25,000円	日時：通年(土日祝) 会場：難波田城公園 協力者：市民学芸員等 参加人数：延べ1997人 委託先：－ 事業決算額：25,000円	昨年度は土日のみで祝日の開催は見送ったが、今年度より祝日の実施も再開した。 結果、実施回数は延べ111回、参加人数も昨年度の延べ1547人から増加した。 体験メニューが固定化しているため、今後は新しいメニューの実施も視野に入れていきたい。	個別事項評価	令和5年度の評価
担当課	難波田城資料館					取組成果	B
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている	
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法	
基本目標②	地域の人材を活かした学習機会の提供					2 手法は概ね適切である	
						継続性・発展性	
本事業と関連のある他計画							3 次年度も継続
第3次富士見市教育振興基本計画							
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価	
事業名	難波田城資料館企画展示事業	収集した文化財や収蔵資料についての研究成果を企画展として発表し、市民に知っていただくことで、地域の歴史を学ぶ機会とする。 数値目標：会期中の入館者を1日当たり平均160人以上にする	毎年春と秋に、収集した文化財や収蔵資料の研究成果を発表する企画展を実施。 対象：一般 時期：10月～1月(秋)、3月～6月(春) 会場：難波田城資料館特別展示室 参加費：－ 募集人数：－ 継続年数：22年 事業予算額：800,000円	日時：10/14～1/8、3/9～6/9 会場：難波田城資料館特別展示室 講演会講師：会田明 参加人数：28人 委託先：－ 事業決算額：496,750円	秋は資料館を活動拠点としている団体の作品展、春は考古館開館50周年を記念とした企画展を開催。会期中の入館者数平均は143人。来場者に資料館の活動や富士見の資料館の歩みを知ってもらうことができた。今後も展示という形で収蔵資料を市民に還元し、富士見の歴史を学んでもらう機会を創出する。	個別事項評価	令和5年度の評価
担当課	難波田城資料館					取組成果	B
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている	
基本目標②	地域資源を活かした生涯学習の提供					実施手法	
						2 手法は概ね適切である	
						継続性・発展性	
本事業と関連のある他計画							3 次年度も継続
第3次富士見市教育振興基本計画							
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価	
事業名	マイミュージアム事業	市民の作品などを発表する場を設けることで、発表者・見学する市民双方のための生涯学習の場とする。 数値目標：事業実施2回以上	資料館主催展示がない期間に、市民の作品や学習成果を発表する場として特別展示室を貸与する。 対象：一般 時期：資料館主催企画展のない時期 会場：難波田城資料館特別展示室 参加費：－ 募集人数：－ 継続年数：22年 事業予算額：－	日時：9/2～9/24、2/10～2/25 会場：難波田城資料館特別展示室 講師：－ 参加人数：－ 委託先：－ 事業決算額：－円	当館市民学芸員が属する「古城の会」の研究発表展示、市内の幼稚園児による「南畑幼稚園園児作品展」にて会場を貸出。多く来館者が楽しむ姿が見てとれた。今後も、市民の作品などの発表の場を設けていく。	個別事項評価	令和5年度の評価
担当課	難波田城資料館					取組成果	A
基本目標	施策の柱					3 十分な成果を挙げている	
基本目標①	市民との協働による事業の充実					実施手法	
基本目標③	学習成果の発表機会の充実					2 手法は概ね適切である	
基本目標③	学習成果の活用機会の創出					継続性・発展性	
本事業と関連のある他計画							3 次年度も継続
第3次富士見市教育振興基本計画							

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	市民学芸員育成事業（再掲）	生涯学習社会にふさわしい市民に開かれた資料館事業を市民と共に創出する。 数値目標：登録人数を35人以上	研修を行い、市民学芸員の育成を行う。市民学芸員は史跡公園のガイドや体験イベントの支援を行う。 対象：市民学芸員 時期：通年 会場：難波田城公園 参加費：－ 募集人数：－ 継続年数：22年 事業予算額：198,000円	日時：通年 会場：難波田城公園 講師：なし 参加人数：39人 委託先：なし 事業決算額：140,000円	土日祝の園内ガイドの実施、学校見学対応、管外研修などを実施。今年度は第9期市民学芸員の養成に向けた講座を計12回実施し、14名が受講。うち7名が市民学芸員として新規登録し、全体の人数は39名となった。今後もイベント協力等で更なる活動機会を設けていく。	個別事項評価	令和5年度の評価	
担当課	難波田城資料館					取組成果	A	
基本目標						3 十分な成果を挙げている		
基本目標②	地域資源を活かした生涯学習の提供					実施手法		2 手法は概ね適切である
基本目標③	学習成果の活用機会の創出					継続性・発展性		3 次年度も継続
本事業と関連のある他計画								
第3次富士見市教育振興基本計画								
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	資料館友の会協働事業（再掲）	体験教室や先人たちの技術を学び、市民の生涯学習の推進と向上を図る。 数値目標：事業回数計10回以上実施	資料館友の会と協働で竹かご教室、拓本教室、はたおり教室、糸つむぎ体験、ふるさと探訪などを開催。 対象：一般 時期：－ 会場：難波田城公園 参加費：無料～1,000円 募集人数：8人～30人 継続年数：22年 事業予算額：30,000円	日時：5-10月 会場：難波田城公園、東京都板橋区、三芳町 講師：資料館友の会竹かご部会、資料館友の会木綿部会、資料館友の会ふるさと探訪部会 参加人数：2～11人 委託先：なし 事業決算額：35,000円	参加者が伝統工芸などの、先人たちの技術を学び、興味を持ったことで会への入会もあった。実施回数は延べ12回。拓本教室についてはちょこっと体験として実施した。また、例年申込みの少なかった事業については土日になるように調整したところ、定員まで申込みがあった。来年度も実施日程や内容を見直しながらより多くの方が参加できるように検討していきたい。	個別事項評価	令和5年度の評価	
担当課	難波田城資料館					取組成果	B	
基本目標						2 一定の成果を挙げている		
基本目標②	地域資源を活かした生涯学習の提供					実施手法		2 手法は概ね適切である
基本目標②	地域の人材を活かした学習機会の提供					継続性・発展性		3 次年度も継続
基本目標③	学習成果の活用機会の創出							
基本目標③	市民間交流の促進							
本事業と関連のある他計画								
第3次富士見市教育振興基本計画								
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	田んぼ体験隊	昔ながらの手法で米作りを体験することで、先人たちの知恵を学ぶと共に、食物の大切さを学ぶ。 数値目標：事業参加者を定員の9割以上	毎年5月から12月にかけて難波田城公園内の田んぼで実施。種まきから田植え、稲刈り、脱穀、餅つきまで、昔ながらの手法で米作りを体験してもらう。主な参加者は親子。 対象：一般 時期：5月～12月 会場：難波田城公園 参加費：1,000円 募集人数：15組（約50人） 継続年数：21年 事業予算額：10,000円	日時：5月～12月 会場：難波田城公園 講師：近隣農家 参加人数：15組(最大44人) 委託先：－ 事業決算額：10,000円	今年度も定員を超える申込み希望があり、参加者は昔ながらの米作りを体験し、食のありがたさを考える様子が見てとれた。昨年度まで感染症対策で中止していた流しそうめんを再開し、コロナ前と同様の事業体制に戻った。来年度も引き続き農業の大切さと食のありがたさを伝える事業を実施していきたい。	個別事項評価	令和5年度の評価	
担当課	難波田城資料館					取組成果	A	
基本目標						3 十分な成果を挙げている		
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法		2 手法は概ね適切である
基本目標①	市民との協働による事業の充実					継続性・発展性		3 次年度も継続
基本目標②	地域資源を活かした生涯学習の提供							
本事業と関連のある他計画								
第3次富士見市教育振興基本計画								